授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身につけることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	電卓の使い方、端数の取り扱い
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅠ	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と演習	
達成目標	面接の入退室および自己ＰＲができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	面接の基本
	2	入退室の仕方
	3	スーツの着こなし、身嗜み確認
	4	自己ＰＲ作成①
	5	自己ＰＲ作成②
	6	自己ＰＲ作成③
	7	会計事務所・企業研究①
	8	会計事務所・企業研究②
	9	会計事務所・企業研究③
	10	会計事務所・企業研究④
	11	会計事務所・企業研究⑤
	12	模擬面接練習①
	13	模擬面接練習②
	14	模擬面接練習③
	15	効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記の基本原理の理解する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の目的（基礎編）
	2	簿記一巡（基礎編）
	3	商品売買Ⅰ（基礎編）
	4	商品売買Ⅱ（基礎編）
	5	決算整理（基礎編）
	6	精算表（基礎編）
	7	現金および預金（基礎編）
	8	手形（基礎編）
	9	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	10	その他の債権および債務（基礎編）
	11	その他の勘定および訂正仕訳（基礎編）
	12	有形固定資産の決算整理（基礎編）
	13	費用および収益の決算整理（基礎編）
	14	株式会社の純資産（基礎編）
	15	英米式決算法（基礎編）
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総論（基礎編）	31	株主資本等変動計算書①（基礎編）
	2	収益と費用①（基礎編）	32	株主資本等変動計算書②（基礎編）
	3	収益と費用②（基礎編）	33	株主資本等変動計算書③（基礎編）
	4	棚卸資産①（基礎編）	34	連結会計①（基礎編）
	5	棚卸資産②（基礎編）	35	連結会計②（基礎編）
	6	現金預金（基礎編）	36	連結会計③（基礎編）
	7	債権・債務等①（基礎編）	37	連結会計④（基礎編）
	8	債権・債務等②（基礎編）	38	連結会計⑤（基礎編）
	9	有価証券①（基礎編）	39	連結会計⑥（基礎編）
	10	有価証券②（基礎編）	40	連結会計⑦（基礎編）
	11	有価証券③（基礎編）	41	連結会計⑧（基礎編）
	12	固定資産①（基礎編）	42	本支店会計①（基礎編）
	13	固定資産②（基礎編）	43	本支店会計②（基礎編）
	14	固定資産③（基礎編）	44	本支店会計③（基礎編）
	15	固定資産④（基礎編）	45	伝票と帳簿（基礎編）
	16	固定資産⑤（基礎編）		
	17	固定資産⑥（基礎編）		
	18	為替換算会計①（基礎編）		
	19	為替換算会計②（基礎編）		
	20	引当金①（基礎編）		
	21	引当金②（基礎編）		
	22	法人税等①（基礎編）		
	23	法人税等②（基礎編）		
	24	法人税等③（基礎編）		
	25	法人税等④（基礎編）		
	26	株式会社の純資産①（基礎編）		
	27	株式会社の純資産②（基礎編）		
	28	企業結合①（基礎編）		
	29	企業結合②（基礎編）		
	30	確認テスト		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	工業簿記の基礎（基礎編）
	2	個別原価計算の手続き（基礎編）
	3	材料費会計（基礎編）
	4	労務費会計（基礎編）
	5	経費会計（基礎編）
	6	製造間接費会計（基礎編）
	7	製造間接費差異の原因別分析（基礎編）
	8	単純個別原価計算Ⅰ（基礎編）
	9	単純個別原価計算Ⅱ（基礎編）
	10	工企業の財務諸表（基礎編）
	11	工業簿記総まとめ①（基礎編）
	12	部門別計算Ⅰ（基礎編）
	13	部門別計算Ⅱ（基礎編）
	14	確認テスト（第1回）
	15	工業簿記総まとめ②（基礎編）
	16	総合原価計算の手続き（基礎編）
	17	単純総合原価計算（基礎編）
	18	減損および仕損（基礎編）
	19	工程別総合原価計算（基礎編）
	20	組別総合原価計算（基礎編）
	21	等級別総合原価計算（基礎編）
	22	標準原価計算Ⅰ（基礎編）
	23	標準原価計算Ⅱ（基礎編）
	24	標準原価計算Ⅲ（基礎編）
	25	工業簿記総まとめ③（基礎編）
	26	CVP分析Ⅰ（基礎編）
	27	CVP分析Ⅱ（基礎編）
	28	直接原価計算（基礎編）
	29	工業簿記総まとめ④（基礎編）
	30	確認テスト（第2回）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級簿記総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、 本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（基礎編）	31	工業簿記総まとめ⑪（基礎編）
	2	商業簿記総まとめ②（基礎編）	32	工業簿記総まとめ⑫（基礎編）
	3	商業簿記総まとめ③（基礎編）	33	工業簿記総まとめ⑬（基礎編）
	4	商業簿記総まとめ④（基礎編）	34	工業簿記総まとめ⑭（基礎編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（基礎編）	35	工業簿記総まとめ⑮（基礎編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（基礎編）	36	工業簿記総まとめ⑯（基礎編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（基礎編）	37	工業簿記総まとめ⑰（基礎編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（基礎編）	38	工業簿記総まとめ⑱（基礎編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（基礎編）	39	工業簿記総まとめ⑲（基礎編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（基礎編）	40	工業簿記総まとめ⑳（基礎編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（基礎編）	41	総合問題演習①（テスト形式）
	12	商業簿記総まとめ⑫（基礎編）	42	総合問題演習②（テスト形式）
	13	商業簿記総まとめ⑬（基礎編）	43	総合問題演習③（テスト形式）
	14	商業簿記総まとめ⑭（基礎編）	44	総合問題演習④（テスト形式）
	15	商業簿記総まとめ⑮（基礎編）	45	総合問題演習⑤（テスト形式）
	16	商業簿記総まとめ⑯（基礎編）	46	総合問題演習⑥（テスト形式）
	17	商業簿記総まとめ⑰（基礎編）	47	総合問題演習⑦（テスト形式）
	18	商業簿記総まとめ⑱（基礎編）	48	総合問題演習⑧（テスト形式）
	19	商業簿記総まとめ⑲（基礎編）	49	総合問題演習⑨（テスト形式）
	20	商業簿記総まとめ⑳（基礎編）	50	総合問題演習⑩（テスト形式）
	21	工業簿記総まとめ①（基礎編）	51	総合問題演習⑪（テスト形式）
	22	工業簿記総まとめ②（基礎編）	52	総合問題演習⑫（テスト形式）
	23	工業簿記総まとめ③（基礎編）	53	総合問題演習⑬（テスト形式）
	24	工業簿記総まとめ④（基礎編）	54	総合問題演習⑭（テスト形式）
	25	工業簿記総まとめ⑤（基礎編）	55	総合問題演習⑮（テスト形式）
	26	工業簿記総まとめ⑥（基礎編）	56	総合問題演習⑯（テスト形式）
	27	工業簿記総まとめ⑦（基礎編）	57	総合問題演習⑰（テスト形式）
	28	工業簿記総まとめ⑧（基礎編）	58	総合問題演習⑱（テスト形式）
	29	工業簿記総まとめ⑨（基礎編）	59	総合問題演習⑲（テスト形式）
	30	工業簿記総まとめ⑩（基礎編）	60	総合問題演習⑳（テスト形式）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総論①（基礎編）	31	株式会社の純資産①（基礎編）
	2	総論②（基礎編）	32	株式会社の純資産②（基礎編）
	3	収益と費用（基礎編）	33	株式会社の純資産③（基礎編）
	4	棚卸資産①（基礎編）	34	企業結合（基礎編）
	5	棚卸資産②（基礎編）	35	株主資本等変動計算書①（基礎編）
	6	棚卸資産③（基礎編）	36	株主資本等変動計算書②（基礎編）
	7	現金預金①（基礎編）	37	連結会計①（基礎編）
	8	現金預金②（基礎編）	38	連結会計②（基礎編）
	9	債権・債務等（基礎編）	39	連結会計③（基礎編）
	10	有価証券①（基礎編）	40	連結会計④（基礎編）
	11	有価証券②（基礎編）	41	連結会計⑤（基礎編）
	12	有価証券③（基礎編）	42	連結会計⑥（基礎編）
	13	有価証券④（基礎編）	43	連結会計⑦（基礎編）
	14	有価証券⑤（基礎編）	44	連結会計⑧（基礎編）
	15	有価証券⑥（基礎編）	45	連結会計⑨（基礎編）
	16	固定資産①（基礎編）		
	17	固定資産②（基礎編）		
	18	固定資産③（基礎編）		
	19	固定資産④（基礎編）		
	20	固定資産⑤（基礎編）		
	21	固定資産⑥（基礎編）		
	22	為替換算会計①（基礎編）		
	23	為替換算会計②（基礎編）		
	24	為替換算会計③（基礎編）		
	25	引当金①（基礎編）		
	26	引当金②（基礎編）		
	27	引当金③（基礎編）		
	28	法人税等①（基礎編）		
	29	法人税等②（基礎編）		
	30	法人税等③（基礎編）		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	工業簿記の基礎	31	標準原価計算①
	2	工業簿記の記帳体系（個別原価計算）	32	標準原価計算②
	3	材料費会計①	33	標準原価計算③
	4	材料費会計②	34	原価・営業量・利益関係の分析①
	5	労務費会計①	35	原価・営業量・利益関係の分析②
	6	労務費会計②	36	工場会計の独立
	7	経費会計	37	直接原価計算①
	8	製造間接費会計①	38	直接原価計算②
	9	製造間接費会計②	39	確認テスト（第2回）
	10	単純個別原価計算①	40	工業簿記総まとめ①
	11	単純個別原価計算②	41	工業簿記総まとめ②
	12	単純個別原価計算③	42	工業簿記総まとめ③
	13	部門別計算①	43	工業簿記総まとめ④
	14	部門別計算②	44	工業簿記総まとめ⑤
	15	部門別計算③	45	工業簿記総まとめ⑥
	16	確認テスト（第1回）		
	17	工企業の財務諸表①		
	18	工企業の財務諸表②		
	19	工業簿記の記帳体系（総合原価計算）		
	20	総合原価計算①		
	21	総合原価計算②		
	22	総合原価計算③		
	23	総合原価計算④		
	24	総合原価計算⑤		
	25	総合原価計算⑥		
	26	工程別総合原価計算①		
	27	工程別総合原価計算②		
	28	組別総合原価計算		
	29	等級別総合原価計算①		
	30	等級別総合原価計算②		
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級商業簿記応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	商企業の会計処理に関する全体の関連性について体系的に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	日々の取引、決算整理に関する一連の流れおよび財務諸表の作成について、上場企業レベルの資料を作成することができることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	本支店会計①（応用編）
	2	本支店会計②（応用編）
	3	本支店会計③（応用編）
	4	製造業を営む会社の決算処理①（応用編）
	5	製造業を営む会社の決算処理②（応用編）
	6	製造業を営む会社の決算処理③（応用編）
	7	伝票①（応用編）
	8	伝票②（応用編）
	9	伝票③（応用編）
	10	商業簿記総まとめ①
	11	商業簿記総まとめ②
	12	商業簿記総まとめ③
	13	商業簿記総まとめ④
	14	商業簿記総まとめ⑤
	15	商業簿記総まとめ⑥
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	2級工業簿記応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	費目別計算①（応用編）
	2	費目別計算②（応用編）
	3	単純個別原価計算①（応用編）
	4	単純個別原価計算②（応用編）
	5	部門別計算①（応用編）
	6	部門別計算②（応用編）
	7	工企業の財務諸表（応用編）
	8	単純総合原価計算①（応用編）
	9	単純総合原価計算②（応用編）
	10	工程別総合原価計算（応用編）
	11	組別総合原価計算、等級別総合原価計算（応用編）
	12	標準原価計算①（応用編）
	13	標準原価計算②（応用編）
	14	原価・営業量・利益関係の分析（応用編）
	15	直接原価計算（応用編）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級簿記総合Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記2級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（中級編）	31	総合問題演習②（テスト形式_中級編）
	2	商業簿記総まとめ②（中級編）	32	総合問題演習②（テスト形式_中級編）
	3	商業簿記総まとめ③（中級編）	33	総合問題演習②（テスト形式_中級編）
	4	商業簿記総まとめ④（中級編）	34	総合問題演習③（テスト形式_中級編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（中級編）	35	総合問題演習③（テスト形式_中級編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（中級編）	36	総合問題演習③（テスト形式_中級編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（中級編）	37	総合問題演習④（テスト形式_中級編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（中級編）	38	総合問題演習④（テスト形式_中級編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（中級編）	39	総合問題演習④（テスト形式_中級編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（中級編）	40	総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（中級編）	41	総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
	12	商業簿記総まとめ⑫（中級編）	42	総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）
	13	商業簿記総まとめ⑬（中級編）	43	総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
	14	商業簿記総まとめ⑭（中級編）	44	総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
	15	商業簿記総まとめ⑮（中級編）	45	総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）
	16	工業簿記総まとめ①（中級編）		
	17	工業簿記総まとめ②（中級編）		
	18	工業簿記総まとめ③（中級編）		
	19	工業簿記総まとめ④（中級編）		
	20	工業簿記総まとめ⑤（中級編）		
	21	工業簿記総まとめ⑥（中級編）		
	22	工業簿記総まとめ⑦（中級編）		
	23	工業簿記総まとめ⑧（中級編）		
	24	工業簿記総まとめ⑨（中級編）		
	25	工業簿記総まとめ⑩（中級編）		
	26	工業簿記総まとめ⑪（中級編）		
	27	工業簿記総まとめ⑫（中級編）		
	28	総合問題演習①（テスト形式_中級編）		
	29	総合問題演習①（テスト形式_中級編）		
	30	総合問題演習①（テスト形式_中級編）		
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級簿記総合Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の演習を通じて学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記2級の応用的な会計知識と計算技術の習得を目的とし、かつ、有価証券報告書を読み取ることができることを目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（応用編）	31	総合問題演習②（テスト形式_応用編）
	2	商業簿記総まとめ②（応用編）	32	総合問題演習②（テスト形式_応用編）
	3	商業簿記総まとめ③（応用編）	33	総合問題演習②（テスト形式_応用編）
	4	商業簿記総まとめ④（応用編）	34	総合問題演習③（テスト形式_応用編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（応用編）	35	総合問題演習③（テスト形式_応用編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（応用編）	36	総合問題演習③（テスト形式_応用編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（応用編）	37	総合問題演習④（テスト形式_応用編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（応用編）	38	総合問題演習④（テスト形式_応用編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（応用編）	39	総合問題演習④（テスト形式_応用編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（応用編）	40	総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（応用編）	41	総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
	12	商業簿記総まとめ⑫（応用編）	42	総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）
	13	商業簿記総まとめ⑬（応用編）	43	総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
	14	商業簿記総まとめ⑭（応用編）	44	総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
	15	商業簿記総まとめ⑮（応用編）	45	総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）
	16	工業簿記総まとめ①（応用編）		
	17	工業簿記総まとめ②（応用編）		
	18	工業簿記総まとめ③（応用編）		
	19	工業簿記総まとめ④（応用編）		
	20	工業簿記総まとめ⑤（応用編）		
	21	工業簿記総まとめ⑥（応用編）		
	22	工業簿記総まとめ⑦（応用編）		
	23	工業簿記総まとめ⑧（応用編）		
	24	工業簿記総まとめ⑨（応用編）		
	25	工業簿記総まとめ⑩（応用編）		
	26	工業簿記総まとめ⑪（応用編）		
	27	工業簿記総まとめ⑫（応用編）		
	28	総合問題演習①（テスト形式_応用編）		
	29	総合問題演習①（テスト形式_応用編）		
	30	総合問題演習①（テスト形式_応用編）		
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級会計学速習基礎			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	会計基準および適用指針など実務に直結する会計の基礎について短期間で学習し、問題演習は各自で行うことを原則とする			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	会計知識の習得および計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	財務諸表、有価証券（速習編）	31	在外子会社（速習編）
	2	デリバティブ取引・ヘッジ会計等（速習編）	32	企業結合①（速習編）
	3	有形固定資産（速習編）	33	企業結合②（速習編）
	4	割引現在価値（速習編）	34	事業分離（速習編）
	5	リース取引①（速習編）	35	本支店会計①（速習編）
	6	リース取引②（速習編）	36	本支店会計②（速習編）
	7	研究開発費とソフトウェア（速習編）	37	本支店会計③（速習編）
	8	固定資産の減損（速習編）	38	キャッシュ・フロー計算書①（速習編）
	9	繰延資産（速習編）	39	キャッシュ・フロー計算書②（速習編）
	10	社債①（速習編）	40	キャッシュ・フロー計算書③（速習編）
	11	社債②（速習編）	41	連結キャッシュ・フロー計算書①（速習編）
	12	引当金（速習編）	42	連結キャッシュ・フロー計算書②（速習編）
	13	退職給付①（速習編）	43	会計上の変更及び誤謬の訂正（速習編）
	14	退職給付②（速習編）	44	収益認識①（速習編）
	15	資産除去債務（速習編）	45	収益認識②（速習編）
	16	純資産（速習編）		
	17	新株予約権と新株予約権付社債（速習編）		
	18	ストック・オプション（速習編）		
	19	税効果会計①（速習編）		
	20	税効果会計②（速習編）		
	21	外貨建取引①（速習編）		
	22	外貨建取引②（速習編）		
	23	商品売買等（速習編）		
	24	連結財務諸表総論（速習編）		
	25	資本連結（速習編）		
	26	成果連結①（速習編）		
	27	成果連結②（速習編）		
	28	連結税効果会計（速習編）		
	29	持分法（速習編）		
	30	包括利益（速習編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算速習基礎	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容について短期間で学習し、問題演習は各自で行うことを原則とする	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総論（速習編）
	2	費目別計算（速習編）
	3	個別原価計算Ⅰ（速習編）
	4	部門別計算Ⅰ（速習編）
	5	部門別計算Ⅱ（速習編）
	6	個別原価計算Ⅱ（速習編）
	7	総合原価計算Ⅰ（速習編）
	8	総合原価計算Ⅱ（速習編）
	9	総合原価計算Ⅲ（速習編）
	10	総合原価計算Ⅳ（速習編）
	11	総合原価計算Ⅴ（速習編）
	12	総合原価計算Ⅵ（速習編）
	13	標準原価計算Ⅰ（速習編）
	14	標準原価計算Ⅱ（速習編）
	15	標準原価計算Ⅲ（速習編）
	16	標準原価計算Ⅳ（速習編）
	17	直接原価計算（速習編）
	18	短期利益計画（速習編）
	19	予算管理Ⅰ（速習編）
	20	予算管理Ⅱ（速習編）
	21	意思決定会計総論（速習編）
	22	業務的意思決定Ⅰ（速習編）
	23	業務的意思決定Ⅱ（速習編）
	24	構造的意思決定Ⅰ（速習編）
	25	構造的意思決定Ⅱ（速習編）
	26	構造的意思決定Ⅲ（速習編）
	27	事業部制Ⅰ（速習編）
	28	事業部制Ⅱ（速習編）
	29	戦略的原価計算Ⅰ（速習編）
	30	戦略的原価計算Ⅱ（速習編）
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級簿記速習総合			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	大企業を前提とした会計制度を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	より深い会計制度の知識習得および問題演習を通じて計算技術を習得することを目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記・会計学総まとめ①（速習編）	31	工業簿記・原価計算総まとめ⑥（速習編）
	2	商業簿記・会計学総まとめ②（速習編）	32	工業簿記・原価計算総まとめ⑦（速習編）
	3	商業簿記・会計学総まとめ③（速習編）	33	工業簿記・原価計算総まとめ⑧（速習編）
	4	商業簿記・会計学総まとめ④（速習編）	34	工業簿記・原価計算総まとめ⑨（速習編）
	5	商業簿記・会計学総まとめ⑤（速習編）	35	工業簿記・原価計算総まとめ⑩（速習編）
	6	商業簿記・会計学総まとめ⑥（速習編）	36	工業簿記・原価計算総まとめ⑪（速習編）
	7	商業簿記・会計学総まとめ⑦（速習編）	37	工業簿記・原価計算総まとめ⑫（速習編）
	8	商業簿記・会計学総まとめ⑧（速習編）	38	工業簿記・原価計算総まとめ⑬（速習編）
	9	商業簿記・会計学総まとめ⑨（速習編）	39	工業簿記・原価計算総まとめ⑭（速習編）
	10	商業簿記・会計学総まとめ⑩（速習編）	40	工業簿記・原価計算総まとめ⑮（速習編）
	11	商業簿記・会計学総まとめ⑪（速習編）	41	工業簿記・原価計算総まとめ⑯（速習編）
	12	商業簿記・会計学総まとめ⑫（速習編）	42	工業簿記・原価計算総まとめ⑰（速習編）
	13	商業簿記・会計学総まとめ⑬（速習編）	43	工業簿記・原価計算総まとめ⑱（速習編）
	14	商業簿記・会計学総まとめ⑭（速習編）	44	工業簿記・原価計算総まとめ⑲（速習編）
	15	商業簿記・会計学総まとめ⑮（速習編）	45	工業簿記・原価計算総まとめ⑳（速習編）
	16	商業簿記・会計学総まとめ⑯（速習編）	46	総合問題演習①（テスト形式）
	17	商業簿記・会計学総まとめ⑰（速習編）	47	総合問題演習②（テスト形式）
	18	商業簿記・会計学総まとめ⑱（速習編）	48	総合問題演習③（テスト形式）
	19	商業簿記・会計学総まとめ⑲（速習編）	49	総合問題演習④（テスト形式）
	20	商業簿記・会計学総まとめ⑳（速習編）	50	総合問題演習⑤（テスト形式）
	21	商業簿記・会計学総まとめ㉑（速習編）	51	総合問題演習⑥（テスト形式）
	22	商業簿記・会計学総まとめ㉒（速習編）	52	総合問題演習⑦（テスト形式）
	23	商業簿記・会計学総まとめ㉓（速習編）	53	総合問題演習⑧（テスト形式）
	24	商業簿記・会計学総まとめ㉔（速習編）	54	総合問題演習⑨（テスト形式）
	25	商業簿記・会計学総まとめ㉕（速習編）	55	総合問題演習⑩（テスト形式）
	26	工業簿記・原価計算総まとめ①（速習編）	56	総合問題演習⑪（テスト形式）
	27	工業簿記・原価計算総まとめ②（速習編）	57	総合問題演習⑫（テスト形式）
	28	工業簿記・原価計算総まとめ③（速習編）	58	総合問題演習⑬（テスト形式）
	29	工業簿記・原価計算総まとめ④（速習編）	59	総合問題演習⑭（テスト形式）
	30	工業簿記・原価計算総まとめ⑤（速習編）	60	総合問題演習⑮（テスト形式）
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級会計学入門Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	現行基準の理論体系の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	財務諸表（入門編）	31	商品売買等①（入門編）
	2	有価証券（入門編）	32	商品売買等②（入門編）
	3	デリバティブ取引・ヘッジ会計（入門編）	33	商品売買等③（入門編）
	4	有形固定資産①（入門編）	34	本支店会計①（入門編）
	5	有形固定資産②（入門編）	35	本支店会計②（入門編）
	6	割引現在価値（入門編）	36	本支店会計③（入門編）
	7	リース取引①（入門編）	37	連結財務諸表総論①（入門編）
	8	リース取引②（入門編）	38	連結財務諸表総論②（入門編）
	9	研究開発費とソフトウェア（入門編）	39	資本連結①（入門編）
	10	固定資産の減損①（入門編）	40	資本連結②（入門編）
	11	固定資産の減損②（入門編）	41	資本連結③（入門編）
	12	繰延資産（入門編）	42	資本連結④（入門編）
	13	社債（入門編）	43	成果連結①（入門編）
	14	貸倒引当金（入門編）	44	成果連結②（入門編）
	15	退職給付①（入門編）	45	成果連結③（入門編）
	16	退職給付②（入門編）		
	17	資産除去債務①（入門編）		
	18	資産除去債務②（入門編）		
	19	純資産①（入門編）		
	20	純資産②（入門編）		
	21	純資産③（入門編）		
	22	新株予約権と新株予約権付社債（入門編）		
	23	ストック・オプション①（入門編）		
	24	ストック・オプション②（入門編）		
	25	税効果会計①（入門編）		
	26	税効果会計②（入門編）		
	27	税効果会計③（入門編）		
	28	外貨建取引①（入門編）		
	29	外貨建取引②（入門編）		
	30	外貨建取引③（入門編）		
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級原価計算入門Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な内容を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	工業簿記と原価計算（入門編）	31	業務的意思決定②（入門編）
	2	費目別計算①（入門編）	32	業務的意思決定③（入門編）
	3	費目別計算②（入門編）	33	業務的意思決定④（入門編）
	4	部門別計算①（入門編）	34	業務的意思決定⑤（入門編）
	5	部門別計算②（入門編）	35	業務的意思決定⑥（入門編）
	6	部門別計算③（入門編）	36	構造的意思決定①（入門編）
	7	部門別計算④（入門編）	37	構造的意思決定②（入門編）
	8	部門別計算⑤（入門編）	38	構造的意思決定③（入門編）
	9	部門別計算⑥（入門編）	39	構造的意思決定④（入門編）
	10	個別原価計算①（入門編）	40	構造的意思決定⑤（入門編）
	11	個別原価計算②（入門編）	41	構造的意思決定⑥（入門編）
	12	個別原価計算③（入門編）	42	戦略的原価計算①（入門編）
	13	総合原価計算④（入門編）	43	戦略的原価計算②（入門編）
	14	総合原価計算⑤（入門編）	44	戦略的原価計算③（入門編）
	15	総合原価計算⑥（入門編）	45	戦略的原価計算④（入門編）
	16	総合原価計算⑦（入門編）		
	17	総合原価計算⑧（入門編）		
	18	標準原価計算①（入門編）		
	19	標準原価計算②（入門編）		
	20	標準原価計算③（入門編）		
	21	標準原価計算④（入門編）		
	22	標準原価計算⑤（入門編）		
	23	直接原価計算（入門編）		
	24	短期利益計画①（入門編）		
	25	短期利益計画②（入門編）		
	26	短期利益計画③（入門編）		
	27	予算管理①（入門編）		
	28	予算管理②（入門編）		
	29	予算管理③（入門編）		
	30	業務的意思決定①（入門編）		
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の基礎について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	持分法①（基礎編）
	2	持分法②（基礎編）
	3	連結税効果①（基礎編）
	4	連結税効果②（基礎編）
	5	包括利益（基礎編）
	6	在外子会社（基礎編）
	7	企業結合①（基礎編）
	8	企業結合②（基礎編）
	9	事業分離①（基礎編）
	10	事業分離②（基礎編）
	11	キャッシュフロー計算書①（基礎編）
	12	キャッシュフロー計算書②（基礎編）
	13	連結キャッシュフロー計算書①（基礎編）
	14	連結キャッシュフロー計算書②（基礎編）
	15	会計上の変更及び誤謬の訂正（基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	個別原価計算（基礎編）
	2	部門別計算（基礎編）
	3	総合原価計算①（基礎編）
	4	総合原価計算②（基礎編）
	5	標準原価計算①（基礎編）
	6	標準原価計算②（基礎編）
	7	標準原価計算③（基礎編）
	8	予算管理（基礎編）
	9	業務的意思決定①（基礎編）
	10	業務的意思決定②（基礎編）
	11	構造的意思決定①（基礎編）
	12	構造的意思決定②（基礎編）
	13	戦略的原価計算（基礎編）
	14	事業部制①（基礎編）
	15	事業部制②（基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級会計学総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記検定1級合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記・会計学総まとめ①	31	総合問題対策⑥（テスト形式の問題解説）
	2	商業簿記・会計学総まとめ②	32	総合問題対策⑦（テスト形式の問題解説）
	3	商業簿記・会計学総まとめ③	33	総合問題対策⑧（テスト形式の問題解説）
	4	商業簿記・会計学総まとめ④	34	総合問題対策⑨（テスト形式の問題解説）
	5	商業簿記・会計学総まとめ⑤	35	総合問題対策⑩（テスト形式の問題解説）
	6	商業簿記・会計学総まとめ⑥	36	総合問題対策⑪（テスト形式の問題解説）
	7	商業簿記・会計学総まとめ⑦	37	総合問題対策⑫（テスト形式の問題解説）
	8	商業簿記・会計学総まとめ⑧	38	総合問題対策⑬（テスト形式の問題解説）
	9	商業簿記・会計学総まとめ⑨	39	総合問題対策⑭（テスト形式の問題解説）
	10	商業簿記・会計学総まとめ⑩	40	総合問題対策⑮（テスト形式の問題解説）
	11	商業簿記・会計学総まとめ⑪	41	総合問題対策⑯（テスト形式の問題解説）
	12	商業簿記・会計学総まとめ⑫	42	総合問題対策⑰（テスト形式の問題解説）
	13	商業簿記・会計学総まとめ⑬	43	総合問題対策⑱（テスト形式の問題解説）
	14	商業簿記・会計学総まとめ⑭	44	総合問題対策⑲（テスト形式の問題解説）
	15	商業簿記・会計学総まとめ⑮	45	総合問題対策⑳（テスト形式の問題解説）
	16	商業簿記・会計学総まとめ⑯		
	17	商業簿記・会計学総まとめ⑰		
	18	商業簿記・会計学総まとめ⑱		
	19	商業簿記・会計学総まとめ⑲		
	20	商業簿記・会計学総まとめ⑳		
	21	商業簿記・会計学総まとめ㉑		
	22	商業簿記・会計学総まとめ㉒		
	23	商業簿記・会計学総まとめ㉓		
	24	商業簿記・会計学総まとめ㉔		
	25	商業簿記・会計学総まとめ㉕		
	26	総合問題対策①（テスト形式の問題解説）		
	27	総合問題対策②（テスト形式の問題解説）		
	28	総合問題対策③（テスト形式の問題解説）		
	29	総合問題対策④（テスト形式の問題解説）		
	30	総合問題対策⑤（テスト形式の問題解説）		
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	1級原価計算総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記検定1級合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	工業簿記・原価計算総まとめ①	31	総合問題対策⑥（テスト形式の問題解説）
	2	工業簿記・原価計算総まとめ②	32	総合問題対策⑦（テスト形式の問題解説）
	3	工業簿記・原価計算総まとめ③	33	総合問題対策⑧（テスト形式の問題解説）
	4	工業簿記・原価計算総まとめ④	34	総合問題対策⑨（テスト形式の問題解説）
	5	工業簿記・原価計算総まとめ⑤	35	総合問題対策⑩（テスト形式の問題解説）
	6	工業簿記・原価計算総まとめ⑥	36	総合問題対策⑪（テスト形式の問題解説）
	7	工業簿記・原価計算総まとめ⑦	37	総合問題対策⑫（テスト形式の問題解説）
	8	工業簿記・原価計算総まとめ⑧	38	総合問題対策⑬（テスト形式の問題解説）
	9	工業簿記・原価計算総まとめ⑨	39	総合問題対策⑭（テスト形式の問題解説）
	10	工業簿記・原価計算総まとめ⑩	40	総合問題対策⑮（テスト形式の問題解説）
	11	工業簿記・原価計算総まとめ⑪	41	総合問題対策⑯（テスト形式の問題解説）
	12	工業簿記・原価計算総まとめ⑫	42	総合問題対策⑰（テスト形式の問題解説）
	13	工業簿記・原価計算総まとめ⑬	43	総合問題対策⑱（テスト形式の問題解説）
	14	工業簿記・原価計算総まとめ⑭	44	総合問題対策⑲（テスト形式の問題解説）
	15	工業簿記・原価計算総まとめ⑮	45	総合問題対策⑳（テスト形式の問題解説）
	16	工業簿記・原価計算総まとめ⑯		
	17	工業簿記・原価計算総まとめ⑰		
	18	工業簿記・原価計算総まとめ⑱		
	19	工業簿記・原価計算総まとめ⑲		
	20	工業簿記・原価計算総まとめ⑳		
	21	工業簿記・原価計算総まとめ㉑		
	22	工業簿記・原価計算総まとめ㉒		
	23	工業簿記・原価計算総まとめ㉓		
	24	工業簿記・原価計算総まとめ㉔		
	25	工業簿記・原価計算総まとめ㉕		
	26	総合問題対策①（テスト形式の問題解説）		
	27	総合問題対策②（テスト形式の問題解説）		
	28	総合問題対策③（テスト形式の問題解説）		
	29	総合問題対策④（テスト形式の問題解説）		
	30	総合問題対策⑤（テスト形式の問題解説）		
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級簿記速習演習	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	個別会計、結合会計などを通じて近年の企業再編等についても学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	簿記1級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	商業簿記・会計学総まとめ①（基礎編）
	2	商業簿記・会計学総まとめ②（基礎編）
	3	商業簿記・会計学総まとめ③（基礎編）
	4	商業簿記・会計学総まとめ④（基礎編）
	5	商業簿記・会計学総まとめ⑤（基礎編）
	6	商業簿記・会計学総まとめ⑥（基礎編）
	7	商業簿記・会計学総まとめ⑦（基礎編）
	8	商業簿記・会計学総まとめ⑧（基礎編）
	9	商業簿記・会計学総まとめ⑨（基礎編）
	10	商業簿記・会計学総まとめ⑩（基礎編）
	11	商業簿記・会計学総まとめ⑪（基礎編）
	12	商業簿記・会計学総まとめ⑫（基礎編）
	13	商業簿記・会計学総まとめ⑬（基礎編）
	14	商業簿記・会計学総まとめ⑭（基礎編）
	15	商業簿記・会計学総まとめ⑮（基礎編）
	16	工業簿記・原価計算総まとめ①（基礎編）
	17	工業簿記・原価計算総まとめ②（基礎編）
	18	工業簿記・原価計算総まとめ③（基礎編）
	19	工業簿記・原価計算総まとめ④（基礎編）
	20	工業簿記・原価計算総まとめ⑤（基礎編）
	21	工業簿記・原価計算総まとめ⑥（基礎編）
	22	工業簿記・原価計算総まとめ⑦（基礎編）
	23	工業簿記・原価計算総まとめ⑧（基礎編）
	24	工業簿記・原価計算総まとめ⑨（基礎編）
	25	工業簿記・原価計算総まとめ⑩（基礎編）
	26	工業簿記・原価計算総まとめ⑪（基礎編）
	27	工業簿記・原価計算総まとめ⑫（基礎編）
	28	工業簿記・原価計算総まとめ⑬（基礎編）
	29	工業簿記・原価計算総まとめ⑭（基礎編）
	30	工業簿記・原価計算総まとめ⑮（基礎編）
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級会計学入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、基礎的な理論体系、現行基準との整合性を確認する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	現行基準の基本的な理論体系の理解を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	収益性分析
	2	安全性分析
	3	一般原則等①
	4	一般原則等②
	5	損益計算書原則等
	6	損益計算書の表示区分①
	7	損益計算書の表示区分②
	8	貸借対照表原則等①
	9	貸借対照表原則等②
	10	資産会計(金融資産)
	11	資産会計(棚卸資産)
	12	資産会計(固定資産)
	13	資産会計(繰延資産等)
	14	負債会計①
	15	負債会計②
	16	帳簿組織
	17	純資産会計等
	18	外貨建取引会計
	19	税効果会計
	20	企業結合会計
	21	連結会計①
	22	連結会計②
	23	キャッシュ・フロー会計①
	24	キャッシュ・フロー会計②
	25	会計上の変更と誤謬の訂正
	26	概念フレームワーク①
	27	概念フレームワーク②
	28	概念フレームワーク③
	29	概念フレームワーク④
	30	概念フレームワーク⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	1級原価計算入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、工業簿記および原価計算の関係性を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	工企業を前提とする基本的な会計処理の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	費目別計算
	2	部門別計算
	3	個別原価計算
	4	総合原価計算①
	5	総合原価計算②
	6	総合原価計算③
	7	標準原価計算①
	8	標準原価計算②
	9	標準原価計算③
	10	直接原価計算
	11	短期利益計画
	12	予算管理
	13	事業部制
	14	業務的意思決定①
	15	業務的意思決定②
	16	構造的意思決定①
	17	構造的意思決定②
	18	構造的意思決定③
	19	戦略的原価計算①
	20	戦略的原価計算②
	21	工場会計の独立
	22	工業簿記・原価計算総まとめ①
	23	工業簿記・原価計算総まとめ②
	24	工業簿記・原価計算総まとめ③
	25	工業簿記・原価計算総まとめ④
	26	工業簿記・原価計算総まとめ⑤
	27	工業簿記・原価計算総まとめ⑥
	28	工業簿記・原価計算総まとめ⑦
	29	工業簿記・原価計算総まとめ⑧
	30	工業簿記・原価計算総まとめ⑨
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	全経簿記上級総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	大企業を前提とした会計制度、複雑な会計処理をより詳細に学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記・会計学総まとめ①（全経速習編）	31	総合問題対策①（全経速習編）
	2	商業簿記・会計学総まとめ②（全経速習編）	32	総合問題対策②（全経速習編）
	3	商業簿記・会計学総まとめ③（全経速習編）	33	総合問題対策③（全経速習編）
	4	商業簿記・会計学総まとめ④（全経速習編）	34	総合問題対策④（全経速習編）
	5	商業簿記・会計学総まとめ⑤（全経速習編）	35	総合問題対策⑤（全経速習編）
	6	商業簿記・会計学総まとめ⑥（全経速習編）	36	総合問題対策⑥（全経速習編）
	7	商業簿記・会計学総まとめ⑦（全経速習編）	37	総合問題対策⑦（全経速習編）
	8	商業簿記・会計学総まとめ⑧（全経速習編）	38	総合問題対策⑧（全経速習編）
	9	商業簿記・会計学総まとめ⑨（全経速習編）	39	総合問題対策⑨（全経速習編）
	10	商業簿記・会計学総まとめ⑩（全経速習編）	40	総合問題対策⑩（全経速習編）
	11	商業簿記・会計学総まとめ⑪（全経速習編）	41	総合問題対策⑪（全経速習編）
	12	商業簿記・会計学総まとめ⑫（全経速習編）	42	総合問題対策⑫（全経速習編）
	13	商業簿記・会計学総まとめ⑬（全経速習編）	43	総合問題対策⑬（全経速習編）
	14	商業簿記・会計学総まとめ⑭（全経速習編）	44	総合問題対策⑭（全経速習編）
	15	商業簿記・会計学総まとめ⑮（全経速習編）	45	総合問題対策⑮（全経速習編）
	16	工業簿記・原価計算総まとめ①（全経速習編）	46	総合問題演習①（テスト形式）
	17	工業簿記・原価計算総まとめ②（全経速習編）	47	総合問題演習①（テスト形式）
	18	工業簿記・原価計算総まとめ③（全経速習編）	48	総合問題演習①（テスト形式）
	19	工業簿記・原価計算総まとめ④（全経速習編）	49	総合問題演習②（テスト形式）
	20	工業簿記・原価計算総まとめ⑤（全経速習編）	50	総合問題演習②（テスト形式）
	21	工業簿記・原価計算総まとめ⑥（全経速習編）	51	総合問題演習②（テスト形式）
	22	工業簿記・原価計算総まとめ⑦（全経速習編）	52	総合問題演習③（テスト形式）
	23	工業簿記・原価計算総まとめ⑧（全経速習編）	53	総合問題演習③（テスト形式）
	24	工業簿記・原価計算総まとめ⑨（全経速習編）	54	総合問題演習③（テスト形式）
	25	工業簿記・原価計算総まとめ⑩（全経速習編）	55	総合問題演習④（テスト形式）
	26	工業簿記・原価計算総まとめ⑪（全経速習編）	56	総合問題演習④（テスト形式）
	27	工業簿記・原価計算総まとめ⑫（全経速習編）	57	総合問題演習④（テスト形式）
	28	工業簿記・原価計算総まとめ⑬（全経速習編）	58	総合問題演習⑤（テスト形式）
	29	工業簿記・原価計算総まとめ⑭（全経速習編）	59	総合問題演習⑤（テスト形式）
	30	工業簿記・原価計算総まとめ⑮（全経速習編）	60	総合問題演習⑤（テスト形式）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	全経簿記上級総合Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	大企業を前提とした会計制度を学習し、複雑な会計処理をより詳細に学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	有価証券報告書を理解することはもちろんのこと、会計基準、適用指針、結合会計など、実務に直結する会計の理解を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記・会計学総まとめ①（全経総合編）	31	総合問題対策①（全経総合編）
	2	商業簿記・会計学総まとめ②（全経総合編）	32	総合問題対策②（全経総合編）
	3	商業簿記・会計学総まとめ③（全経総合編）	33	総合問題対策③（全経総合編）
	4	商業簿記・会計学総まとめ④（全経総合編）	34	総合問題対策④（全経総合編）
	5	商業簿記・会計学総まとめ⑤（全経総合編）	35	総合問題対策⑤（全経総合編）
	6	商業簿記・会計学総まとめ⑥（全経総合編）	36	総合問題対策⑥（全経総合編）
	7	商業簿記・会計学総まとめ⑦（全経総合編）	37	総合問題対策⑦（全経総合編）
	8	商業簿記・会計学総まとめ⑧（全経総合編）	38	総合問題対策⑧（全経総合編）
	9	商業簿記・会計学総まとめ⑨（全経総合編）	39	総合問題対策⑨（全経総合編）
	10	商業簿記・会計学総まとめ⑩（全経総合編）	40	総合問題対策⑩（全経総合編）
	11	商業簿記・会計学総まとめ⑪（全経総合編）	41	総合問題対策⑪（全経総合編）
	12	商業簿記・会計学総まとめ⑫（全経総合編）	42	総合問題対策⑫（全経総合編）
	13	商業簿記・会計学総まとめ⑬（全経総合編）	43	総合問題対策⑬（全経総合編）
	14	商業簿記・会計学総まとめ⑭（全経総合編）	44	総合問題対策⑭（全経総合編）
	15	商業簿記・会計学総まとめ⑮（全経総合編）	45	総合問題対策⑮（全経総合編）
	16	工業簿記・原価計算総まとめ①（全経総合編）	46	総合問題演習①（テスト形式）
	17	工業簿記・原価計算総まとめ②（全経総合編）	47	総合問題演習①（テスト形式）
	18	工業簿記・原価計算総まとめ③（全経総合編）	48	総合問題演習①（テスト形式）
	19	工業簿記・原価計算総まとめ④（全経総合編）	49	総合問題演習②（テスト形式）
	20	工業簿記・原価計算総まとめ⑤（全経総合編）	50	総合問題演習②（テスト形式）
	21	工業簿記・原価計算総まとめ⑥（全経総合編）	51	総合問題演習②（テスト形式）
	22	工業簿記・原価計算総まとめ⑦（全経総合編）	52	総合問題演習③（テスト形式）
	23	工業簿記・原価計算総まとめ⑧（全経総合編）	53	総合問題演習③（テスト形式）
	24	工業簿記・原価計算総まとめ⑨（全経総合編）	54	総合問題演習③（テスト形式）
	25	工業簿記・原価計算総まとめ⑩（全経総合編）	55	総合問題演習④（テスト形式）
	26	工業簿記・原価計算総まとめ⑪（全経総合編）	56	総合問題演習④（テスト形式）
	27	工業簿記・原価計算総まとめ⑫（全経総合編）	57	総合問題演習④（テスト形式）
	28	工業簿記・原価計算総まとめ⑬（全経総合編）	58	総合問題演習⑤（テスト形式）
	29	工業簿記・原価計算総まとめ⑭（全経総合編）	59	総合問題演習⑤（テスト形式）
	30	工業簿記・原価計算総まとめ⑮（全経総合編）	60	総合問題演習⑤（テスト形式）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	会計学入門Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	簿記一巡・商品の流れの初歩的な知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
	1	簿記の概要Ⅰ①（初歩編）	31	
	2	簿記の概要Ⅰ②（初歩編）	32	
	3	現金預金Ⅰ①（初歩編）	33	
	4	現金預金Ⅰ②（初歩編）	34	
	5	債権債務Ⅰ①（初歩編）	35	
	6	債権債務Ⅰ②（初歩編）	36	
	7	商品売買Ⅰ①（初歩編）	37	
	8	商品売買Ⅰ②（初歩編）	38	
	9	給料等Ⅰ①（初歩編）	39	
	10	給料等Ⅰ②（初歩編）	40	
	11	固定資産Ⅰ①（初歩編）	41	
	12	固定資産Ⅰ②（初歩編）	42	
	13	固定資産Ⅰ③（初歩編）	43	
	14	固定資産Ⅰ④（初歩編）	44	
	15	固定資産Ⅰ⑤（初歩編）	45	
	16	固定資産Ⅰ⑥（初歩編）	46	
	17	ソフトウェアⅠ①（初歩編）	47	
	18	ソフトウェアⅠ②（初歩編）	48	
	19	債権債務Ⅰ①（初歩編）	49	
	20	債権債務Ⅰ②（初歩編）	50	
	21	貸倒れⅠ①（初歩編）	51	
	22	貸倒れⅠ②（初歩編）	52	
	23	退職給付会計Ⅰ①（初歩編）	53	
	24	退職給付会計Ⅰ②（初歩編）	54	
	25	退職給付会計Ⅰ③（初歩編）	55	
	26	退職給付会計Ⅰ④（初歩編）	56	
	27	退職給付会計Ⅰ⑤（初歩編）	57	
	28	退職給付会計Ⅰ⑥（初歩編）	58	
	29	税金Ⅰ①（初歩編）	59	
	30	税金Ⅰ②（初歩編）	60	
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	会計学入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	会計学、会計基準の初歩的な概要を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（初歩）	31	
	2	個別注記表（初歩）	32	
	3	現金及び預金（初歩）	33	
	4	債権債務（初歩）	34	
	5	関係会社概念（初歩）	35	
	6	売上原価の算定（初歩）	36	
	7	貸倒れ（初歩）	37	
	8	給料等（初歩）	38	
	9	その他の引当金（初歩）	39	
	10	退職給付会計（初歩）	40	
	11	有形固定資産（初歩）	41	
	12	無形固定資産（初歩）	42	
	13	株主資本（初歩）	43	
	14	ソフトウェア（初歩）	44	
	15	法人税等・追徴還付（初歩）	45	
	16	外形基準、租税公課（初歩）	46	
	17	源泉所得税、社会保険料（初歩）	47	
	18	財務諸表論の基礎概念①（初歩）	48	
	19	財務諸表論の基礎概念②（初歩）	49	
	20	財務諸表論の基礎概念③（初歩）	50	
	21	財務諸表論の基礎概念④（初歩）	51	
	22	財務諸表論の基礎概念⑤（初歩）	52	
	23	企業会計原則（一般原則）①（初歩）	53	
	24	企業会計原則（一般原則）②（初歩）	54	
	25	企業会計原則（一般原則）③（初歩）	55	
	26	企業会計原則（一般原則）④（初歩）	56	
	27	企業会計原則（一般原則）⑤（初歩）	57	
	28	企業会計原則（一般原則）⑥（初歩）	58	
	29	企業会計原則（一般原則）⑦（初歩）	59	
	30	企業会計原則（一般原則）⑧（初歩）	60	
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会計士キャリアデザインⅠ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	職種や業種について基本的学習を行いつつ、会計士試験の理解を深め試験勉強と実務におけるつながりを理解する	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	会計士になるために　1　会計士の仕事内容と試験制度概要
	2	会計士になるために　2　試験制度の仕組みと学習プラン
	3	会計士になるために　3　授業内容と授業心得
	4	会計士になるために　4　短答式試験受験の心構え
	5	監査法人理解　1　仕事内容　（概要）
	6	監査法人理解　2　試験勉強と監査法人業務
	7	将来像を考える　1　法人の仕組み　（スタッフの仕事理解）
	8	将来像を考える　2　法人の仕組み　（監査業務内容理解）
	9	会計士になるために　5　学習プランの再確認
	10	会計士になるために　6　論文式試験の学習内容理解
	11	将来像を考える　3　監査法人以外の進路について
	12	就職準備　1　（ＥＳの書き方）
	13	就職準備　2　（監査法人の調べ方）
	14	就職準備　3　（よくある質問対策）
	15	会計士になるために　7　論文式試験受験の心構え
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な枠組みを学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	監査とは
	2	監査の分類
	3	公認会計士の監査領域
	4	財務諸表の監査の必要性
	5	財務諸表の監査の機能
	6	監査の固有の限界
	7	二重責任の原則
	8	財務諸表の作成責任
	9	財務諸表の作成基準
	10	監査人
	11	監査業務の一年の流れ
	12	財務諸表の適正性の立証プロセス、監査証拠
	13	監査手続き（監査技術）
	14	リスク・アプローチ
	15	リスク評価手続及び評価したリスクに対応する手続
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	監査手続きに関して、監査実施論に対する基礎的な枠組みを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	IT（情報技術）
	2	監査契約に係る予備的な活動
	3	監査計画
	4	監査証拠の入手方法
	5	監査上の重要性
	6	特別な検討を必要とするリスク
	7	関連当事者との関係及び取引
	8	会計上の見積り
	9	財務諸表監査における不正の検討
	10	監査における不正リスク対応基準
	11	財務諸表監査における法令の検討
	12	グループ監査
	13	内部監査の利用
	14	専門家の業務の利用
	15	監査証拠の十分性と適切性の評価
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	監査論入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な枠組みを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	監査の品質管理
	2	監査人の交代（監査事務所間の交代）
	3	監査役等とのコミュニケーション
	4	内部統制の不備に関するコミュニケーション
	5	監査調書
	6	監査意見の内容
	7	財務諸表の適正性
	8	監査報告書
	9	無限定適正意見の場合
	10	除外事項付意見の場合
	11	個別財務諸表の監査意見と連結財務諸表の監査意見
	12	追記情報の意義
	13	追記情報と保証機能
	14	比較情報
	15	監査上の主要な検討事項
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	管理会計の概要を知り、基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	管理会計の概要を知り、基礎を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	管理会計論総論
	2	管理会計論の範囲
	3	原価計算の本質・意義
	4	原価計算の基本思考
	5	原価計算の目的
	6	費目別計算総論
	7	原価の分類
	8	材料費の計算
	9	材料費の分類
	10	労務費の計算
	11	労務費の計算
	12	経費の計算
	13	経費の分類
	14	製造間接費の計算
	15	製造間接費と配賦計算
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	配賦基準
	2	製造間接費の実際配賦
	3	製造間接費の予定配賦
	4	製造間接費予算
	5	配賦差異の算定
	6	固定予算
	7	公式法変動予算
	8	実査法変動予算
	9	部門別計算の意義・目的
	10	原価部門の設定
	11	実際配賦（第１次集計）
	12	実際配賦（第２次集計）
	13	実際配賦（第３次集計）
	14	予定配賦
	15	予定配賦率の算定・予定配賦額の算定
	16	製造部門費配賦差異の算定
	17	補助部門費の配賦
	18	配賦基準（単一基準配賦法）
	19	配賦基準（複数基準配賦法）
	20	配賦金額（実際発生額）
	21	配賦金額（予定配賦額）
	22	配賦金額（予算許容額）
	23	個別原価計算総論
	24	製造指図書と原価計算表
	25	完成品原価と月末仕掛品原価の区分
	26	単純個別原価計算
	27	ロット別個別原価計算
	28	部門別個別原価計算の意義
	29	個別原価計算における仕損の処理①
	30	個別原価計算における仕損の処理②
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	択一式の問題演習を通しながら、計算力の向上や原価計算基準を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	択一式の問題演習を通しながら、計算力の向上や原価計算基準を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	総合原価計算総論
	2	総合原価計算
	3	直接材料費と加工費
	4	仕掛品の完成品換算
	5	総合原価計算の種類
	6	単純総合原価計算（単純総合原価計算の意義）
	7	単純総合原価計算（月末仕掛費の評価方法）
	8	単純総合原価計算（正常仕損・正常減損の処理）
	9	単純総合原価計算（副産物・作業屑の処理）
	10	単純総合原価計算（異常仕損（減損）の処理）
	11	工程別総合原価計算の処理
	12	工程別計算の計算手順（累加法）
	13	工程別計算の計算手順（通常計算方式の非累加法）
	14	予定振替原価の利用
	15	追加原材料の意義
	16	追加原材料（増量しない場合）
	17	組別総合原価計算の意義
	18	組別総合原価計算の手続
	19	等級別総合原価計算の意義
	20	完成品原価按分法（単純総合原価計算に近い方法）
	21	当月製造費用按分法（組別総合原価計算に近い方法）
	22	連産品
	23	連結原価（結合原価）の按分
	24	連産品を副産物とみなす場合の計算
	25	連結原価（結合原価）を按分する理由
	26	授業内演習①
	27	授業内演習②
	28	授業内演習③
	29	授業内演習④
	30	授業内演習⑤
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	管理会計論入門演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	問題演習を行うことで、原価計算制度の基礎知識を定着させることを図る	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	計算基礎問題　（初級編）①
	2	計算基礎問題　（初級編）②
	3	計算基礎問題　（初級編）③
	4	計算基礎問題　（初級編）④
	5	計算基礎問題　（初級編）⑤
	6	計算基礎問題　（初級編）⑥
	7	計算基礎問題　（初級編）⑦
	8	計算基礎問題　（初級編）⑧
	9	計算基礎問題　（初級編）⑨
	10	計算基礎問題　（初級編）⑩
	11	計算基礎問題　（初級編）⑪
	12	計算基礎問題　（初級編）⑫
	13	計算基礎問題　（初級編）⑬
	14	計算基礎問題　（初級編）⑭
	15	計算基礎問題　（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、会社の設立を中心とした基礎的な概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、会社の設立に関する考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	個人企業と共同作業
	2	会社の概念
	3	法人性に関する諸問題
	4	4種類の会社
	5	株式会社の分類
	6	株式会社の本質的特徴
	7	株主有限責任の原則から導かれる資本制度
	8	本質的特徴から導かれる重要な制度
	9	会社設立に関する立法主義
	10	株式会社の設立手続きの流れ
	11	株式会社の設立の方法
	12	発起人の意義
	13	発起人の資格
	14	発起人の数
	15	定款の意義
	16	定款の作成
	17	定款の記載・記録事項
	18	定款の備置き、閲覧・謄写
	19	発起設立
	20	募集設立
	21	設立登記の手続き
	22	設立登記の効力
	23	変態設立事項に関する規制（規制の概要）
	24	変態設立事項に関する規制（現物出資）
	25	変態設立事項に関する規制（財産引受け）
	26	変態設立事項に関する規制（発起人の報酬）
	27	変態設立事項に関する規制（設立費用）
	28	設立無効の意義
	29	設立無効原因
	30	設立無効の訴えの制度
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式を中心とした基礎的な概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式に関する考え方を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	株式の意義等
	2	株主の権利・義務
	3	株主平等原則
	4	株式の譲渡
	5	自己株式の取得・処分等の制限
	6	子会社による親会社株式の取得
	7	株券
	8	株主名簿
	9	株式担保
	10	株式振替制度
	11	株式併合・株式分割・株式無償割当て・株式の消却
	12	端数の処理
	13	単元株制度
	14	株主等売渡請求の概要
	15	株主等売渡請求の手続き
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	企業法入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	会社法の全体像を俯瞰し、株式会社の機関設計や資金調達を中心とした基礎的な概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	会社法の基礎概念を理解し、株式会社の機関設計や資金調達に関する考え方をを習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	総説ー株式会社の機関設計
	2	公開会社の機関構造の特色
	3	株主総会
	4	取締役
	5	善管注意義務と忠実義務
	6	競業避止義務
	7	利益相反取引
	8	取締役の責任
	9	取締役の第三者に対する責任
	10	取締役会の意義・設置
	11	取締役会の権限
	12	代表取締役
	13	監査役
	14	監査役会
	15	会計参与
	16	会計監査人
	17	指名委員会等設置会社
	18	監査等委員会設置会社
	19	募集株式の発行等
	20	募集事項の決定
	21	募集事項の決定
	22	出資の履行等
	23	募集株式の発行等の効力発生等
	24	新株予約権
	25	社債の意義
	26	社債と株式の異同
	27	社債の発行
	28	社債の管理
	29	社債の譲渡
	30	利息の支払・償還
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論財表入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	財務会計の基礎概念を体系的に学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	会社法会計、金融商品取引法会計の始祖知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	会計の意義
	2	資本循環と財務諸表
	3	財務会計と管理会計
	4	会計責任説と利害調整機能
	5	意思決定有用性説と情報提供機能
	6	利益の性格と財務会計の機能
	7	会社法会計
	8	金融商品取引法会計
	9	単体開示の簡素化
	10	企業会計原則
	11	企業会計基準
	12	会計基準の国際的コンバージェンス
	13	指定国際会計基準および修正国際基準の取扱い
	14	米国基準の任意適用
	15	原則主義と細則主義
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論財表入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	概念フレームワーク及び資産評価の基礎概念を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	概念フレームワークの体系的な理解及び資産評価の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	会計基準を設定するアプローチ
	2	概念フレームワークの公表
	3	財務報告の目的
	4	会計情報の質的特性
	5	財務諸表の構成要素
	6	財務諸表における認識と測定
	7	実現主義
	8	発生主義
	9	費用収益対応の原則
	10	収支額基準
	11	実現可能性基準
	12	原価主義
	13	時価主義
	14	割引原価主義
	15	費用配分の原則
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	商品売買及び棚卸資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	商品売買及び棚卸資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	商品売買総論①
	2	商品売買総論②
	3	商品売買の記帳方法①
	4	商品売買の記帳方法②
	5	商品有高帳の記帳①
	6	商品有高帳の記帳②
	7	返品・値引・割戻の処理①
	8	返品・値引・割戻の処理②
	9	割引の処理①
	10	割引の処理②
	11	原価率等①
	12	原価率等②
	13	仕入諸掛り・販売諸掛りの処理①
	14	仕入諸掛り・販売諸掛りの処理②
	15	他勘定振替高①
	16	他勘定振替高②
	17	棚卸資産の範囲①
	18	棚卸資産の範囲②
	19	棚卸資産の期末評価①
	20	棚卸資産の期末評価②
	21	棚卸減耗損①
	22	棚卸減耗損②
	23	商品評価損①
	24	商品評価損②
	25	売価還元法①
	26	売価還元法②
	27	トレーディング目的で保有する棚卸資産①
	28	トレーディング目的で保有する棚卸資産②
	29	巻末総合問題演習①
	30	巻末総合問題演習②
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知識の習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	現金
	2	当座預金
	3	割引現在価値の概要
	4	現価係数
	5	年金現価係数
	6	売掛金・買掛金
	7	その他の債権・債務
	8	前払費用
	9	未払費用
	10	前受収益
	11	未収収益
	12	手形総論
	13	約束手形
	14	為替手形と偶発債務
	15	手形の裏書譲渡
	16	手形の割引
	17	不渡手形
	18	手形の更改
	19	営業外手形
	20	金融手形（手形借入金・手形貸付金）
	21	売上債権に含まれる金利部分の会計処理
	22	貸倒損失
	23	貸倒引当金の設定
	24	貸倒れの処理と貸倒引当金の取崩し
	25	貸倒れ処理済債権の回収
	26	手形の裏書譲渡・割引と貸倒引当金戻入
	27	相殺適状
	28	貸倒見積高の算定（一般債権）
	29	貸倒見積高の算定（貸倒懸念債権）
	30	貸倒見積高の算定（破産更生債権等）
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	基礎知識の定着度確認を目的とする演習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出すことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	基礎演習①
	2	基礎演習②
	3	基礎演習③
	4	個別基礎問題　（初級編）①
	5	個別基礎問題　（初級編）②
	6	個別基礎問題　（初級編）③
	7	個別基礎問題　（初級編）④
	8	個別基礎問題　（初級編）⑤
	9	個別基礎問題　（初級編）⑥
	10	個別基礎問題　（初級編）⑦
	11	個別基礎問題　（初級編）⑧
	12	個別基礎問題　（初級編）⑨
	13	個別基礎問題　（初級編）⑩
	14	個別基礎問題　（初級編）⑪
	15	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務会計論簿記入門Ⅳ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	有価証券及び有形固定資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	有価証券及び有形固定資産の初歩的な問題の解答を正確に導き出すことができる			
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）			
特記				
授業計画	1	有価証券総論	31	減価償却（級数法）
	2	株式に係る期中処理	32	減価償却（生産高比例法）
	3	公社債に係る期中処理	33	資本的支出と収益的支出
	4	有価証券の分類と評価	34	総合償却
	5	親会社株式	35	売却
	6	約定日基準	36	除却
	7	修正受渡日基準	37	下取り買替え
	8	デリバティブ取引の概要	38	圧縮記帳（直接減額方式）
	9	先物取引	39	臨時損失
	10	オプション取引	40	保険差益
	11	スワップ取引	41	特別目的会社を活用した不動産の流動化
	12	ヘッジ会計の概要	42	巻末総合問題演習①
	13	繰延ヘッジ	43	巻末総合問題演習②
	14	時価ヘッジ	44	巻末総合問題演習③
	15	債権譲渡	45	巻末総合問題演習④
	16	ローン・パーティシペーション		
	17	デット・アサンプション		
	18	デット・エクイティ・スワップ		
	19	ゴルフ会員権		
	20	有形固定資産総論		
	21	取得原価の決定（購入）		
	22	取得原価の決定（時価建設）		
	23	取得原価の決定（現物出資）		
	24	取得原価の決定（交換）		
	25	取得原価の決定（贈与）		
	26	減価償却の概要		
	27	減価償却（定額法）		
	28	減価償却（旧定率法）		
	29	減価償却（200％定率法）		
	30	減価償却（250％定額法）		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計論簿記入門演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	項目ごとの個別論点問題を正しく解くことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	計算基礎問題　（初級編）①
	2	計算基礎問題　（初級編）②
	3	計算基礎問題　（初級編）③
	4	計算基礎問題　（初級編）④
	5	計算基礎問題　（初級編）⑤
	6	計算基礎問題　（初級編）⑥
	7	計算基礎問題　（初級編）⑦
	8	計算基礎問題　（初級編）⑧
	9	計算基礎問題　（初級編）⑨
	10	計算基礎問題　（初級編）⑩
	11	計算基礎問題　（初級編）⑪
	12	計算基礎問題　（初級編）⑫
	13	計算基礎問題　（初級編）⑬
	14	計算基礎問題　（初級編）⑭
	15	計算基礎問題　（初級編）⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	短答式対策入門総合Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	模擬試験形式による効果測定	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める	
達成目標	短答式試験に合格するための知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	財務会計（計算）　択一式応用問題　（初級編）①
	2	財務会計（理論）　択一式応用問題　（初級編）①
	3	管理会計　択一式応用問題　（初級編）①
	4	企業法　択一式応用問題　（初級編）①
	5	監査論　択一式応用問題　（初級編）①
	6	財務会計（計算）　択一式応用問題　（初級編）②
	7	財務会計（理論）　択一式応用問題　（初級編）②
	8	管理会計　択一式応用問題　（初級編）②
	9	企業法　択一式応用問題　（初級編）②
	10	監査論　択一式応用問題　（初級編）②
	11	財務会計（計算）　択一式応用問題　（初級編）③
	12	財務会計（理論）　択一式応用問題　（初級編）③
	13	管理会計　択一式応用問題　（初級編）③
	14	企業法　択一式応用問題　（初級編）③
	15	監査論　択一式応用問題　（初級編）③
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	租税法入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	法人税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	法人税法の概要を捉え、基本的な計算方法を習得する	
教科書	オリジナルテキスト（デジタル）	
特記		
授業計画	1	法人税法総則・課税標準
	2	交際費等の損金不算入（概要・計算構造）
	3	減価償却（普通償却）
	4	租税公課及び納税充当金
	5	受取配当等の益金不算入
	6	繰延資産（概要）
	7	金銭債務に係る債務者の償還差益又は償還差損の益金又は損金算入
	8	有価証券
	9	所得税額控除（原則法）
	10	寄附金の損金不算入
	11	減価償却（特別償却・概要）
	12	特別償却準備金
	13	リース取引
	14	評価損益
	15	講義内演習・確認テスト
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	簿記の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）	31	退職給付会計Ⅰ④（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）	32	税金Ⅰ①（入門編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）	33	税金Ⅰ②（入門編）
	4	簿記の概要Ⅰ④（入門編）	34	社債Ⅰ①（入門編）
	5	現金預金Ⅰ①（入門編）	35	社債Ⅰ②（入門編）
	6	現金預金Ⅰ②（入門編）	36	社債Ⅰ③（入門編）
	7	現金預金Ⅰ③（入門編）	37	純資産会計Ⅰ①（入門編）
	8	債権債務Ⅰ①（入門編）	38	純資産会計Ⅰ②（入門編）
	9	債権債務Ⅰ②（入門編）	39	純資産会計Ⅰ③（入門編）
	10	商品売買Ⅰ①（入門編）	40	純資産会計Ⅰ④（入門編）
	11	商品売買Ⅰ②（入門編）	41	有価証券Ⅰ①（入門編）
	12	商品売買Ⅰ③（入門編）	42	有価証券Ⅰ②（入門編）
	13	給料等Ⅰ①（入門編）	43	有価証券Ⅰ③（入門編）
	14	給料等Ⅰ②（入門編）	44	有価証券Ⅰ④（入門編）
	15	固定資産Ⅰ①（入門編）	45	確認テスト
	16	固定資産Ⅰ②（入門編）		
	17	固定資産Ⅰ③（入門編）		
	18	固定資産Ⅰ④（入門編）		
	19	固定資産Ⅰ⑤（入門編）		
	20	ソフトウェアⅠ①（入門編）		
	21	ソフトウェアⅠ②（入門編）		
	22	債権債務Ⅰ①（入門編）		
	23	債権債務Ⅰ②（入門編）		
	24	債権債務Ⅰ③（入門編）		
	25	貸倒れⅠ①（入門編）		
	26	貸倒れⅠ②（入門編）		
	27	貸倒れⅠ③（入門編）		
	28	退職給付会計Ⅰ①（入門編）		
	29	退職給付会計Ⅰ②（入門編）		
	30	退職給付会計Ⅰ③（入門編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習応用Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①（入門編）	31	外貨建会計Ⅰ⑤（入門編）
	2	税効果会計Ⅰ②（入門編）	32	外貨建会計Ⅰ⑥（入門編）
	3	税効果会計Ⅰ③（入門編）	33	リース会計Ⅰ①（入門編）
	4	税効果会計Ⅰ④（入門編）	34	リース会計Ⅰ②（入門編）
	5	税効果会計Ⅰ⑤（入門編）	35	リース会計Ⅰ③（入門編）
	6	税効果会計Ⅰ⑥（入門編）	36	リース会計Ⅰ④（入門編）
	7	税効果会計Ⅰ⑦（入門編）	37	リース会計Ⅰ⑤（入門編）
	8	税効果会計Ⅰ⑧（入門編）	38	リース会計Ⅰ⑥（入門編）
	9	現在価値計算Ⅰ①（入門編）	39	試用販売Ⅰ①（入門編）
	10	現在価値計算Ⅰ②（入門編）	40	試用販売Ⅰ②（入門編）
	11	現在価値計算Ⅰ③（入門編）	41	試用販売Ⅰ③（入門編）
	12	保険金Ⅰ①（入門編）	42	試用販売Ⅰ④（入門編）
	13	保険金Ⅰ②（入門編）	43	試用販売Ⅰ⑤（入門編）
	14	保険金Ⅰ③（入門編）	44	試用販売Ⅰ⑥（入門編）
	15	新株予約権付社債Ⅰ①（入門編）	45	割賦販売Ⅰ①（入門編）
	16	新株予約権付社債Ⅰ②（入門編）	46	割賦販売Ⅰ②（入門編）
	17	新株予約権付社債Ⅰ③（入門編）	47	割賦販売Ⅰ③（入門編）
	18	新株予約権付社債Ⅰ④（入門編）	48	割賦販売Ⅰ④（入門編）
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤（入門編）	49	割賦販売Ⅰ⑤（入門編）
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥（入門編）	50	割賦販売Ⅰ⑥（入門編）
	21	減損会計Ⅰ①（入門編）	51	未着品販売Ⅰ①（入門編）
	22	減損会計Ⅰ②（入門編）	52	未着品販売Ⅰ②（入門編）
	23	減損会計Ⅰ③（入門編）	53	未着品販売Ⅰ③（入門編）
	24	減損会計Ⅰ④（入門編）	54	未着品販売Ⅰ④（入門編）
	25	資産除去債務Ⅰ①（入門編）	55	委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編）
	26	資産除去債務Ⅰ②（入門編）	56	委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編）
	27	外貨建会計Ⅰ①（入門編）	57	委託販売・受託販売Ⅰ③（入門編）
	28	外貨建会計Ⅰ②（入門編）	58	委託販売・受託販売Ⅰ④（入門編）
	29	外貨建会計Ⅰ③（入門編）	59	委託販売・受託販売Ⅰ⑤（入門編）
	30	外貨建会計Ⅰ④（入門編）	60	確認テスト
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	本支店会計Ⅰ①（入門編）	31	**商品売買Ⅱ②(入門編)**
	2	本支店会計Ⅰ②（入門編）	32	**固定資産Ⅱ①(入門編)**
	3	本支店会計Ⅰ③（入門編）	33	**固定資産Ⅱ②(入門編)**
	4	本支店会計Ⅰ④（入門編）	34	**退職給付会計Ⅱ①(入門編)**
	5	本支店会計Ⅰ⑤（入門編）	35	**退職給付会計Ⅱ②(入門編)**
	6	本支店会計Ⅰ⑥（入門編）	36	**試用販売Ⅱ①(入門編)**
	7	組織再編会計Ⅰ①（入門編）	37	**試用販売Ⅱ②(入門編)**
	8	組織再編会計Ⅰ②（入門編）	38	**割賦販売Ⅱ①(入門編)**
	9	組織再編会計Ⅰ③（入門編）	39	**割賦販売Ⅱ②(入門編)**
	10	組織再編会計Ⅰ④（入門編）	40	**本支店会計Ⅱ①(入門編)**
	11	建設業会計Ⅰ①（入門編）	41	**本支店会計Ⅱ②(入門編)**
	12	建設業会計Ⅰ②（入門編）	42	**組織再編会計Ⅱ①(入門編)**
	13	連結会計Ⅰ①（入門編）	43	**組織再編会計Ⅱ②(入門編)**
	14	連結会計Ⅰ②（入門編）	44	**連結会計Ⅱ①(入門編)**
	15	連結会計Ⅰ③（入門編）	45	**確認テスト**
	16	連結会計Ⅰ④（入門編）		
	17	製造業会計Ⅰ①（入門編）		
	18	製造業会計Ⅰ②（入門編）		
	19	製造業会計Ⅰ③（入門編）		
	20	製造業会計Ⅰ④（入門編）		
	21	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①（入門編）		
	22	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②（入門編）		
	23	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③（入門編）		
	24	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④（入門編）		
	25	繰延資産Ⅰ①（入門編）		
	26	繰延資産Ⅰ②（入門編）		
	27	圧縮記帳Ⅰ①（入門編）		
	28	圧縮記帳Ⅰ②（入門編）		
	29	ストック・オプションⅠ（入門編）		
	30	商品売買Ⅱ①（入門編）		
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習総合Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	項目別答練①（入門編）	31	過去問演習⑥（入門編）
	2	項目別答練②（入門編）	32	過去問演習⑦（入門編）
	3	項目別答練③（入門編）	33	過去問演習⑧（入門編）
	4	項目別答練④（入門編）	34	過去問演習⑨（入門編）
	5	項目別答練⑤（入門編）	35	過去問演習⑩（入門編）
	6	基礎答練①（入門編）	36	問題演習実践①（入門編）
	7	基礎答練②（入門編）	37	問題演習実践②（入門編）
	8	基礎答練③（入門編）	38	問題演習実践③（入門編）
	9	基礎答練④（入門編）	39	問題演習実践④（入門編）
	10	基礎答練⑤（入門編）	40	問題演習実践⑤（入門編）
	11	基礎答練⑥（入門編）	41	問題演習実践⑥（入門編）
	12	基礎答練⑦（入門編）	42	問題演習実践⑦（入門編）
	13	基礎答練⑧（入門編）	43	問題演習実践⑧（入門編）
	14	基礎答練⑨（入門編）	44	問題演習実践⑨（入門編）
	15	基礎答練⑩（入門編）	45	模擬試験
	16	応用答練①（入門編）		
	17	応用答練②（入門編）		
	18	応用答練③（入門編）		
	19	応用答練④（入門編）		
	20	応用答練⑤（入門編）		
	21	応用答練⑥（入門編）		
	22	応用答練⑦（入門編）		
	23	応用答練⑧（入門編）		
	24	応用答練⑨（入門編）		
	25	応用答練⑩（入門編）		
	26	過去問演習①（入門編）		
	27	過去問演習②（入門編）		
	28	過去問演習③（入門編）		
	29	過去問演習④（入門編）		
	30	過去問演習⑤（入門編）		
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）
	4	簿記の概要Ⅰ④（入門編）
	5	現金預金Ⅰ①（入門編）
	6	現金預金Ⅰ②（入門編）
	7	現金預金Ⅰ③（入門編）
	8	債権債務Ⅰ①（入門編）
	9	債権債務Ⅰ②（入門編）
	10	商品売買Ⅰ①（入門編）
	11	商品売買Ⅰ②（入門編）
	12	商品売買Ⅰ③（入門編）
	13	給料等Ⅰ①（入門編）
	14	給料等Ⅰ②（入門編）
	15	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	簿記論入門Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）		
履修年次	１年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択		
授業方法	講義		
単位数	3単位		
授業回数	45回		
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	オリジナルテキスト	31	社債Ⅰ①（入門編）
	2	固定資産Ⅰ②（入門編）	32	社債Ⅰ②（入門編）
	3	固定資産Ⅰ③（入門編）	33	社債Ⅰ③（入門編）
	4	固定資産Ⅰ④（入門編）	34	社債Ⅰ④（入門編）
	5	固定資産Ⅰ⑤（入門編）	35	社債Ⅰ⑤（入門編）
	6	固定資産Ⅰ⑥（入門編）	36	社債Ⅰ⑥（入門編）
	7	固定資産Ⅰ⑦（入門編）	37	純資産会計Ⅰ①（入門編）
	8	固定資産Ⅰ⑧（入門編）	38	純資産会計Ⅰ②（入門編）
	9	固定資産Ⅰ⑨（入門編）	39	純資産会計Ⅰ③（入門編）
	10	固定資産Ⅰ⑩（入門編）	40	純資産会計Ⅰ④（入門編）
	11	ソフトウェアⅠ①（入門編）	41	有価証券Ⅰ①（入門編）
	12	ソフトウェアⅠ②（入門編）	42	有価証券Ⅰ②（入門編）
	13	債権債務Ⅰ①（入門編）	43	有価証券Ⅰ③（入門編）
	14	債権債務Ⅰ②（入門編）	44	有価証券Ⅰ④（入門編）
	15	債権債務Ⅰ③（入門編）	45	確認テスト
	16	貸倒れⅠ①（入門編）		
	17	貸倒れⅠ②（入門編）		
	18	貸倒れⅠ③（入門編）		
	19	退職給付会計Ⅰ①（入門編）		
	20	退職給付会計Ⅰ②（入門編）		
	21	退職給付会計Ⅰ③（入門編）		
	22	退職給付会計Ⅰ④（入門編）		
	23	退職給付会計Ⅰ⑤（入門編）		
	24	退職給付会計Ⅰ⑥（入門編）		
	25	退職給付会計Ⅰ⑦（入門編）		
	26	退職給付会計Ⅰ⑧（入門編）		
	27	税金Ⅰ①（入門編）		
	28	税金Ⅰ②（入門編）		
	29	税金Ⅰ③（入門編）		
	30	税金Ⅰ④（入門編）		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①（入門編）	31	外貨建会計Ⅰ⑤（入門編）
	2	税効果会計Ⅰ②（入門編）	32	外貨建会計Ⅰ⑥（入門編）
	3	税効果会計Ⅰ③（入門編）	33	リース会計Ⅰ①（入門編）
	4	税効果会計Ⅰ④（入門編）	34	リース会計Ⅰ②（入門編）
	5	税効果会計Ⅰ⑤（入門編）	35	リース会計Ⅰ③（入門編）
	6	税効果会計Ⅰ⑥（入門編）	36	リース会計Ⅰ④（入門編）
	7	税効果会計Ⅰ⑦（入門編）	37	リース会計Ⅰ⑤（入門編）
	8	税効果会計Ⅰ⑧（入門編）	38	リース会計Ⅰ⑥（入門編）
	9	現在価値計算Ⅰ①（入門編）	39	試用販売Ⅰ①（入門編）
	10	現在価値計算Ⅰ②（入門編）	40	試用販売Ⅰ②（入門編）
	11	現在価値計算Ⅰ③（入門編）	41	試用販売Ⅰ③（入門編）
	12	保険金Ⅰ①（入門編）	42	試用販売Ⅰ④（入門編）
	13	保険金Ⅰ②（入門編）	43	試用販売Ⅰ⑤（入門編）
	14	保険金Ⅰ③（入門編）	44	試用販売Ⅰ⑥（入門編）
	15	新株予約権付社債Ⅰ①（入門編）	45	割賦販売Ⅰ①（入門編）
	16	新株予約権付社債Ⅰ②（入門編）	46	割賦販売Ⅰ②（入門編）
	17	新株予約権付社債Ⅰ③（入門編）	47	割賦販売Ⅰ③（入門編）
	18	新株予約権付社債Ⅰ④（入門編）	48	割賦販売Ⅰ④（入門編）
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤（入門編）	49	割賦販売Ⅰ⑤（入門編）
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥（入門編）	50	割賦販売Ⅰ⑥（入門編）
	21	減損会計Ⅰ①（入門編）	51	未着品販売Ⅰ①（入門編）
	22	減損会計Ⅰ②（入門編）	52	未着品販売Ⅰ②（入門編）
	23	減損会計Ⅰ③（入門編）	53	未着品販売Ⅰ③（入門編）
	24	減損会計Ⅰ④（入門編）	54	未着品販売Ⅰ④（入門編）
	25	資産除去債務Ⅰ①（入門編）	55	委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編）
	26	資産除去債務Ⅰ②（入門編）	56	委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編）
	27	外貨建会計Ⅰ①（入門編）	57	委託販売・受託販売Ⅰ③（入門編）
	28	外貨建会計Ⅰ②（入門編）	58	委託販売・受託販売Ⅰ④（入門編）
	29	外貨建会計Ⅰ③（入門編）	59	委託販売・受託販売Ⅰ⑤（入門編）
	30	外貨建会計Ⅰ④（入門編）	60	確認テスト
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①（入門編）	31	貸倒れⅠ①（入門編）
	2	簿記の概要Ⅰ②（入門編）	32	貸倒れⅠ②（入門編）
	3	簿記の概要Ⅰ③（入門編）	33	貸倒れⅠ③（入門編）
	4	簿記の概要Ⅰ④（入門編）	34	退職給付会計Ⅰ①（入門編）
	5	現金預金Ⅰ①（入門編）	35	退職給付会計Ⅰ②（入門編）
	6	現金預金Ⅰ②（入門編）	36	退職給付会計Ⅰ③（入門編）
	7	現金預金Ⅰ③（入門編）	37	退職給付会計Ⅰ④（入門編）
	8	債権債務Ⅰ①（入門編）	38	退職給付会計Ⅰ⑤（入門編）
	9	債権債務Ⅰ②（入門編）	39	退職給付会計Ⅰ⑥（入門編）
	10	商品売買Ⅰ①（入門編）	40	退職給付会計Ⅰ⑦（入門編）
	11	商品売買Ⅰ②（入門編）	41	退職給付会計Ⅰ⑧（入門編）
	12	商品売買Ⅰ③（入門編）	42	税金Ⅰ①（入門編）
	13	給料等Ⅰ①（入門編）	43	税金Ⅰ②（入門編）
	14	給料等Ⅰ②（入門編）	44	税金Ⅰ③（入門編）
	15	給料等Ⅰ③（入門編）	45	税金Ⅰ④（入門編）
	16	固定資産Ⅰ①（入門編）	46	社債Ⅰ①（入門編）
	17	固定資産Ⅰ②（入門編）	47	社債Ⅰ②（入門編）
	18	固定資産Ⅰ③（入門編）	48	社債Ⅰ③（入門編）
	19	固定資産Ⅰ④（入門編）	49	社債Ⅰ④（入門編）
	20	固定資産Ⅰ⑤（入門編）	50	社債Ⅰ⑤（入門編）
	21	固定資産Ⅰ⑥（入門編）	51	社債Ⅰ⑥（入門編）
	22	固定資産Ⅰ⑦（入門編）	52	純資産会計Ⅰ①（入門編）
	23	固定資産Ⅰ⑧（入門編）	53	純資産会計Ⅰ②（入門編）
	24	固定資産Ⅰ⑨（入門編）	54	純資産会計Ⅰ③（入門編）
	25	固定資産Ⅰ⑩（入門編）	55	純資産会計Ⅰ④（入門編）
	26	ソフトウェアⅠ①（入門編）	56	有価証券Ⅰ①（入門編）
	27	ソフトウェアⅠ②（入門編）	57	有価証券Ⅰ②（入門編）
	28	債権債務Ⅰ①（入門編）	58	有価証券Ⅰ③（入門編）
	29	債権債務Ⅰ②（入門編）	59	有価証券Ⅰ④（入門編）
	30	債権債務Ⅰ③（入門編）	60	確認テスト
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会計学の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門）
	2	個別注記表（入門）
	3	現金及び預金（入門）
	4	債権債務（入門）
	5	関係会社概念（入門）
	6	売上原価の算定（入門）
	7	貸倒れ（入門）
	8	給料等（入門）
	9	その他の引当金（入門）
	10	退職給付会計（入門）
	11	有形固定資産（入門）
	12	無形固定資産（入門）
	13	株主資本（入門）
	14	財務諸表論の基礎概念（入門）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	会計基準の入門概要を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	売買目的有価証券（入門）	31	ゴルフ会員権（入門）
	2	満期保有目的の債券（入門）	32	売価還元法（入門）
	3	子会社株式・関連会社株式（入門）	33	製造業会計（入門）
	4	その他有価証券（入門）	34	研究開発費（入門）
	5	ソフトウェア（入門）	35	新株予約権（入門）
	6	法人税等・追徴還付（入門）	36	キャッシュ・フロー計算書（入門）
	7	現在価値計算（入門）	37	損益計算書総論（入門）
	8	社債（入門）	38	貸借対照表総論（入門）
	9	利益剰余金（入門）	39	資産総論（入門）
	10	自己株式（入門）	40	棚卸資産に関する会計基準（入門）
	11	配当（入門）	41	連続意見書（入門）
	12	外形基準、租税公課（入門）	42	引当金（入門）
	13	源泉所得税、社会保険料（入門）	43	会計観（入門）
	14	税効果会計（入門）	44	金融商品（入門）
	15	税効果注記（入門）	45	確認テスト(理論)
	16	源泉所得税、社会保険料（入門）		
	17	株主資本等変動計算書（入門）		
	18	減損会計（入門）		
	19	配当を受けた株主の処理（入門）		
	20	圧縮記帳（入門）		
	21	外貨建取引（入門）		
	22	退職給付会計簡便法（入門）		
	23	繰延資産（入門）		
	24	為替予約（入門）		
	25	仕入・売上げの計上基準（入門）		
	26	消費税等（入門）		
	27	他勘定振替（入門）		
	28	外貨建有価証券（入門）		
	29	リース会計（入門）		
	30	証券投資信託（入門）		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	金融商品取引法の概要入門を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門）	31	純資産会計①（入門）
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門）	32	純資産会計②（入門）
	3	会計上の変更及び誤謬の訂正③（入門）	33	純資産会計③（入門）
	4	会計上の変更及び誤謬の訂正④（入門）	34	純資産会計④（入門）
	5	会計上の変更及び誤謬の訂正⑤（入門）	35	純資産会計⑤（入門）
	6	分配可能額①（入門）	36	企業結合会計①（入門）
	7	分配可能額②（入門）	37	企業結合会計②（入門）
	8	分配可能額③（入門）	38	企業結合会計③（入門）
	9	分配可能額④（入門）	39	企業結合会計④（入門）
	10	分配可能額⑤（入門）	40	企業結合会計⑤（入門）
	11	ストック・オプション①（入門）	41	事業分離会計①（入門）
	12	ストック・オプション②（入門）	42	事業分離会計②（入門）
	13	ストック・オプション③（入門）	43	事業分離会計③（入門）
	14	ストック・オプション④（入門）	44	事業分離会計④（入門）
	15	ストック・オプション⑤（入門）	45	事業分離会計⑤（入門）
	16	セール＆リースバック①（入門）	46	四半期財務諸表①（入門）
	17	セール＆リースバック②（入門）	47	四半期財務諸表②（入門）
	18	セール＆リースバック③（入門）	48	四半期財務諸表③（入門）
	19	セール＆リースバック④（入門）	49	四半期財務諸表④（入門）
	20	セール＆リースバック⑤（入門）	50	四半期財務諸表⑤（入門）
	21	財務諸表等規則①（入門）	51	ヘッジ会計①（入門）
	22	財務諸表等規則②（入門）	52	ヘッジ会計②（入門）
	23	財務諸表等規則③（入門）	53	ヘッジ会計③（入門）
	24	財務諸表等規則④（入門）	54	ヘッジ会計④（入門）
	25	財務諸表等規則⑤（入門）	55	ヘッジ会計⑤（入門）
	26	負債①（入門）	56	包括利益①（入門）
	27	負債②（入門）	57	包括利益②（入門）
	28	負債③（入門）	58	包括利益③（入門）
	29	負債④（入門）	59	包括利益④（入門）
	30	負債⑤（入門）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	会計学の入門・基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ガイダンス・財務諸表の基礎（入門・基礎）	31	株主資本等変動計算書（入門・基礎）
	2	個別注記表（入門・基礎）	32	減損会計（入門・基礎）
	3	現金及び預金（入門・基礎）	33	配当を受けた株主の処理（入門・基礎）
	4	債権債務（入門・基礎）	34	圧縮記帳（入門・基礎）
	5	関係会社概念（入門・基礎）	35	外貨建取引（入門・基礎）
	6	売上原価の算定（入門・基礎）	36	退職給付会計簡便法（入門・基礎）
	7	貸倒れ（入門・基礎）	37	繰延資産（入門・基礎）
	8	給料等（入門・基礎）	38	為替予約（入門・基礎）
	9	その他の引当金（入門・基礎）	39	仕入・売上げの計上基準（入門・基礎）
	10	退職給付会計（入門・基礎）	40	消費税等（入門・基礎）
	11	有形固定資産（入門・基礎）	41	他勘定振替（入門・基礎）
	12	無形固定資産（入門・基礎）	42	外貨建有価証券（入門・基礎）
	13	株主資本（入門・基礎）	43	リース会計（入門・基礎）
	14	財務諸表論の基礎概念（入門・基礎）	44	証券投資信託（入門・基礎）
	15	売買目的有価証券（入門・基礎）	45	ゴルフ会員権（入門・基礎）
	16	満期保有目的の債券（入門・基礎）	46	売価還元法（入門・基礎）
	17	子会社株式・関連会社株式（入門・基礎）	47	製造業会計（入門・基礎）
	18	その他有価証券（入門・基礎）	48	研究開発費（入門・基礎）
	19	ソフトウェア（入門・基礎）	49	新株予約権（入門・基礎）
	20	法人税等・追徴還付（入門・基礎）	50	キャッシュ・フロー計算書（入門・基礎）
	21	現在価値計算（入門・基礎）	51	損益計算書総論（入門・基礎）
	22	社債（入門・基礎）	52	貸借対照表総論（入門・基礎）
	23	利益剰余金（入門・基礎）	53	資産総論（入門・基礎）
	24	自己株式（入門・基礎）	54	棚卸資産に関する会計基準（入門・基礎）
	25	配当（入門・基礎）	55	連続意見書（入門・基礎）
	26	外形基準、租税公課（入門・基礎）	56	引当金（入門・基礎）
	27	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	57	会計観（入門・基礎）
	28	税効果会計（入門・基礎）	58	金融商品（入門・基礎）
	29	税効果注記（入門・基礎）	59	収益性の低下（入門・基礎）
	30	源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の考え方を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	課税の対象①（入門編）
	3	課税の対象②（入門編）
	4	課税の対象③（入門編）
	5	課税の対象④（入門編）
	6	非課税①（入門編）
	7	非課税②（入門編）
	8	非課税③（入門編）
	9	非課税④（入門編）
	10	輸出免税等①（入門編）
	11	輸出免税等②（入門編）
	12	輸出免税等③（入門編）
	13	輸出免税等④（入門編）
	14	資産の譲渡等の時期（入門編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の考え方を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	課税の対象①（入門編）
	3	課税の対象②（入門編）
	4	非課税①（入門編）
	5	非課税②（入門編）
	6	輸出免税等①（入門編）
	7	輸出免税等②（入門編）
	8	資産の譲渡等の時期（入門編）
	9	控除対象仕入税額①（入門編）
	10	控除対象仕入税額②（入門編）
	11	売上げに係る対価の返還等（入門編）
	12	貸倒れが生じた場合（入門編）
	13	課税仕入れの範囲①（入門編）
	14	課税仕入れの範囲②（入門編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	控除税額を中心とした考え方を学習する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	控除対象仕入税額①（入門編）	31	課税期間における課税売上高①（入門編）
	2	控除対象仕入税額②（入門編）	32	課税期間における課税売上高②（入門編）
	3	控除対象仕入税額③（入門編）	33	課税期間における課税売上高③（入門編）
	4	控除対象仕入税額④（入門編）	34	課税売上割合に準ずる割合①（入門編）
	5	控除対象仕入税額⑤（入門編）	35	課税売上割合に準ずる割合②（入門編）
	6	控除対象仕入税額⑥（入門編）	36	課税売上割合に準ずる割合③（入門編）
	7	売上げに係る対価の返還等①（入門編）	37	仕入れに係る対価の返還等①（入門編）
	8	売上げに係る対価の返還等②（入門編）	38	仕入れに係る対価の返還等②（入門編）
	9	売上げに係る対価の返還等③（入門編）	39	仕入れに係る対価の返還等③（入門編）
	10	貸倒れが生じた場合①（入門編）	40	納税義務の免除①（入門編）
	11	貸倒れが生じた場合②（入門編）	41	納税義務の免除②（入門編）
	12	貸倒れが生じた場合③（入門編）	42	納税義務の免除③（入門編）
	13	課税仕入れの範囲①（入門編）	43	納税義務の免除④（入門編）
	14	課税仕入れの範囲②（入門編）	44	納税義務の免除⑤（入門編）
	15	課税仕入れの範囲③（入門編）	45	確認テスト(理論)
	16	課税仕入れの範囲④（入門編）		
	17	課税仕入れの範囲⑤（入門編）		
	18	課税仕入れの範囲⑥（入門編）		
	19	課税仕入れ等の時期①（入門編）		
	20	課税仕入れ等の時期②（入門編）		
	21	課税仕入れ等の時期③（入門編）		
	22	課税仕入れ等の時期④（入門編）		
	23	課税仕入れ等の時期⑤（入門編）		
	24	課税売上割合①（入門編）		
	25	課税売上割合②（入門編）		
	26	課税売上割合③（入門編）		
	27	課税売上割合④（入門編）		
	28	課税売上割合⑤（入門編）		
	29	課税売上割合⑥（入門編）		
	30	課税売上割合⑦（入門編）		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした考え方を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	課税仕入れ等の時期①（入門編）
	2	課税仕入れ等の時期②（入門編）
	3	課税売上割合①（入門編）
	4	課税売上割合②（入門編）
	5	課税期間における課税売上高①（入門編）
	6	課税期間における課税売上高②（入門編）
	7	課税売上割合に準ずる割合①（入門編）
	8	課税売上割合に準ずる割合②（入門編）
	9	仕入れに係る対価の返還等（入門編）
	10	納税義務の免除（入門編）
	11	国境を越えた役務の提供①（入門編）
	12	国境を越えた役務の提供②（入門編）
	13	国境を越えた役務の提供③（入門編）
	14	中間申告に係る納付税額の計算（入門編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	納税義務判定の特例や、仕入税額控除の特例などの考え方を学習する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	国境を越えた役務の提供①（入門編）	31	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）
	2	国境を越えた役務の提供②（入門編）	32	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）
	3	国境を越えた役務の提供③（入門編）	33	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算③（入門編）
	4	国境を越えた役務の提供④（入門編）	34	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算④（入門編）
	5	国境を越えた役務の提供⑤（入門編）	35	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）
	6	中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）	36	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）
	7	中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）	37	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編）
	8	課税仕入れ等の分類①（入門編）	38	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整④（入門編）
	9	課税仕入れ等の分類②（入門編）	39	課税標準①（入門編）
	10	課税仕入れ等の分類③（入門編）	40	課税標準②（入門編）
	11	課税仕入れ等の分類④（入門編）	41	課税標準③（入門編）
	12	課税仕入れ等の分類⑤（入門編）	42	課税標準④（入門編）
	13	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①（入門編）	43	課税標準⑤（入門編）
	14	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②（入門編）	44	課税標準⑥（入門編）
	15	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③（入門編）	45	簡易課税制度①（入門編）
	16	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）	46	簡易課税制度②（入門編）
	17	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）	47	簡易課税制度③（入門編）
	18	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編）	48	簡易課税制度④（入門編）
	19	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④（入門編）	49	簡易課税制度⑤（入門編）
	20	納税義務の免除の特例①（入門編）	50	簡易課税制度⑥（入門編）
	21	納税義務の免除の特例②（入門編）	51	簡易課税制度⑦（入門編）
	22	納税義務の免除の特例③（入門編）	52	簡易課税制度⑧（入門編）
	23	納税義務の免除の特例④（入門編）	53	簡易課税制度⑨（入門編）
	24	納税義務の免除の特例⑤（入門編）	54	簡易課税制度⑩（入門編）
	25	納税義務の免除の特例⑥（入門編）	55	簡易課税制度⑪（入門編）
	26	納税義務の免除の特例⑦（入門編）	56	簡易課税制度⑫（入門編）
	27	納税義務の免除の特例⑧（入門編）	57	簡易課税制度⑬（入門編）
	28	納税義務の免除の特例⑨（入門編）	58	簡易課税制度⑭（入門編）
	29	納税義務の免除の特例⑩（入門編）	59	簡易課税制度⑮（入門編）
	30	納税義務の免除の特例⑪（入門編）	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習応用Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例の考え方を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	課税仕入れ等の分類①（入門編）
	2	課税仕入れ等の分類②（入門編）
	3	課税仕入れ等の分類③（入門編）
	4	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例（入門編）
	5	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）
	6	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）
	7	納税義務の免除の特例①（入門編）
	8	納税義務の免除の特例②（入門編）
	9	納税義務の免除の特例③（入門編）
	10	納税義務の免除の特例④（入門編）
	11	納税義務の免除の特例⑤（入門編）
	12	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）
	13	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）
	14	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目②（入門編）
	15	課税標準①（入門編）
	16	課税標準②（入門編）
	17	簡易課税制度①（入門編）
	18	簡易課税制度②（入門編）
	19	簡易課税制度③（入門編）
	20	簡易課税制度④（入門編）
	21	軽減税率①（入門編）
	22	軽減税率②（入門編）
	23	旧税率に関する経過措置①（入門編）
	24	旧税率に関する経過措置②（入門編）
	25	複数税率の場合の計算①（入門編）
	26	複数税率の場合の計算②（入門編）
	27	国等に対する特例①（入門編）
	28	国等に対する特例②（入門編）
	29	特殊項目③（税抜経理方式）（入門編）
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続税法入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	相続税および贈与税の概要入門を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（入門）	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス
	2	相続税法の概要（入門）
	3	相続税法と民法（入門）
	4	相続人、代襲相続（入門）
	5	養子の子の取扱い（入門）
	6	相続の承認と放棄（入門）
	7	相続分（法定相続分、代襲相続分）（入門）
	8	遺言による財産の取得（入門）
	9	相続税の納税義務者（入門）
	10	生命保険金等（入門）
	11	相続税の非課税財産（入門）
	12	相続税額の計算方法（入門）
	13	生命保険金等の非課税金額（入門）
	14	退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（入門）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	相続税法入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	相続税、贈与税の入門的な問題の理解			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	贈与税の概要（入門）	31	貸宅地（入門）
	2	贈与税の納税義務者（入門）	32	貸家建付地（入門）
	3	弔慰金等（入門）	33	貸家建付借地権（入門）
	4	債務控除（入門）	34	貸家（入門）
	5	相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（入門）	35	一般動産（入門）
	6	相続時精算課税適用財産（入門）	36	たな卸商品等（入門）
	7	生前贈与加算相続税の総額（入門）	37	書画骨とう品（入門）
	8	算出相続税額の計算（入門）	38	預貯金（入門）
	9	相続税額の加算（入門）	39	上場株式（入門）
	10	贈与税額控除（暦年）（入門）	40	構築物（入門）
	11	配偶者の税額軽減（入門）	41	貸付金債権等（入門）
	12	未成年者控除（入門）	42	受取手形等（入門）
	13	障害者控除（入門）	43	間口が狭小な宅地等（入門）
	14	確認テスト①(理論)	44	角切り宅地の間口距離（入門）
	15	特定納税義務者（入門）	45	確認テスト②(理論)
	16	特定納税義務者の債務控除（入門）		
	17	特定納税義務者の障害者控除（入門）		
	18	贈与税額控除（精算）（入門）		
	19	自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（入門）		
	20	自用家屋（入門）		
	21	家屋と構造上一体となっている設備（入門）		
	22	特別養子制度（入門）		
	23	生命保険契約に関する権利（入門）		
	24	被保険者でない保険契約者が死亡した場合（入門）		
	25	法定相続人の数（入門）		
	26	本来の財産（入門）		
	27	自用地（路線に２以上の路線価が付されている宅地）（入門）		
	28	地区区分の異なる宅地（入門）		
	29	側方路線等に宅地の一部が接している場合（入門）		
	30	普通借地権（自用借地権）（入門）		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	相続税法基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	相続税、贈与税の入門的な知識を網羅し文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	使用貸借により借り受けた宅地等(基礎)	31	地積規模の大きな宅地(基礎)
	2	使用貸借により貸し付けられた宅地等(基礎)	32	がけ地等を有する宅地(基礎)
	3	使用貸借により貸し付けられた家屋(基礎)	33	旗竿状の宅地等(基礎)
	4	小規模宅地等の減額①(基礎)	34	容積率の異なる宅地(基礎)
	5	小規模宅地等の減額②(基礎)	35	都市計画道路予定地の区域内にある宅地(基礎)
	6	小規模宅地等の減額③(基礎)	36	確認テスト②(理論)
	7	小規模宅地等の減額④(基礎)	37	私道の用に供されている宅地(基礎)
	8	小規模宅地等の減額⑤(基礎)	38	セットバックを必要とする宅地(基礎)
	9	小規模宅地等の減額⑥(基礎)	39	上場株式（権利落）(基礎)
	10	確認テスト①(理論)	40	株式の割り当てを受ける権利(基礎)
	11	取引相場のない株式①(基礎)	41	宅地等の評価単位(基礎)
	12	取引相場のない株式②(基礎)	42	純農地、中間農地、純山林、中間山林(基礎)
	13	取引相場のない株式③(基礎)	43	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林(基礎)
	14	取引相場のない株式④(基礎)	44	立木、立木の評価減(基礎)
	15	取引相場のない株式⑤(基礎)	45	配当期待権(基礎)
	16	取引相場のない株式⑥(基礎)	46	贈与税が課税される場合(基礎)
	17	取引相場のない株式⑦(基礎)	47	相続税が課税される場合(基礎)
	18	取引相場のない株式⑧(基礎)	48	負担付遺贈・贈与(基礎)
	19	取引相場のない株式⑨(基礎)	49	贈与税の非課税財産(基礎)
	20	取引相場のない株式⑩(基礎)	50	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税(基礎)
	21	取引相場のない株式⑪(基礎)	51	契約者貸付金等がある場合の保険金(基礎)
	22	取引相場のない株式⑫(基礎)	52	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例(基礎)
	23	取引相場のない株式⑬(基礎)	53	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税(基礎)
	24	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等(基礎)	54	証券投資信託受益証券(基礎)
	25	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地(基礎)	55	ゴルフ会員権(基礎)
	26	相当の地代を支払っている場合の借地権(基礎)	56	不動産投資信託証券(基礎)
	27	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地(基礎)	57	措法７０の非課税(基礎)
	28	利用区分が異なる建物(基礎)	58	権利義務の承継(基礎)
	29	建築中の家屋(基礎)	59	贈与税の配偶者控除(基礎)
	30	不整形地(基礎)	60	確認テスト③(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法入門Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	法人税法の計算体系の理解を目的とする。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	基本的な部分の学習を行い、初級問題の解法を習得する。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス（初級）
	2	納税義務者（初級）
	3	課税所得の範囲（初級）
	4	交際費等の損金不算入Ⅰ（初級）
	5	減価償却Ⅰ（初級）
	6	減価償却Ⅱ（初級）
	7	減価償却Ⅲ（初級）
	8	受取配当等の益金不算入Ⅰ（初級）
	9	寄附金の損金不算入Ⅰ（初級）
	10	租税公課等（初級）
	11	納税充当金Ⅰ（初級）
	12	納税充当金Ⅱ（初級）
	13	別表四の作成（初級）
	14	事業年度（初級）
	15	確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法入門Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	貸倒引当金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ。			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。			
教科書	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。			
特記				
授業計画	1	貸倒損失Ⅰ（基礎）	31	国庫補助金等Ⅲ（基礎）
	2	貸倒損失Ⅱ（基礎）	32	国庫補助金等Ⅳ（基礎）
	3	貸倒損失Ⅲ（基礎）	33	別表五㈠の作成Ⅰ（基礎）
	4	貸倒損失Ⅳ（基礎）	34	別表五㈠の作成Ⅱ（基礎）
	5	貸倒引当金Ⅰ（基礎）	35	別表五㈠の作成Ⅲ（基礎）
	6	貸倒引当金Ⅱ（基礎）	36	別表五㈠の作成Ⅳ（基礎）
	7	貸倒引当金Ⅲ（基礎）	37	圧縮記帳Ⅰ（基礎）
	8	貸倒引当金Ⅳ（基礎）	38	圧縮記帳Ⅱ（基礎）
	9	欠損金Ⅰ（基礎）	39	圧縮記帳Ⅲ（基礎）
	10	欠損金Ⅱ（基礎）	40	圧縮記帳Ⅳ（基礎）
	11	欠損金Ⅲ（基礎）	41	圧縮記帳Ⅴ（基礎）
	12	欠損金Ⅳ（基礎）	42	圧縮記帳Ⅵ（基礎）
	13	外貨建取引Ⅰ（基礎）	43	圧縮記帳Ⅶ（基礎）
	14	外貨建取引Ⅱ（基礎）	44	圧縮記帳Ⅷ（基礎）
	15	外貨建取引Ⅲ（基礎）	45	確認テスト（理論）
	16	外貨建取引Ⅳ（基礎）		
	17	有価証券Ⅰ（基礎）		
	18	有価証券Ⅱ（基礎）		
	19	有価証券Ⅲ（基礎）		
	20	有価証券Ⅳ（基礎）		
	21	収用等Ⅰ（基礎）		
	22	収用等Ⅱ（基礎）		
	23	収用等Ⅲ（基礎）		
	24	収用等Ⅳ（基礎）		
	25	所得税額控除Ⅰ（基礎）		
	26	所得税額控除Ⅱ（基礎）		
	27	所得税額控除Ⅲ（基礎）		
	28	所得税額控除Ⅳ（基礎）		
	29	国庫補助金等Ⅰ（基礎）		
	30	国庫補助金等Ⅱ（基礎）		
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法基礎Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	役員判定、役員給与を中心とした法人税法の体系を学ぶ。			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	各項目の入門部分を学び、各体系の解法を習得する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	役員判定Ⅰ（入門）	31	保険料Ⅰ（入門）
	2	役員判定Ⅱ（入門）	32	保険料Ⅱ（入門）
	3	役員給与Ⅰ（入門）	33	設立事業年度Ⅰ（入門）
	4	役員給与Ⅱ（入門）	34	設立事業年度Ⅱ（入門）
	5	使用人給与Ⅰ（入門）	35	組織再編税制Ⅰ（入門）
	6	使用人給与Ⅱ（入門）	36	組織再編税制Ⅱ（入門）
	7	特定資産の買換えⅠ（入門）	37	工事の請負Ⅰ（入門）
	8	特定資産の買換えⅡ（入門）	38	工事の請負Ⅱ（入門）
	9	外国税額控除Ⅰ（入門）	39	修正申告Ⅰ（入門）
	10	外国税額控除Ⅱ（入門）	40	修正申告Ⅱ（入門）
	11	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ（入門）	41	税効果会計Ⅰ（入門）
	12	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ（入門）	42	税効果会計Ⅱ（入門）
	13	みなし配当金Ⅰ（入門）	43	賃上げ・投資促進税制Ⅰ（入門）
	14	みなし配当金Ⅱ（入門）	44	賃上げ・投資促進税制Ⅱ（入門）
	15	資本等取引Ⅰ（入門）	45	スピンオフ税制Ⅰ（入門）
	16	資本等取引Ⅱ（入門）	46	スピンオフ税制Ⅱ（入門）
	17	交換差益Ⅰ（入門）	47	特定同族会社の特別税率Ⅰ（入門）
	18	交換差益Ⅱ（入門）	48	特定同族会社の特別税率Ⅱ（入門）
	19	別表五㈡Ⅰ（入門）	49	適用除外事業者Ⅰ（入門）
	20	別表五㈡Ⅱ（入門）	50	適用除外事業者Ⅱ（入門）
	21	リース取引Ⅰ（入門）	51	地方法人税Ⅰ（入門）
	22	リース取引Ⅱ（入門）	52	地方法人税Ⅱ（入門）
	23	繰延資産Ⅰ（入門）	53	外国子会社配当Ⅰ（入門）
	24	繰延資産Ⅱ（入門）	54	外国子会社配当Ⅱ（入門）
	25	確定決算型Ⅰ（入門）	55	借地権等Ⅰ（入門）
	26	確定決算型Ⅱ（入門）	56	借地権等Ⅱ（入門）
	27	グループ法人税制Ⅰ（入門）	57	償還差損益Ⅰ（入門）
	28	グループ法人税制Ⅱ（入門）	58	償還差損益Ⅱ（入門）
	29	資産の評価損益Ⅰ（入門）	59	未収還付税金Ⅰ（入門）
	30	資産の評価損益Ⅱ（入門）	60	確認テスト（理論）
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国税徴収法速習基礎Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	租税と私債権の競合における配当計算を中心とした税法理論を学ぶ。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、初級問題を読解できるようにする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	国税徴収法の目的（初級）
	2	納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（初級）
	3	強制換価手続（初級）
	4	担保の種類（初級）
	5	滞納処分の概要（初級）
	6	国税に優先する権利（初級）
	7	国税相互間の優先関係（初級）
	8	財産の調査（初級）
	9	最優先される被担保債権（初級）
	10	法定納期限等（期限内申告に係る国税）（初級）
	11	法定納期限等以前の抵当権及び質権（初級）
	12	不動産賃貸の先取特権等（初級）
	13	法定納期限等（期限後・修正、更正・決定等）（初級）
	14	譲受前にある担保権（初級）
	15	担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（初級）
	16	差押の制限等、解除（初級）
	17	差押の共通手続（初級）
	18	第三者からの差押換え（初級）
	19	差押換え（換価申立ての細部）（初級）
	20	相続人からの差押換え（初級）
	21	動産又は有価証券の差押え（初級）
	22	第三者が占有する動産等の差押手続（初級）
	23	引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（初級）
	24	国税徴収法第26条の計算（初級）
	25	債権の差押え（初級）
	26	不動産等の差押え（初級）
	27	第三債務者等がない無体財産権等の差押え（初級）
	28	第三債務者等がある無体財産権等の差押え（初級）
	29	国税徴収法第24条（譲渡担保）（初級）
	30	確認テスト（初級）
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	国税徴収法速習総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	交付要求、参加差押えの相違を中心とした国税徴収法の体系を学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める			
達成目標	的確な解法で基礎問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例（基礎）	31	総合理論対策１（基礎）
	2	交付要求及び督促時効（基礎）	32	総合理論対策２（基礎）
	3	参加差押え（基礎）	33	総合理論対策３（基礎）
	4	国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係（基礎）	34	総合理論対策４（基礎）
	5	換価配当（基礎）	35	総合理論対策５（基礎）
	6	担保のための仮登記（基礎）	36	総合理論対策６（基礎）
	7	物上代位権との調整（基礎）	37	総合理論対策７（基礎）
	8	納期限未到来の納税の猶予（基礎）	38	総合理論対策８（基礎）
	9	災害等による一般の納税の猶予（基礎）	39	総合理論対策９（基礎）
	10	換価の猶予（基礎）	40	総合問題演習１（基礎）
	11	確定手続が遅延した場合の納税の猶予（基礎）	41	総合問題演習１（基礎）
	12	納税の猶予の効果、取消、短縮（基礎）	42	総合問題演習２（基礎）
	13	納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税（基礎）	43	総合問題演習２（基礎）
	14	保証人に対する滞納処分（法定納期限等）（基礎）	44	総合問題演習３（基礎）
	15	国税の担保（基礎）	45	総合問題演習３（基礎）
	16	差押効力（果実・保険金）、滞納処分の引継（基礎）		
	17	保全措置（基礎）		
	18	滞納処分の停止（基礎）		
	19	納付委託・弁済委託（基礎）		
	20	第二次納税義務（通則）（基礎）		
	21	第二次納税義務（人的限度）（基礎）		
	22	第二次納税義務（物的限度）（基礎）		
	23	不服申立（基礎）		
	24	滞納処分費（基礎）		
	25	納付義務の承継（基礎）		
	26	質権及び抵当権の優先額の限度（基礎）		
	27	増額登記（基礎）		
	28	質権の証明と優先権行使の否認（基礎）		
	29	国税徴収法第26条準用（基礎）		
	30	差押禁止財産（給料等の差押禁止額の計算）（基礎）		
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国税徴収法基礎Ⅰ	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	納税義務の確定から滞納までの流れを中心的に学ぶ。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、入門問題を読解できるようにする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	国税徴収法の目的（入門）
	2	納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（入門）
	3	強制換価手続（入門）
	4	担保の種類（入門）
	5	滞納処分の概要（入門）
	6	国税に優先する権利（入門）
	7	国税相互間の優先関係（入門）
	8	財産の調査（入門）
	9	最優先される被担保債権（入門）
	10	法定納期限等（期限内申告に係る国税）（入門）
	11	法定納期限等以前の抵当権及び質権（入門）
	12	不動産賃貸の先取特権等（入門）
	13	法定納期限等（期限後・修正、更正・決定等）（入門）
	14	譲受前にある担保権（入門）
	15	担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（入門）
	16	差押の制限等、解除（入門）
	17	差押の共通手続（入門）
	18	第三者からの差押換え（入門）
	19	差押換え（換価申立ての細部）（入門）
	20	相続人からの差押換え（入門）
	21	動産又は有価証券の差押え（入門）
	22	第三者が占有する動産等の差押手続（入門）
	23	引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（入門）
	24	国税徴収法第26条の計算（入門）
	25	債権の差押え（入門）
	26	不動産等の差押え（入門）
	27	第三債務者等がない無体財産権等の差押え（入門）
	28	第三債務者等がある無体財産権等の差押え（入門）
	29	国税徴収法第24条（譲渡担保）（入門）
	30	確認テスト（入門）
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）
履修年次	２年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
単位数	4単位
授業回数	60回
授業概要	財務報告書類の作成方法・株式会社会計の応用的な理解を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の応用的な理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	簿記一巡の手続きと財務諸表①（応用編）	31	企業結合①（応用編）
	2	簿記一巡の手続きと財務諸表②（応用編）	32	企業結合②（応用編）
	3	現金預金①（応用編）	33	確認テスト（第1回）
	4	現金預金②（応用編）	34	税金①（応用編）
	5	債権・債務①（応用編）	35	税金②（応用編）
	6	債権・債務②（応用編）	36	税金③（応用編）
	7	棚卸資産①（応用編）	37	税金④（応用編）
	8	棚卸資産②（応用編）	38	税金⑤（応用編）
	9	有価証券①（応用編）	39	伝票と帳簿①（応用編）
	10	有価証券②（応用編）	40	伝票と帳簿②（応用編）
	11	有価証券③（応用編）	41	決算①（応用編）
	12	有価証券④（応用編）	42	決算②（応用編）
	13	固定資産①（応用編）	43	決算③（応用編）
	14	固定資産②（応用編）	44	決算④（応用編）
	15	固定資産③（応用編）	45	決算⑤（応用編）
	16	固定資産④（応用編）	46	決算⑥（応用編）
	17	固定資産⑤（応用編）	47	本支店会計①（応用編）
	18	固定資産⑥（応用編）	48	本支店会計②（応用編）
	19	固定資産⑦（応用編）	49	本支店会計③（応用編）
	20	固定資産⑧（応用編）	50	本支店会計④（応用編）
	21	債務保証①（応用編）	51	連結会計①（応用編）
	22	債務保証②（応用編）	52	連結会計②（応用編）
	23	引当金①（応用編）	53	連結会計③（応用編）
	24	引当金②（応用編）	54	連結会計④（応用編）
	25	収益と費用①（応用編）	55	連結会計⑤（応用編）
	26	収益と費用②（応用編）	56	連結会計⑥（応用編）
	27	為替換算会計①（応用編）	57	連結会計⑦（応用編）
	28	為替換算会計②（応用編）	58	連結会計⑧（応用編）
	29	株式会社の純資産①（応用編）	59	連結会計⑨（応用編）
	30	株式会社の純資産②（応用編）	60	確認テスト（第2回）

成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）
履修年次	２年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
単位数	4単位
授業回数	60回
授業概要	工企業を前提とする会計処理の応用の理解を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算等の基礎を踏襲し応用的に理解できることを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	工業簿記の応用①（応用編）	31	組別総合原価計算①（応用編）
	2	工業簿記の応用②（応用編）	32	組別総合原価計算②（応用編）
	3	個別原価計算における工業簿記の記帳体系①（応用編）	33	等級別総合原価計算①（応用編）
	4	個別原価計算における工業簿記の記帳体系②（応用編）	34	等級別総合原価計算②（応用編）
	5	材料費会計①（応用編）	35	減損および仕損①（応用編）
	6	材料費会計②（応用編）	36	減損および仕損②（応用編）
	7	労務費会計①（応用編）	37	標準原価計算①（応用編）
	8	労務費会計②（応用編）	38	標準原価計算②（応用編）
	9	経費会計①（応用編）	39	標準原価計算③（応用編）
	10	経費会計②（応用編）	40	標準原価計算④（応用編）
	11	製造間接費会計①（応用編）	41	標準原価計算⑤（応用編）
	12	製造間接費会計②（応用編）	42	標準原価計算⑥（応用編）
	13	製造間接費差異の原因別分①析（応用編）	43	CVP分析①（応用編）
	14	製造間接費差異の原因別分析②（応用編）	44	CVP分析②（応用編）
	15	単純個別原価計算①（応用編）	45	CVP分析③（応用編）
	16	単純個別原価計算②（応用編）	46	CVP分析④（応用編）
	17	工企業の財務諸表①（応用編）	47	直接原価計算①（応用編）
	18	工企業の財務諸表②（応用編）	48	直接原価計算②（応用編）
	19	確認テスト（第1回）	49	工業簿記総まとめ①（応用編）
	20	部門別計算①（応用編）	50	工業簿記総まとめ②（応用編）
	21	部門別計算②（応用編）	51	工業簿記総まとめ③（応用編）
	22	部門別計算③（応用編）	52	工業簿記総まとめ④（応用編）
	23	部門別計算④（応用編）	53	工業簿記総まとめ⑤（応用編）
	24	部門別計算⑤（応用編）	54	工業簿記総まとめ⑥（応用編）
	25	総合原価計算における工業簿記の記帳体系①（応用編）	55	工業簿記総まとめ⑦（応用編）
	26	総合原価計算における工業簿記の記帳体系②（応用編）	56	工業簿記総まとめ⑧（応用編）
	27	単純総合原価計算①（応用編）	57	工業簿記総まとめ⑨（応用編）
	28	単純総合原価計算②（応用編）	58	工業簿記総まとめ⑩（応用編）
	29	工程別総合原価計算①（応用編）	59	工業簿記総まとめ⑪（応用編）
	30	工程別総合原価計算②（応用編）	60	確認テスト（第2回）

成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	2級簿記総合Ⅳ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の演習を通じて学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	簿記2級の過去試験を踏まえ応用的な会計知識と計算技術の習得を目的とし、かつ、有価証券報告書を読み取ることができることを目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	商業簿記総まとめ①（過去問対策編）	31	総合問題対策⑤（商業簿記と工業簿記_過去問対策編）
	2	商業簿記総まとめ②（過去問対策編）	32	総合問題対策⑥（商業簿記と工業簿記_過去問対策編）
	3	商業簿記総まとめ③（過去問対策編）	33	総合問題対策⑦（商業簿記と工業簿記_過去問対策編）
	4	商業簿記総まとめ④（過去問対策編）	34	総合問題対策⑧（商業簿記と工業簿記_過去問対策編）
	5	商業簿記総まとめ⑤（過去問対策編）	35	総合問題対策⑨（商業簿記と工業簿記_過去問対策編）
	6	商業簿記総まとめ⑥（過去問対策編）	36	総合問題対策⑩（商業簿記と工業簿記_過去問対策編）
	7	商業簿記総まとめ⑦（過去問対策編）	37	総合問題対策⑪（商業簿記と工業簿記_過去問対策編）
	8	商業簿記総まとめ⑧（過去問対策編）	38	総合問題対策⑫（商業簿記と工業簿記_過去問対策編）
	9	商業簿記総まとめ⑨（過去問対策編）	39	総合問題対策⑬（商業簿記と工業簿記_過去問対策編）
	10	商業簿記総まとめ⑩（過去問対策編）	40	総合問題演習①（テスト形式_過去問対策編）
	11	商業簿記総まとめ⑪（過去問対策編）	41	総合問題演習①（テスト形式_過去問対策編）
	12	商業簿記総まとめ⑫（過去問対策編）	42	総合問題演習①（テスト形式_過去問対策編）
	13	商業簿記総まとめ⑬（過去問対策編）	43	総合問題演習②（テスト形式_過去問対策編）
	14	商業簿記総まとめ⑭（過去問対策編）	44	総合問題演習②（テスト形式_過去問対策編）
	15	商業簿記総まとめ⑮（過去問対策編）	45	総合問題演習②（テスト形式_過去問対策編）
	16	商業簿記総まとめ⑯（過去問対策編）	46	総合問題演習③（テスト形式_過去問対策編）
	17	工業簿記・原価計算総まとめ①（過去問対策編）	47	総合問題演習③（テスト形式_過去問対策編）
	18	工業簿記・原価計算総まとめ②（過去問対策編）	48	総合問題演習③（テスト形式_過去問対策編）
	19	工業簿記・原価計算総まとめ③（過去問対策編）	49	総合問題演習④（テスト形式_過去問対策編）
	20	工業簿記・原価計算総まとめ④（過去問対策編）	50	総合問題演習④（テスト形式_過去問対策編）
	21	工業簿記・原価計算総まとめ⑤（過去問対策編）	51	総合問題演習④（テスト形式_過去問対策編）
	22	工業簿記・原価計算総まとめ⑥（過去問対策編）	52	総合問題演習⑤（テスト形式_過去問対策編）
	23	工業簿記・原価計算総まとめ⑦（過去問対策編）	53	総合問題演習⑤（テスト形式_過去問対策編）
	24	工業簿記・原価計算総まとめ⑧（過去問対策編）	54	総合問題演習⑥（テスト形式_過去問対策編）
	25	工業簿記・原価計算総まとめ⑨（過去問対策編）	55	総合問題演習⑥（テスト形式_過去問対策編）
	26	工業簿記・原価計算総まとめ⑩（過去問対策編）	56	総合問題演習⑦（テスト形式_過去問対策編）
	27	総合問題対策①（商業簿記と工業簿記_過去問対策編）	57	総合問題演習⑦（テスト形式_過去問対策編）
	28	総合問題対策②（商業簿記と工業簿記_過去問対策編）	58	総合問題演習⑧（テスト形式_過去問対策編）
	29	総合問題対策③（商業簿記と工業簿記_過去問対策編）	59	総合問題演習⑧（テスト形式_過去問対策編）
	30	総合問題対策④（商業簿記と工業簿記_過去問対策編）	60	総合問題演習⑨（テスト形式_過去問対策編）
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経理実務Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）
履修年次	２年次
開講区分	通年
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	

授業計画				
	1	経理・総務の年間カリキュラム	21	個人住民税の徴収及び納付①
	2	小切手・手形の実務上のポイント	22	個人住民税の徴収及び納付②
	3	入出金伝票と現金出納帳	23	印紙税の基礎知識
	4	当座預金出納帳と手形記入帳	24	受取利息の会計処理
	5	交際費、福利厚生費及び会議費用の区分	25	消費税法の概要①
	6	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理①	26	消費税法の概要②
	7	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理②	27	消費税の会計処理
	8	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③	28	原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）①
	9	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④	29	原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）②
	10	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤	30	確認テスト
	11	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥		
	12	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務①		
	13	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務②		
	14	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務③		
	15	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）①		
	16	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）②		
	17	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）③		
	18	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）①		
	19	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）②		
	20	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）③		

成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	給与計算実務Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	所得税の基礎知識①
	2	所得税の基礎知識②
	3	所得税の基礎知識③
	4	年末調整のしかた①
	5	年末調整のしかた②
	6	年末調整のしかた③
	7	法定調書の流れ①
	8	法定調書の流れ②
	9	法定調書の流れ③
	10	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出①
	11	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出②
	12	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③
	13	労働保険の概要及び会計処理①
	14	労働保険の概要及び会計処理②
	15	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経理実務Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	経理実務で必要となる業務内容の概要を体系的に学び、帳票書類についての知識の基礎を習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	経理・総務の年間カリキュラム（基礎）
	2	小切手・手形の実務上のポイント（基礎）
	3	入出金伝票と現金出納帳（基礎）
	4	当座預金出納帳と手形記入帳（基礎）
	5	交際費、福利厚生費及び会議費用の区分（基礎）
	6	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理（基礎）
	7	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務（基礎）
	8	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎①）
	9	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎②）
	10	個人住民税の徴収及び納付（基礎）
	11	印紙税の基礎知識（基礎）
	12	受取利息の会計処理（基礎）
	13	消費税法の概要（基礎）
	14	消費税の会計処理（基礎）
	15	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）
履修年次	２年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	本支店会計Ⅰ①(入門編)	21	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①(入門編)
	2	本支店会計Ⅰ②(入門編)	22	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②(入門編)
	3	本支店会計Ⅰ③(入門編)	23	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③(入門編)
	4	本支店会計Ⅰ④(入門編)	24	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④(入門編)
	5	本支店会計Ⅰ⑤(入門編)	25	繰延資産Ⅰ①(入門編)
	6	本支店会計Ⅰ⑥(入門編)	26	繰延資産Ⅰ②(入門編)
	7	組織再編会計Ⅰ①(入門編)	27	圧縮記帳Ⅰ①(入門編)
	8	組織再編会計Ⅰ②(入門編)	28	圧縮記帳Ⅰ②(入門編)
	9	組織再編会計Ⅰ③(入門編)	29	ストック・オプションⅠ(入門編)
	10	組織再編会計Ⅰ④(入門編)	30	確認テスト
	11	建設業会計Ⅰ①(入門編)		
	12	建設業会計Ⅰ②(入門編)		
	13	連結会計Ⅰ①(入門編)		
	14	連結会計Ⅰ②(入門編)		
	15	連結会計Ⅰ③(入門編)		
	16	連結会計Ⅰ④(入門編)		
	17	製造業会計Ⅰ①(入門編)		
	18	製造業会計Ⅰ②(入門編)		
	19	製造業会計Ⅰ③(入門編)		
	20	製造業会計Ⅰ④(入門編)		

成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	6単位			
授業回数	90回			
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	現金預金Ⅱ①(入門編)	46	項目別答練②(入門編)
	2	債権債務Ⅱ①(入門編)	47	項目別答練③(入門編)
	3	商品売買Ⅱ①(入門編)	48	項目別答練④(入門編)
	4	商品売買Ⅱ②(入門編)	49	項目別答練⑤(入門編)
	5	商品売買Ⅱ③(入門編)	50	項目別答練⑥(入門編)
	6	固定資産Ⅱ①(入門編)	51	基礎答練①(入門編)
	7	固定資産Ⅱ②(入門編)	52	基礎答練②(入門編)
	8	固定資産Ⅱ③(入門編)	53	基礎答練③(入門編)
	9	退職給付会計Ⅱ①(入門編)	54	基礎答練④(入門編)
	10	退職給付会計Ⅱ②(入門編)	55	基礎答練⑤(入門編)
	11	退職給付会計Ⅱ③(入門編)	56	基礎答練⑥(入門編)
	12	債権債務Ⅱ①(入門編)	57	基礎答練⑦(入門編)
	13	債権債務Ⅱ②(入門編)	58	基礎答練⑧(入門編)
	14	税金Ⅱ①(入門編)	59	基礎答練⑨(入門編)
	15	社債Ⅱ①(入門編)	60	基礎答練⑩(入門編)
	16	社債Ⅱ②(入門編)	61	応用答練①(入門編)
	17	社債Ⅱ③(入門編)	62	応用答練②(入門編)
	18	純資産会計Ⅱ①(入門編)	63	応用答練③(入門編)
	19	純資産会計Ⅱ②(入門編)	64	応用答練④(入門編)
	20	純資産会計Ⅱ③(入門編)	65	応用答練⑤(入門編)
	21	有価証券Ⅱ①(入門編)	66	応用答練⑥(入門編)
	22	有価証券Ⅱ②(入門編)	67	応用答練⑦(入門編)
	23	有価証券Ⅱ③(入門編)	68	応用答練⑧(入門編)
	24	外貨建会計Ⅱ①(入門編)	69	応用答練⑨(入門編)
	25	外貨建会計Ⅱ②(入門編)	70	応用答練⑩(入門編)
	26	リース会計Ⅱ①(入門編)	71	過去問演習①(入門編)
	27	リース会計Ⅱ②(入門編)	72	過去問演習②(入門編)
	28	試用販売Ⅱ①(入門編)	73	過去問演習③(入門編)
	29	試用販売Ⅱ②(入門編)	74	過去問演習④(入門編)
	30	割賦販売Ⅱ①(入門編)	75	過去問演習⑤(入門編)
	31	割賦販売Ⅱ②(入門編)	76	過去問演習⑥(入門編)
	32	割賦販売Ⅱ③(入門編)	77	過去問演習⑦(入門編)
	33	未着品販売Ⅱ①(入門編)	78	過去問演習⑧(入門編)
	34	未着品販売Ⅱ②(入門編)	79	過去問演習⑨(入門編)
	35	委託販売・受託販売Ⅱ①(入門編)	80	過去問演習⑩(入門編)
	36	委託販売・受託販売Ⅱ②(入門編)	81	問題演習実践①(入門編)
	37	本支店会計Ⅱ①(入門編)	82	問題演習実践②(入門編)
	38	本支店会計Ⅱ②(入門編)	83	問題演習実践③(入門編)
	39	組織再編会計Ⅱ①(入門編)	84	問題演習実践④(入門編)
	40	組織再編会計Ⅱ②(入門編)	85	問題演習実践⑤(入門編)
	41	連結会計Ⅱ①(入門編)	86	問題演習実践⑥(入門編)
	42	連結会計Ⅱ②(入門編)	87	問題演習実践⑦(入門編)
	43	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ①(入門編)	88	問題演習実践⑧(入門編)
	44	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ②(入門編)	89	問題演習実践⑨(入門編)
	45	項目別答練①(入門編)	90	模擬試験
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記論応用Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）
履修年次	２年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	税効果会計Ⅰ①(入門編)	21	試用販売Ⅰ③(入門編)
	2	税効果会計Ⅰ②(入門編)	22	割賦販売Ⅰ①(入門編)
	3	税効果会計Ⅰ③(入門編)	23	割賦販売Ⅰ②(入門編)
	4	現在価値計算Ⅰ①(入門編)	24	割賦販売Ⅰ③(入門編)
	5	現在価値計算Ⅰ②(入門編)	25	未着品販売Ⅰ①(入門編)
	6	保険金Ⅰ①(入門編)	26	未着品販売Ⅰ②(入門編)
	7	保険金Ⅰ②(入門編)	27	未着品販売Ⅰ③(入門編)
	8	新株予約権付社債Ⅰ①(入門編)	28	委託販売･受託販売Ⅰ①(入門編)
	9	新株予約権付社債Ⅰ②(入門編)	29	委託販売･受託販売Ⅰ②(入門編)
	10	減損会計Ⅰ①(入門編)	30	確認テスト
	11	減損会計Ⅰ②(入門編)		
	12	資産除去債務Ⅰ①(入門編)		
	13	資産除去債務Ⅰ②(入門編)		
	14	外貨建会計Ⅰ①(入門編)		
	15	外貨建会計Ⅰ②(入門編)		
	16	外貨建会計Ⅰ③(入門編)		
	17	リース会計Ⅰ①(入門編)		
	18	リース会計Ⅰ②(入門編)		
	19	試用販売Ⅰ①(入門編)		
	20	試用販売Ⅰ②(入門編)		

成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論総合Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	6単位			
授業回数	90回			
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	本支店会計Ⅰ①(入門編)	46	純資産会計Ⅱ②(入門編)
	2	本支店会計Ⅰ②(入門編)	47	有価証券Ⅱ①(入門編)
	3	本支店会計Ⅰ③(入門編)	48	有価証券Ⅱ②(入門編)
	4	本支店会計Ⅰ④(入門編)	49	外貨建会計Ⅱ①(入門編)
	5	本支店会計Ⅰ⑤(入門編)	50	外貨建会計Ⅱ②(入門編)
	6	本支店会計Ⅰ⑥(入門編)	51	リース会計Ⅱ①(入門編)
	7	組織再編会計Ⅰ①(入門編)	52	リース会計Ⅱ②(入門編)
	8	組織再編会計Ⅰ②(入門編)	53	試用販売Ⅱ①(入門編)
	9	組織再編会計Ⅰ③(入門編)	54	試用販売Ⅱ②(入門編)
	10	組織再編会計Ⅰ④(入門編)	55	割賦販売Ⅱ①(入門編)
	11	建設業会計Ⅰ①(入門編)	56	割賦販売Ⅱ②(入門編)
	12	建設業会計Ⅰ②(入門編)	57	未着品販売Ⅱ①(入門編)
	13	連結会計Ⅰ①(入門編)	58	未着品販売Ⅱ②(入門編)
	14	連結会計Ⅰ②(入門編)	59	委託販売・受託販売Ⅱ①(入門編)
	15	連結会計Ⅰ③(入門編)	60	委託販売・受託販売Ⅱ②(入門編)
	16	連結会計Ⅰ④(入門編)	61	本支店会計Ⅱ①(入門編)
	17	製造業会計Ⅰ①(入門編)	62	本支店会計Ⅱ②(入門編)
	18	製造業会計Ⅰ②(入門編)	63	組織再編会計Ⅱ①(入門編)
	19	製造業会計Ⅰ③(入門編)	64	組織再編会計Ⅱ②(入門編)
	20	製造業会計Ⅰ④(入門編)	65	連結会計Ⅱ①(入門編)
	21	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①(入門編)	66	連結会計Ⅱ②(入門編)
	22	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②(入門編)	67	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ①(入門編)
	23	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③(入門編)	68	キャッシュ・フロー計算書Ⅱ②(入門編)
	24	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④(入門編)	69	項目別答練①(入門編)
	25	繰延資産Ⅰ①(入門編)	70	項目別答練②(入門編)
	26	繰延資産Ⅰ②(入門編)	71	項目別答練③(入門編)
	27	圧縮記帳Ⅰ①(入門編)	72	項目別答練④(入門編)
	28	圧縮記帳Ⅰ②(入門編)	73	項目別答練⑤(入門編)
	29	ストック・オプションⅠ①(入門編)	74	項目別答練⑥(入門編)
	30	ストック・オプションⅠ②(入門編)	75	基礎答練①(入門編)
	31	現金預金Ⅱ①(入門編)	76	基礎答練②(入門編)
	32	債権債務Ⅱ①(入門編)	77	基礎答練③(入門編)
	33	商品売買Ⅱ①(入門編)	78	応用答練①(入門編)
	34	商品売買Ⅱ②(入門編)	79	応用答練②(入門編)
	35	商品売買Ⅱ③(入門編)	80	応用答練③(入門編)
	36	固定資産Ⅱ①(入門編)	81	過去問演習①(入門編)
	37	固定資産Ⅱ②(入門編)	82	過去問演習②(入門編)
	38	退職給付会計Ⅱ①(入門編)	83	過去問演習③(入門編)
	39	退職給付会計Ⅱ②(入門編)	84	過去問演習④(入門編)
	40	債権債務Ⅱ①(入門編)	85	過去問演習⑤(入門編)
	41	債権債務Ⅱ②(入門編)	86	問題演習実践①(入門編)
	42	税金Ⅱ①(入門編)	87	問題演習実践②(入門編)
	43	社債Ⅱ①(入門編)	88	問題演習実践③(入門編)
	44	社債Ⅱ②(入門編)	89	問題演習実践④(入門編)
	45	純資産会計Ⅱ①(入門編)	90	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	簿記の応用知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	テキスト及び参考書			
特記				
授業計画	1	簿記の概要Ⅰ①(応用編)	31	債権債務Ⅰ⑤(応用編)
	2	簿記の概要Ⅰ②(応用編)	32	債権債務Ⅰ⑥(応用編)
	3	簿記の概要Ⅰ③(応用編)	33	債権債務Ⅰ⑦(応用編)
	4	簿記の概要Ⅰ④(応用編)	34	債権債務Ⅰ⑧(応用編)
	5	現金預金Ⅰ①(応用編)	35	貸倒れⅠ①(応用編)
	6	現金預金Ⅰ②(応用編)	36	貸倒れⅠ②(応用編)
	7	現金預金Ⅰ③(応用編)	37	貸倒れⅠ③(応用編)
	8	現金預金Ⅰ④(応用編)	38	貸倒れⅠ④(応用編)
	9	債権債務Ⅰ①(応用編)	39	退職給付会計Ⅰ①(応用編)
	10	債権債務Ⅰ②(応用編)	40	退職給付会計Ⅰ②(応用編)
	11	債権債務Ⅰ③(応用編)	41	退職給付会計Ⅰ③(応用編)
	12	債権債務Ⅰ④(応用編)	42	退職給付会計Ⅰ④(応用編)
	13	商品売買Ⅰ①(応用編)	43	退職給付会計Ⅰ⑤(応用編)
	14	商品売買Ⅰ②(応用編)	44	税金Ⅰ①(応用編)
	15	商品売買Ⅰ③(応用編)	45	税金Ⅰ②(応用編)
	16	商品売買Ⅰ④(応用編)	46	税金Ⅰ③(応用編)
	17	商品売買Ⅰ⑤(応用編)	47	税金Ⅰ④(応用編)
	18	給料等Ⅰ①(応用編)	48	社債Ⅰ①(応用編)
	19	給料等Ⅰ②(応用編)	49	社債Ⅰ②(応用編)
	20	給料等Ⅰ③(応用編)	50	社債Ⅰ③(応用編)
	21	給料等Ⅰ④(応用編)	51	社債Ⅰ④(応用編)
	22	固定資産Ⅰ①(応用編)	52	純資産会計Ⅰ①(応用編)
	23	固定資産Ⅰ②(応用編)	53	純資産会計Ⅰ②(応用編)
	24	固定資産Ⅰ③(応用編)	54	純資産会計Ⅰ③(応用編)
	25	固定資産Ⅰ④(応用編)	55	純資産会計Ⅰ④(応用編)
	26	固定資産Ⅰ⑤(応用編)	56	有価証券Ⅰ①(応用編)
	27	ソフトウェアⅠ①(応用編)	57	有価証券Ⅰ②(応用編)
	28	ソフトウェアⅠ②(応用編)	58	有価証券Ⅰ③(応用編)
	29	ソフトウェアⅠ③(応用編)	59	有価証券Ⅰ④(応用編)
	30	ソフトウェアⅠ④(応用編)	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習応用Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の応用知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①(応用編)	31	外貨建会計Ⅰ⑤(応用編)
	2	税効果会計Ⅰ②(応用編)	32	外貨建会計Ⅰ⑥(応用編)
	3	税効果会計Ⅰ③(応用編)	33	リース会計Ⅰ①(応用編)
	4	税効果会計Ⅰ④(応用編)	34	リース会計Ⅰ②(応用編)
	5	税効果会計Ⅰ⑤(応用編)	35	リース会計Ⅰ③(応用編)
	6	税効果会計Ⅰ⑥(応用編)	36	リース会計Ⅰ④(応用編)
	7	税効果会計Ⅰ⑦(応用編)	37	リース会計Ⅰ⑤(応用編)
	8	税効果会計Ⅰ⑧(応用編)	38	リース会計Ⅰ⑥(応用編)
	9	現在価値計算Ⅰ①(応用編)	39	試用販売Ⅰ①(応用編)
	10	現在価値計算Ⅰ②(応用編)	40	試用販売Ⅰ②(応用編)
	11	現在価値計算Ⅰ③(応用編)	41	試用販売Ⅰ③(応用編)
	12	保険金Ⅰ①(応用編)	42	試用販売Ⅰ④(応用編)
	13	保険金Ⅰ②(応用編)	43	試用販売Ⅰ⑤(応用編)
	14	保険金Ⅰ③(応用編)	44	試用販売Ⅰ⑥(応用編)
	15	新株予約権付社債Ⅰ①(応用編)	45	割賦販売Ⅰ①(応用編)
	16	新株予約権付社債Ⅰ②(応用編)	46	割賦販売Ⅰ②(応用編)
	17	新株予約権付社債Ⅰ③(応用編)	47	割賦販売Ⅰ③(応用編)
	18	新株予約権付社債Ⅰ④(応用編)	48	割賦販売Ⅰ④(応用編)
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤(応用編)	49	割賦販売Ⅰ⑤(応用編)
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥(応用編)	50	割賦販売Ⅰ⑥(応用編)
	21	減損会計Ⅰ①(応用編)	51	未着品販売Ⅰ①(応用編)
	22	減損会計Ⅰ②(応用編)	52	未着品販売Ⅰ②(応用編)
	23	減損会計Ⅰ③(応用編)	53	未着品販売Ⅰ③(応用編)
	24	減損会計Ⅰ④(応用編)	54	未着品販売Ⅰ④(応用編)
	25	資産除去債務Ⅰ①(応用編)	55	委託販売･受託販売Ⅰ①(応用編)
	26	資産除去債務Ⅰ②(応用編)	56	委託販売･受託販売Ⅰ②(応用編)
	27	外貨建会計Ⅰ①(応用編)	57	委託販売･受託販売Ⅰ③(応用編)
	28	外貨建会計Ⅰ②(応用編)	58	委託販売･受託販売Ⅰ④(応用編)
	29	外貨建会計Ⅰ③(応用編)	59	委託販売･受託販売Ⅰ⑤(応用編)
	30	外貨建会計Ⅰ④(応用編)	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習総合Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	総合問題論点の応用知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	本支店会計Ⅰ①(応用編)	31	製造業会計Ⅰ④(応用編)
	2	本支店会計Ⅰ②(応用編)	32	製造業会計Ⅰ⑤(応用編)
	3	本支店会計Ⅰ③(応用編)	33	製造業会計Ⅰ⑥(応用編)
	4	本支店会計Ⅰ④(応用編)	34	製造業会計Ⅰ⑦(応用編)
	5	本支店会計Ⅰ⑤(応用編)	35	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①(応用編)
	6	本支店会計Ⅰ⑥(応用編)	36	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②(応用編)
	7	組織再編会計Ⅰ①(応用編)	37	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③(応用編)
	8	組織再編会計Ⅰ②(応用編)	38	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④(応用編)
	9	組織再編会計Ⅰ③(応用編)	39	キャッシュ・フロー計算書Ⅰ⑤(応用編)
	10	組織再編会計Ⅰ④(応用編)	40	繰延資産Ⅰ①(応用編)
	11	組織再編会計Ⅰ⑤(応用編)	41	繰延資産Ⅰ②(応用編)
	12	組織再編会計Ⅰ⑥(応用編)	42	圧縮記帳Ⅰ①(応用編)
	13	組織再編会計Ⅰ⑦(応用編)	43	圧縮記帳Ⅰ②(応用編)
	14	建設業会計Ⅰ①(応用編)	44	ストック・オプションⅠ(応用編)
	15	建設業会計Ⅰ②(応用編)	45	商品売買Ⅱ①(応用編)
	16	建設業会計Ⅰ③(応用編)	46	商品売買Ⅱ②(応用編)
	17	建設業会計Ⅰ④(応用編)	47	固定資産Ⅱ①(応用編)
	18	建設業会計Ⅰ⑤(応用編)	48	固定資産Ⅱ②(応用編)
	19	建設業会計Ⅰ⑥(応用編)	49	退職給付会計Ⅱ①(応用編)
	20	建設業会計Ⅰ⑦(応用編)	50	退職給付会計Ⅱ②(応用編)
	21	連結会計Ⅰ①(応用編)	51	試用販売Ⅱ①(応用編)
	22	連結会計Ⅰ②(応用編)	52	試用販売Ⅱ②(応用編)
	23	連結会計Ⅰ③(応用編)	53	割賦販売Ⅱ①(応用編)
	24	連結会計Ⅰ④(応用編)	54	割賦販売Ⅱ②(応用編)
	25	連結会計Ⅰ⑤(応用編)	55	本支店会計Ⅱ①(応用編)
	26	連結会計Ⅰ⑥(応用編)	56	本支店会計Ⅱ②(応用編)
	27	連結会計Ⅰ⑦(応用編)	57	組織再編会計Ⅱ①(応用編)
	28	製造業会計Ⅰ①(応用編)	58	組織再編会計Ⅱ②(応用編)
	29	製造業会計Ⅰ②(応用編)	59	連結会計Ⅱ①(応用編)
	30	製造業会計Ⅰ③(応用編)	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論速習総合Ⅳ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	合格に必要な得点ができるようにする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	項目別答練①（入門編）	31	応用答練⑩（入門編）
	2	項目別答練②（入門編）	32	応用答練⑪（入門編）
	3	項目別答練③（入門編）	33	応用答練⑫（入門編）
	4	項目別答練④（入門編）	34	応用答練⑬（入門編）
	5	項目別答練⑤（入門編）	35	過去問演習①（入門編）
	6	項目別答練⑥（入門編）	36	過去問演習②（入門編）
	7	項目別答練⑦（入門編）	37	過去問演習③（入門編）
	8	項目別答練⑧（入門編）	38	過去問演習④（入門編）
	9	基礎答練①（入門編）	39	過去問演習⑤（入門編）
	10	基礎答練②（入門編）	40	過去問演習⑥（入門編）
	11	基礎答練③（入門編）	41	過去問演習⑦（入門編）
	12	基礎答練④（入門編）	42	過去問演習⑧（入門編）
	13	基礎答練⑤（入門編）	43	過去問演習⑨（入門編）
	14	基礎答練⑥（入門編）	44	過去問演習⑩（入門編）
	15	基礎答練⑦（入門編）	45	過去問演習⑪（入門編）
	16	基礎答練⑧（入門編）	46	過去問演習⑫（入門編）
	17	基礎答練⑨（入門編）	47	過去問演習⑬（入門編）
	18	基礎答練⑩（入門編）	48	問題演習実践①（入門編）
	19	基礎答練⑪（入門編）	49	問題演習実践②（入門編）
	20	基礎答練⑫（入門編）	50	問題演習実践③（入門編）
	21	基礎答練⑬（入門編）	51	問題演習実践④（入門編）
	22	応用答練①（入門編）	52	問題演習実践⑤（入門編）
	23	応用答練②（入門編）	53	問題演習実践⑥（入門編）
	24	応用答練③（入門編）	54	問題演習実践⑦（入門編）
	25	応用答練④（入門編）	55	問題演習実践⑧（入門編）
	26	応用答練⑤（入門編）	56	問題演習実践⑨（入門編）
	27	応用答練⑥（入門編）	57	問題演習実践⑩（入門編）
	28	応用答練⑦（入門編）	58	問題演習実践⑪（入門編）
	29	応用答練⑧（入門編）	59	問題演習実践⑫（入門編）
	30	応用答練⑨（入門編）	60	模擬試験
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**簿記の概要Ⅰ①(基礎編)**
	2	**簿記の概要Ⅰ②(基礎編)**
	3	**簿記の概要Ⅰ③(基礎編)**
	4	**簿記の概要Ⅰ④(基礎編)**
	5	**現金預金Ⅰ①(基礎編)**
	6	**現金預金Ⅰ②(基礎編)**
	7	**現金預金Ⅰ③(基礎編)**
	8	**債権債務Ⅰ①(基礎編)**
	9	**債権債務Ⅰ②(基礎編)**
	10	**商品売買Ⅰ①(基礎編)**
	11	**商品売買Ⅰ②(基礎編)**
	12	**商品売買Ⅰ③(基礎編)**
	13	**給料等Ⅰ①(基礎編)**
	14	**給料等Ⅰ②(基礎編)**
	15	**確認テスト**
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	簿記論基礎Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	税効果会計Ⅰ①(基礎編)	31	外貨建会計Ⅰ⑤(基礎編)
	2	税効果会計Ⅰ②(基礎編)	32	外貨建会計Ⅰ⑥(基礎編)
	3	税効果会計Ⅰ③(基礎編)	33	リース会計Ⅰ①(基礎編)
	4	税効果会計Ⅰ④(基礎編)	34	リース会計Ⅰ②(基礎編)
	5	税効果会計Ⅰ⑤(基礎編)	35	リース会計Ⅰ③(基礎編)
	6	税効果会計Ⅰ⑥(基礎編)	36	リース会計Ⅰ④(基礎編)
	7	税効果会計Ⅰ⑦(基礎編)	37	リース会計Ⅰ⑤(基礎編)
	8	税効果会計Ⅰ⑧(基礎編)	38	リース会計Ⅰ⑥(基礎編)
	9	現在価値計算Ⅰ①(基礎編)	39	試用販売Ⅰ①(基礎編)
	10	現在価値計算Ⅰ②(基礎編)	40	試用販売Ⅰ②(基礎編)
	11	現在価値計算Ⅰ③(基礎編)	41	試用販売Ⅰ③(基礎編)
	12	保険金Ⅰ①(基礎編)	42	試用販売Ⅰ④(基礎編)
	13	保険金Ⅰ②(基礎編)	43	試用販売Ⅰ⑤(基礎編)
	14	保険金Ⅰ③(基礎編)	44	試用販売Ⅰ⑥(基礎編)
	15	新株予約権付社債Ⅰ①(基礎編)	45	割賦販売Ⅰ①(基礎編)
	16	新株予約権付社債Ⅰ②(基礎編)	46	割賦販売Ⅰ②(基礎編)
	17	新株予約権付社債Ⅰ③(基礎編)	47	割賦販売Ⅰ③(基礎編)
	18	新株予約権付社債Ⅰ④(基礎編)	48	割賦販売Ⅰ④(基礎編)
	19	新株予約権付社債Ⅰ⑤(基礎編)	49	割賦販売Ⅰ⑤(基礎編)
	20	新株予約権付社債Ⅰ⑥(基礎編)	50	割賦販売Ⅰ⑥(基礎編)
	21	減損会計Ⅰ①(基礎編)	51	未着品販売Ⅰ①(基礎編)
	22	減損会計Ⅰ②(基礎編)	52	未着品販売Ⅰ②(基礎編)
	23	減損会計Ⅰ③(基礎編)	53	未着品販売Ⅰ③(基礎編)
	24	減損会計Ⅰ④(基礎編)	54	未着品販売Ⅰ④(基礎編)
	25	資産除去債務Ⅰ①(基礎編)	55	委託販売･受託販売Ⅰ①(基礎編)
	26	資産除去債務Ⅰ②(基礎編)	56	委託販売･受託販売Ⅰ②(基礎編)
	27	外貨建会計Ⅰ①(基礎編)	57	委託販売･受託販売Ⅰ③(基礎編)
	28	外貨建会計Ⅰ②(基礎編)	58	委託販売･受託販売Ⅰ④(基礎編)
	29	外貨建会計Ⅰ③(基礎編)	59	委託販売･受託販売Ⅰ⑤(基礎編)
	30	外貨建会計Ⅰ④(基礎編)	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	簿記論基礎Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	固定資産Ⅰ①(基礎編)
	2	固定資産Ⅰ②(基礎編)
	3	固定資産Ⅰ③(基礎編)
	4	固定資産Ⅰ④(基礎編)
	5	ソフトウェアⅠ①(基礎編)
	6	ソフトウェアⅠ②(基礎編)
	7	ソフトウェアⅠ③(基礎編)
	8	債権債務Ⅰ①(基礎編)
	9	債権債務Ⅰ②(基礎編)
	10	貸倒れⅠ①(基礎編)
	11	貸倒れⅠ②(基礎編)
	12	退職給付会計Ⅰ①(基礎編)
	13	退職給付会計Ⅰ②(基礎編)
	14	退職給付会計Ⅰ③(基礎編)
	15	退職給付会計Ⅰ④(基礎編)
	16	税金Ⅰ①(基礎編)
	17	税金Ⅰ②(基礎編)
	18	社債Ⅰ①(基礎編)
	19	社債Ⅰ②(基礎編)
	20	社債Ⅰ③(基礎編)
	21	社債Ⅰ④(基礎編)
	22	純資産会計Ⅰ①(基礎編)
	23	純資産会計Ⅰ②(基礎編)
	24	純資産会計Ⅰ③(基礎編)
	25	純資産会計Ⅰ④(基礎編)
	26	有価証券Ⅰ①(基礎編)
	27	有価証券Ⅰ②(基礎編)
	28	有価証券Ⅰ③(基礎編)
	29	有価証券Ⅰ④(基礎編)
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務諸表論応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）
履修年次	２年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	会社法の概要入門を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	金利スワップ①（入門）	21	収益認識①（入門）
	2	金利スワップ②（入門）	22	収益認識②（入門）
	3	金利スワップ③（入門）	23	収益認識③（入門）
	4	金利スワップ④（入門）	24	収益認識④（入門）
	5	金利スワップ⑤（入門）	25	収益認識⑤（入門）
	6	資産及び負債の貸借対照表能力①（入門）	26	組織再①（入門）
	7	資産及び負債の貸借対照表能力②（入門）	27	組織再②（入門）
	8	資産及び負債の貸借対照表能力③（入門）	28	組織再③（入門）
	9	資産及び負債の貸借対照表能力④（入門）	29	組織再④（入門）
	10	資産及び負債の貸借対照表能力⑤（入門）	30	確認テスト(理論)
	11	投資のリスクからの解放①（入門）		
	12	投資のリスクからの解放②（入門）		
	13	投資のリスクからの解放③（入門）		
	14	投資のリスクからの解放④（入門）		
	15	投資のリスクからの解放⑤（入門）		
	16	配分と評価①（入門）		
	17	配分と評価②（入門）		
	18	配分と評価③（入門）		
	19	配分と評価④（入門）		
	20	配分と評価⑤（入門）		

成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	6単位			
授業回数	90回			
授業概要	財務諸表作成の入門概要を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	財務諸表論総まとめ①(入門)	46	総合問題対策③(入門)
	2	財務諸表論総まとめ①(入門)	47	総合問題対策④(入門)
	3	財務諸表論総まとめ②(入門)	48	総合問題対策④(入門)
	4	財務諸表論総まとめ②(入門)	49	総合問題対策⑤(入門)
	5	財務諸表論総まとめ③(入門)	50	総合問題対策⑤(入門)
	6	財務諸表論総まとめ③(入門)	51	総合問題対策⑥(入門)
	7	財務諸表論総まとめ④(入門)	52	総合問題対策⑥(入門)
	8	財務諸表論総まとめ④(入門)	53	総合問題対策⑦(入門)
	9	財務諸表論総まとめ⑤(入門)	54	総合問題対策⑦(入門)
	10	財務諸表論総まとめ⑤(入門)	55	総合問題対策⑧(入門)
	11	財務諸表論総まとめ⑥(入門)	56	総合問題対策⑧(入門)
	12	財務諸表論総まとめ⑥(入門)	57	総合問題対策⑨(入門)
	13	財務諸表論総まとめ⑦(入門)	58	総合問題対策⑨(入門)
	14	財務諸表論総まとめ⑦(入門)	59	総合問題対策⑩(入門)
	15	財務諸表論総まとめ⑧(入門)	60	総合問題対策⑩(入門)
	16	財務諸表論総まとめ⑧(入門)	61	総合問題対策⑪(入門)
	17	財務諸表論総まとめ⑨(入門)	62	総合問題対策⑪(入門)
	18	財務諸表論総まとめ⑨(入門)	63	総合問題対策⑫(入門)
	19	財務諸表論総まとめ⑩(入門)	64	総合問題対策⑫(入門)
	20	財務諸表論総まとめ⑩(入門)	65	総合問題対策⑬(入門)
	21	財務諸表論総まとめ⑪(入門)	66	総合問題対策⑬(入門)
	22	財務諸表論総まとめ⑪(入門)	67	総合問題対策⑭(入門)
	23	財務諸表論総まとめ⑫(入門)	68	総合問題対策⑭(入門)
	24	財務諸表論総まとめ⑫(入門)	69	総合問題対策⑮(入門)
	25	財務諸表論総まとめ⑬(入門)	70	総合問題対策⑮(入門)
	26	財務諸表論総まとめ⑬(入門)	71	総合問題対策⑯(入門)
	27	財務諸表論総まとめ⑭(入門)	72	総合問題対策⑯(入門)
	28	財務諸表論総まとめ⑭(入門)	73	総合問題対策⑰(入門)
	29	財務諸表論総まとめ⑮(入門)	74	総合問題対策⑰(入門)
	30	財務諸表論総まとめ⑮(入門)	75	総合問題対策⑱(入門)
	31	財務諸表論総まとめ⑯(入門)	76	総合問題対策⑱(入門)
	32	財務諸表論総まとめ⑯(入門)	77	総合問題対策⑲(入門)
	33	財務諸表論総まとめ⑰(入門)	78	総合問題対策⑲(入門)
	34	財務諸表論総まとめ⑰(入門)	79	総合問題対策⑳(入門)
	35	財務諸表論総まとめ⑱(入門)	80	総合問題対策⑳(入門)
	36	財務諸表論総まとめ⑱(入門)	81	総合問題対策㉑(入門)
	37	財務諸表論総まとめ⑲(入門)	82	総合問題対策㉑(入門)
	38	財務諸表論総まとめ⑲(入門)	83	総合問題対策㉒(入門)
	39	財務諸表論総まとめ⑳(入門)	84	総合問題対策㉒(入門)
	40	財務諸表論総まとめ⑳(入門)	85	総合問題対策㉓(入門)
	41	総合問題対策①(入門)	86	総合問題対策㉓(入門)
	42	総合問題対策①(入門)	87	総合問題対策㉔(入門)
	43	総合問題対策②(入門)	88	総合問題対策㉔(入門)
	44	総合問題対策②(入門)	89	模擬試験(計算)
	45	総合問題対策③(入門)	90	模擬試験(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論応用Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	2単位			
授業回数	30回			
授業概要	会社法の入門・基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門・基礎	21	事業分離会計②（入門・基礎）
	2	会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門・基礎	22	事業分離会計③（入門・基礎）
	3	分配可能額①（入門・基礎）	23	四半期財務諸表①（入門・基礎）
	4	分配可能額②（入門・基礎）	24	四半期財務諸表②（入門・基礎）
	5	ストック・オプション①（入門・基礎）	25	ヘッジ会計①（入門・基礎）
	6	ストック・オプション②（入門・基礎）	26	ヘッジ会計②（入門・基礎）
	7	セール＆リースバック①（入門・基礎）	27	包括利益①（入門・基礎）
	8	セール＆リースバック②（入門・基礎）	28	包括利益②（入門・基礎）
	9	財務諸表等規則①（入門・基礎）	29	包括利益③（入門・基礎）
	10	財務諸表等規則②（入門・基礎）	30	確認テスト(理論)
	11	負債①（入門・基礎）		
	12	負債②（入門・基礎）		
	13	負債③（入門・基礎）		
	14	純資産会計①（入門・基礎）		
	15	純資産会計②（入門・基礎）		
	16	純資産会計③（入門・基礎）		
	17	企業結合会計①（入門・基礎）		
	18	企業結合会計②（入門・基礎）		
	19	企業結合会計③（入門・基礎）		
	20	事業分離会計①（入門・基礎）		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論総合Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	6単位			
授業回数	90回			
授業概要	財務諸表作成の入門・基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	財務諸表論総まとめ①（入門・基礎）	46	総合問題対策③（入門・基礎）
	2	財務諸表論総まとめ①（入門・基礎）	47	総合問題対策④（入門・基礎）
	3	財務諸表論総まとめ②（入門・基礎）	48	総合問題対策④（入門・基礎）
	4	財務諸表論総まとめ②（入門・基礎）	49	総合問題対策⑤（入門・基礎）
	5	財務諸表論総まとめ③（入門・基礎）	50	総合問題対策⑤（入門・基礎）
	6	財務諸表論総まとめ③（入門・基礎）	51	総合問題対策⑥（入門・基礎）
	7	財務諸表論総まとめ④（入門・基礎）	52	総合問題対策⑥（入門・基礎）
	8	財務諸表論総まとめ④（入門・基礎）	53	総合問題対策⑦（入門・基礎）
	9	財務諸表論総まとめ⑤（入門・基礎）	54	総合問題対策⑦（入門・基礎）
	10	財務諸表論総まとめ⑤（入門・基礎）	55	総合問題対策⑧（入門・基礎）
	11	財務諸表論総まとめ⑥（入門・基礎）	56	総合問題対策⑧（入門・基礎）
	12	財務諸表論総まとめ⑥（入門・基礎）	57	総合問題対策⑨（入門・基礎）
	13	財務諸表論総まとめ⑦（入門・基礎）	58	総合問題対策⑨（入門・基礎）
	14	財務諸表論総まとめ⑦（入門・基礎）	59	総合問題対策⑩（入門・基礎）
	15	財務諸表論総まとめ⑧（入門・基礎）	60	総合問題対策⑩（入門・基礎）
	16	財務諸表論総まとめ⑧（入門・基礎）	61	総合問題対策⑪（入門・基礎）
	17	財務諸表論総まとめ⑨（入門・基礎）	62	総合問題対策⑪（入門・基礎）
	18	財務諸表論総まとめ⑨（入門・基礎）	63	総合問題対策⑫（入門・基礎）
	19	財務諸表論総まとめ⑩（入門・基礎）	64	総合問題対策⑫（入門・基礎）
	20	財務諸表論総まとめ⑩（入門・基礎）	65	総合問題対策⑬（入門・基礎）
	21	財務諸表論総まとめ⑪（入門・基礎）	66	総合問題対策⑬（入門・基礎）
	22	財務諸表論総まとめ⑪（入門・基礎）	67	総合問題対策⑭（入門・基礎）
	23	財務諸表論総まとめ⑫（入門・基礎）	68	総合問題対策⑭（入門・基礎）
	24	財務諸表論総まとめ⑫（入門・基礎）	69	総合問題対策⑮（入門・基礎）
	25	財務諸表論総まとめ⑬（入門・基礎）	70	総合問題対策⑮（入門・基礎）
	26	財務諸表論総まとめ⑬（入門・基礎）	71	総合問題対策⑯（入門・基礎）
	27	財務諸表論総まとめ⑭（入門・基礎）	72	総合問題対策⑯（入門・基礎）
	28	財務諸表論総まとめ⑭（入門・基礎）	73	総合問題対策⑰（入門・基礎）
	29	財務諸表論総まとめ⑮（入門・基礎）	74	総合問題対策⑰（入門・基礎）
	30	財務諸表論総まとめ⑮（入門・基礎）	75	総合問題対策⑱（入門・基礎）
	31	財務諸表論総まとめ⑯（入門・基礎）	76	総合問題対策⑱（入門・基礎）
	32	財務諸表論総まとめ⑯（入門・基礎）	77	総合問題対策⑲（入門・基礎）
	33	財務諸表論総まとめ⑰（入門・基礎）	78	総合問題対策⑲（入門・基礎）
	34	財務諸表論総まとめ⑰（入門・基礎）	79	総合問題対策⑳（入門・基礎）
	35	財務諸表論総まとめ⑱（入門・基礎）	80	総合問題対策⑳（入門・基礎）
	36	財務諸表論総まとめ⑱（入門・基礎）	81	総合問題対策㉑（入門・基礎）
	37	財務諸表論総まとめ⑲（入門・基礎）	82	総合問題対策㉑（入門・基礎）
	38	財務諸表論総まとめ⑲（入門・基礎）	83	総合問題対策㉒（入門・基礎）
	39	財務諸表論総まとめ⑳（入門・基礎）	84	総合問題対策㉒（入門・基礎）
	40	財務諸表論総まとめ⑳（入門・基礎）	85	総合問題対策㉓（入門・基礎）
	41	総合問題対策①（入門・基礎）	86	総合問題対策㉓（入門・基礎）
	42	総合問題対策①（入門・基礎）	87	総合問題対策㉔（入門・基礎）
	43	総合問題対策②（入門・基礎）	88	総合問題対策㉔（入門・基礎）
	44	総合問題対策②（入門・基礎）	89	模擬試験(計算)
	45	総合問題対策③（入門・基礎）	90	模擬試験(理論)
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	会計学の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**ガイダンス・財務諸表の基礎（基礎）**
	2	**個別注記表（基礎）**
	3	**現金及び預金（基礎）**
	4	**債権債務（基礎）**
	5	**関係会社概念（基礎）**
	6	**売上原価の算定（基礎）**
	7	**貸倒れ（基礎）**
	8	**給料等（基礎）**
	9	**その他の引当金（基礎）**
	10	**退職給付会計（基礎）**
	11	**有形固定資産（基礎）**
	12	**無形固定資産（基礎）**
	13	**株主資本（基礎）**
	14	**財務諸表論の基礎概念（基礎）**
	15	**確認テスト(理論)**
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務諸表論基礎Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	会計基準の基礎を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	売買目的有価証券(基礎)	31	ゴルフ会員権(基礎)
	2	満期保有目的の債券(基礎)	32	売価還元法(基礎)
	3	子会社株式・関連会社株式(基礎)	33	製造業会計(基礎)
	4	その他有価証券(基礎)	34	研究開発費(基礎)
	5	ソフトウェア(基礎)	35	新株予約権(基礎)
	6	法人税等・追徴還付(基礎)	36	キャッシュ・フロー計算書(基礎)
	7	現在価値計算(基礎)	37	損益計算書総論(基礎)
	8	社債(基礎)	38	貸借対照表総論(基礎)
	9	利益剰余金(基礎)	39	資産総論(基礎)
	10	自己株式(基礎)	40	棚卸資産に関する会計基準(基礎)
	11	配当(基礎)	41	連続意見書(基礎)
	12	外形基準、租税公課(基礎)	42	引当金(基礎)
	13	源泉所得税、社会保険料(基礎)	43	会計観(基礎)
	14	税効果会計(基礎)	44	金融商品(基礎)
	15	税効果注記(基礎)	45	純資産会計①(基礎)
	16	源泉所得税、社会保険料(基礎)	46	純資産会計②(基礎)
	17	株主資本等変動計算書(基礎)	47	純資産会計③(基礎)
	18	減損会計(基礎)	48	純資産会計④(基礎)
	19	配当を受けた株主の処理(基礎)	49	純資産会計⑤(基礎)
	20	圧縮記帳(基礎)	50	企業結合会計①(基礎)
	21	外貨建取引(基礎)	51	企業結合会計②(基礎)
	22	退職給付会計簡便法(基礎)	52	企業結合会計③(基礎)
	23	繰延資産(基礎)	53	企業結合会計④(基礎)
	24	為替予約(基礎)	54	企業結合会計⑤(基礎)
	25	仕入・売上げの計上基準(基礎)	55	事業分離会計①(基礎)
	26	消費税等(基礎)	56	事業分離会計②(基礎)
	27	他勘定振替(基礎)	57	事業分離会計③(基礎)
	28	外貨建有価証券(基礎)	58	事業分離会計④(基礎)
	29	リース会計(基礎)	59	事業分離会計⑤(基礎)
	30	証券投資信託(基礎)	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務諸表論基礎Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	金融商品取引法の基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**会計上の変更及び誤謬の訂正①(基礎)**
	2	**会計上の変更及び誤謬の訂正②(基礎)**
	3	**会計上の変更及び誤謬の訂正③(基礎)**
	4	**会計上の変更及び誤謬の訂正④(基礎)**
	5	**会計上の変更及び誤謬の訂正⑤(基礎)**
	6	**分配可能額①(基礎)**
	7	**分配可能額②(基礎)**
	8	**分配可能額③(基礎)**
	9	**分配可能額④(基礎)**
	10	**分配可能額⑤(基礎)**
	11	**ストック・オプション①(基礎)**
	12	**ストック・オプション②(基礎)**
	13	**ストック・オプション③(基礎)**
	14	**ストック・オプション④(基礎)**
	15	**ストック・オプション⑤(基礎)**
	16	**セール＆リースバック①(基礎)**
	17	**セール＆リースバック②(基礎)**
	18	**セール＆リースバック③(基礎)**
	19	**セール＆リースバック④(基礎)**
	20	**セール＆リースバック⑤(基礎)**
	21	**財務諸表等規則①(基礎)**
	22	**財務諸表等規則②(基礎)**
	23	**財務諸表等規則③(基礎)**
	24	**財務諸表等規則④(基礎)**
	25	**財務諸表等規則⑤(基礎)**
	26	**負債①(基礎)**
	27	**負債②(基礎)**
	28	**負債③(基礎)**
	29	**負債④(基礎)**
	30	**確認テスト(理論)**
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）
履修年次	２年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	軽減税率や複数税率などの考え方を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	軽減税率①(入門編)	21	国等に対する特例③(入門編)
	2	軽減税率②(入門編)	22	国等に対する特例④(入門編)
	3	軽減税率③(入門編)	23	国等に対する特例⑤(入門編)
	4	軽減税率④(入門編)	24	国等に対する特例⑥(入門編)
	5	軽減税率⑤(入門編)	25	国等に対する特例⑦(入門編)
	6	軽減税率⑥(入門編)	26	国等に対する特例⑧(入門編)
	7	旧税率に関する経過措置①(入門編)	27	特殊項目①(事業承継があった場合の控除税額の調整等)(入門編)
	8	旧税率に関する経過措置②(入門編)	28	特殊項目②(前期又は翌期が免税事業者である場合の留意点)(入門編)
	9	旧税率に関する経過措置③(入門編)	29	特殊項目③(税抜経理方式)(入門編)
	10	旧税率に関する経過措置④(入門編)	30	確認テスト(理論)
	11	旧税率に関する経過措置⑤(入門編)		
	12	旧税率に関する経過措置⑥(入門編)		
	13	複数税率の場合の計算①(入門編)		
	14	複数税率の場合の計算②(入門編)		
	15	複数税率の場合の計算③(入門編)		
	16	複数税率の場合の計算④(入門編)		
	17	複数税率の場合の計算⑤(入門編)		
	18	複数税率の場合の計算⑥(入門編)		
	19	国等に対する特例①(入門編)		
	20	国等に対する特例②(入門編)		

成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	6単位			
授業回数	90回			
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	個別問題対策①（初級編）	46	総合問題対策⑲（初級編）
	2	個別問題対策②（初級編）	47	総合問題対策⑳（初級編）
	3	個別問題対策③（初級編）	48	総合問題対策㉑（初級編）
	4	個別問題対策④（初級編）	49	総合問題対策㉒（初級編）
	5	個別問題対策⑤（初級編）	50	総合問題対策㉓（初級編）
	6	個別問題対策⑥（初級編）	51	総合問題対策㉔（初級編）
	7	個別問題対策⑦（初級編）	52	総合問題対策㉕（初級編）
	8	個別問題対策⑧（初級編）	53	総合問題対策㉖（初級編）
	9	個別問題対策⑨（初級編）	54	総合問題対策㉗（初級編）
	10	個別問題対策⑩（初級編）	55	総合問題対策㉘（初級編）
	11	個別問題対策⑪（初級編）	56	総合問題対策㉙（初級編）
	12	個別問題対策⑫（初級編）	57	総合問題対策㉚（初級編）
	13	個別問題対策⑬（初級編）	58	総合問題対策㉛（初級編）
	14	個別問題対策⑭（初級編）	59	総合問題対策㉜（初級編）
	15	理論問題対策①（初級編）	60	総合問題対策㉝（初級編）
	16	理論問題対策②（初級編）	61	総合問題対策㉞（初級編）
	17	理論問題対策③（初級編）	62	総合問題対策㉟（初級編）
	18	理論問題対策④（初級編）	63	総合問題対策㊱（初級編）
	19	理論問題対策⑤（初級編）	64	総合問題対策㊲（初級編）
	20	理論問題対策⑥（初級編）	65	総合問題対策㊳（初級編）
	21	理論問題対策⑦（初級編）	66	総合問題対策㊴（初級編）
	22	理論問題対策⑧（初級編）	67	総合問題対策㊵（初級編）
	23	理論問題対策⑨（初級編）	68	総合問題対策㊶（初級編）
	24	理論問題対策⑩（初級編）	69	総合問題対策㊷（初級編）
	25	理論問題対策⑪（初級編）	70	総合問題対策㊸（初級編）
	26	理論問題対策⑫（初級編）	71	総合問題演習①（初級編）
	27	理論問題対策⑬（初級編）	72	総合問題演習①（初級編）
	28	総合問題対策①（初級編）	73	総合問題演習②（初級編）
	29	総合問題対策②（初級編）	74	総合問題演習②（初級編）
	30	総合問題対策③（初級編）	75	総合問題演習③（初級編）
	31	総合問題対策④（初級編）	76	総合問題演習③（初級編）
	32	総合問題対策⑤（初級編）	77	総合問題演習④（初級編）
	33	総合問題対策⑥（初級編）	78	総合問題演習④（初級編）
	34	総合問題対策⑦（初級編）	79	総合問題演習⑤（初級編）
	35	総合問題対策⑧（初級編）	80	総合問題演習⑤（初級編）
	36	総合問題対策⑨（初級編）	81	総合問題演習⑥（初級編）
	37	総合問題対策⑩（初級編）	82	総合問題演習⑥（初級編）
	38	総合問題対策⑪（初級編）	83	総合問題演習⑦（初級編）
	39	総合問題対策⑫（初級編）	84	総合問題演習⑦（初級編）
	40	総合問題対策⑬（初級編）	85	総合問題演習⑧（初級編）
	41	総合問題対策⑭（初級編）	86	総合問題演習⑧（初級編）
	42	総合問題対策⑮（初級編）	87	総合問題演習⑨（初級編）
	43	総合問題対策⑯（初級編）	88	総合問題演習⑨（初級編）
	44	総合問題対策⑰（初級編）	89	総合問題演習⑩（初級編）
	45	総合問題対策⑱（初級編）	90	総合問題演習⑩（初級編）
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法速習総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総合問題対策①（初級編）	31	総合問題対策㉛（初級編）
	2	総合問題対策②（初級編）	32	総合問題対策㉜（初級編）
	3	総合問題対策③（初級編）	33	総合問題対策㉝（初級編）
	4	総合問題対策④（初級編）	34	総合問題対策㉞（初級編）
	5	総合問題対策⑤（初級編）	35	総合問題対策㉟（初級編）
	6	総合問題対策⑥（初級編）	36	総合問題演習①（初級編）
	7	総合問題対策⑦（初級編）	37	総合問題演習①（初級編）
	8	総合問題対策⑧（初級編）	38	総合問題演習②（初級編）
	9	総合問題対策⑨（初級編）	39	総合問題演習②（初級編）
	10	総合問題対策⑩（初級編）	40	総合問題演習③（初級編）
	11	総合問題対策⑪（初級編）	41	総合問題演習③（初級編）
	12	総合問題対策⑫（初級編）	42	総合問題演習④（初級編）
	13	総合問題対策⑬（初級編）	43	総合問題演習④（初級編）
	14	総合問題対策⑭（初級編）	44	総合問題演習⑤（初級編）
	15	総合問題対策⑮（初級編）	45	総合問題演習⑤（初級編）
	16	総合問題対策⑯（初級編）		
	17	総合問題対策⑰（初級編）		
	18	総合問題対策⑱（初級編）		
	19	総合問題対策⑲（初級編）		
	20	総合問題対策⑳（初級編）		
	21	総合問題対策㉑（初級編）		
	22	総合問題対策㉒（初級編）		
	23	総合問題対策㉓（初級編）		
	24	総合問題対策㉔（初級編）		
	25	総合問題対策㉕（初級編）		
	26	総合問題対策㉖（初級編）		
	27	総合問題対策㉗（初級編）		
	28	総合問題対策㉘（初級編）		
	29	総合問題対策㉙（初級編）		
	30	総合問題対策㉚（初級編）		
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	売上取引を中心とした消費税の可否区分の処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**ガイダンス**
	2	**課税の対象①（初級編）**
	3	**課税の対象②（初級編）**
	4	**課税の対象③（初級編）**
	5	**課税の対象④（初級編）**
	6	**非課税①（初級編）**
	7	**非課税②（初級編）**
	8	**非課税③（初級編）**
	9	**非課税④（初級編）**
	10	**輸出免税等①（初級編）**
	11	**輸出免税等②（初級編）**
	12	**輸出免税等③（初級編）**
	13	**輸出免税等④（初級編）**
	14	**資産の譲渡等の時期（初級編）**
	15	**確認テスト(理論)**
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習入門Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**ガイダンス**
	2	**課税の対象①（初級編）**
	3	**課税の対象②（初級編）**
	4	**非課税①（初級編）**
	5	**非課税②（初級編）**
	6	**輸出免税等①（初級編）**
	7	**輸出免税等②（初級編）**
	8	**資産の譲渡等の時期（初級編）**
	9	**控除対象仕入税額①（初級編）**
	10	**控除対象仕入税額②（初級編）**
	11	**売上げに係る対価の返還等（初級編）**
	12	**貸倒れが生じた場合（初級編）**
	13	**課税仕入れの範囲①（初級編）**
	14	**課税仕入れの範囲②（初級編）**
	15	**確認テスト(理論)**
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	消費税法基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	控除税額や納税義務の有無の判定を中心に処理方法を学習する。			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	控除対象仕入税額①(初級編)	31	納税義務の免除①(初級編)
	2	控除対象仕入税額②(初級編)	32	納税義務の免除②(初級編)
	3	控除対象仕入税額③(初級編)	33	納税義務の免除③(初級編)
	4	控除対象仕入税額④(初級編)	34	納税義務の免除④(初級編)
	5	控除対象仕入税額⑤(初級編)	35	納税義務の免除⑤(初級編)
	6	控除対象仕入税額⑥(初級編)	36	国境を越えた役務の提供①(初級編)
	7	売上げに係る対価の返還等①(初級編)	37	国境を越えた役務の提供②(初級編)
	8	売上げに係る対価の返還等②(初級編)	38	国境を越えた役務の提供③(初級編)
	9	貸倒れが生じた場合①(初級編)	39	国境を越えた役務の提供④(初級編)
	10	貸倒れが生じた場合②(初級編)	40	国境を越えた役務の提供⑤(初級編)
	11	課税仕入れの範囲①(初級編)	41	中間申告に係る納付税額の計算①(初級編)
	12	課税仕入れの範囲②(初級編)	42	中間申告に係る納付税額の計算②(初級編)
	13	課税仕入れの範囲③(初級編)	43	課税仕入れ等の分類①(初級編)
	14	課税仕入れの範囲④(初級編)	44	課税仕入れ等の分類②(初級編)
	15	課税仕入れ等の時期①(初級編)	45	課税仕入れ等の分類③(初級編)
	16	課税仕入れ等の時期②(初級編)	46	課税仕入れ等の分類④(初級編)
	17	課税仕入れ等の時期③(初級編)	47	課税仕入れ等の分類⑤(初級編)
	18	課税仕入れ等の時期④(初級編)	48	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①(初級編)
	19	課税売上割合①(初級編)	49	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②(初級編)
	20	課税売上割合②(初級編)	50	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③(初級編)
	21	課税売上割合③(初級編)	51	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①(初級編)
	22	課税売上割合④(初級編)	52	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②(初級編)
	23	課税売上割合⑤(初級編)	53	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③(初級編)
	24	課税売上割合⑥(初級編)	54	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④(初級編)
	25	課税期間における課税売上高①(初級編)	55	納税義務の免除の特例①(初級編)
	26	課税期間における課税売上高②(初級編)	56	納税義務の免除の特例②(初級編)
	27	課税売上割合に準ずる割合①(初級編)	57	納税義務の免除の特例③(初級編)
	28	課税売上割合に準ずる割合②(初級編)	58	納税義務の免除の特例④(初級編)
	29	仕入れに係る対価の返還等①(初級編)	59	納税義務の免除の特例⑤(初級編)
	30	仕入れに係る対価の返還等②(初級編)	60	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法速習基礎Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	課税仕入れ等の時期①（初級編）
	2	課税仕入れ等の時期②（初級編）
	3	課税売上割合①（初級編）
	4	課税売上割合②（初級編）
	5	課税期間における課税売上高①（初級編）
	6	課税期間における課税売上高②（初級編）
	7	課税売上割合に準ずる割合①（初級編）
	8	課税売上割合に準ずる割合②（初級編）
	9	仕入れに係る対価の返還等（初級編）
	10	納税義務の免除（初級編）
	11	国境を越えた役務の提供①（初級編）
	12	国境を越えた役務の提供②（初級編）
	13	国境を越えた役務の提供③（初級編）
	14	中間申告に係る納付税額の計算（初級編）
	15	確認テスト(理論)
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費税法基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	課税標準や簡易課税制度を中心とした処理方法を学習する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算(初級編)①
	2	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算(初級編)②
	3	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算(初級編)③
	4	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①(初級編)
	5	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②(初級編)
	6	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整③(初級編)
	7	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整④(初級編)
	8	課税標準①(初級編)
	9	課税標準②(初級編)
	10	課税標準③(初級編)
	11	課税標準④(初級編)
	12	課税標準⑤(初級編)
	13	課税標準⑥(初級編)
	14	課税標準⑦(初級編)
	15	課税標準⑧(初級編)
	16	簡易課税制度①(初級編)
	17	簡易課税制度②(初級編)
	18	簡易課税制度③(初級編)
	19	簡易課税制度④(初級編)
	20	簡易課税制度⑤(初級編)
	21	簡易課税制度⑥(初級編)
	22	簡易課税制度⑦(初級編)
	23	簡易課税制度⑧(初級編)
	24	簡易課税制度⑨(初級編)
	25	簡易課税制度⑩(初級編)
	26	簡易課税制度⑪(初級編)
	27	簡易課税制度⑫初級編)
	28	簡易課税制度⑬(初級編)
	29	簡易課税制度⑭(初級編)
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	消費税法速習応用Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）
履修年次	２年次
開講区分	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例を中心とした処理方法を学習する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	課税仕入れ等の分類①（初級編）	21	軽減税率①（初級編）
	2	課税仕入れ等の分類②（初級編）	22	軽減税率②（初級編）
	3	課税仕入れ等の分類③（初級編）	23	旧税率に関する経過措置①（初級編）
	4	非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例（初級編）	24	旧税率に関する経過措置②（初級編）
	5	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編）	25	複数税率の場合の計算①（初級編）
	6	調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編）	26	複数税率の場合の計算②（初級編）
	7	納税義務の免除の特例①（初級編）	27	国等に対する特例①（初級編）
	8	納税義務の免除の特例②（初級編）	28	国等に対する特例②（初級編）
	9	納税義務の免除の特例③（初級編）	29	特殊項目③（税抜経理方式）（初級編）
	10	納税義務の免除の特例④（初級編）	30	確認テスト(理論)
	11	納税義務の免除の特例⑤（初級編）		
	12	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（初級編）		
	13	合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（初級編）		
	14	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目②（初級編）		
	15	課税標準①（初級編）		
	16	課税標準②（初級編）		
	17	簡易課税制度①（初級編）		
	18	簡易課税制度②（初級編）		
	19	簡易課税制度③（初級編）		
	20	簡易課税制度④（初級編）		

成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	相続税法応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）
履修年次	２年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な理論的思考も学習をし、理解を深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	相続税法・租税特別措置法についての知識を習得する（基礎）
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	契約者が取得したものとみなされる生命保険契約に関する権利（基礎）	21	相続税の外国税額控除（基礎）
	2	未成年者控除・障害者控除（重ね受け）（基礎）	22	贈与税の外国税額控除（基礎）
	3	相次相続控除（基礎）	23	確認テスト③（理論）
	4	増改築等があった場合（基礎）	24	養子の子の応用的な取扱い（基礎）
	5	結婚・子育て資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）	25	農地等の相続税の納税猶予（基礎）
	6	確認テスト①（理論）	26	非上場株式の贈与税の納税猶予（基礎）
	7	無道路地（基礎）	27	非上場株式の相続税の納税猶予（基礎）
	8	定期借地権等（基礎）	28	個人の事業用資産の贈与税の納税猶予（基礎）
	9	定期借地権等の目的となっている宅地（貸宅地）（基礎）	29	個人の事業用資産の相続税の納税猶予（基礎）
	10	土砂災害特別警戒区域内にある宅地（基礎）	30	確認テスト④（理論）
	11	造成費相当額の算定（平坦地）（基礎）		
	12	公社債（基礎）		
	13	雇用主が保険料を負担している場合（基礎）		
	14	保険金の評価（基礎）		
	15	確認テスト②（理論）		
	16	定期金に関する権利（基礎）		
	17	保証期間付定期金に関する権利（基礎）		
	18	契約に基づかない定期金に関する権利（基礎）		
	19	財産の所在（基礎）		
	20	贈与税額控除（暦年）の基となる贈与税額（基礎）		

成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	相続税法総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	6単位			
授業回数	90回			
授業概要	相続税および贈与税の規定、申告について総合的に学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	相続税法総まとめ①（基礎編）	46	総合問題対策③（基礎編）
	2	相続税法総まとめ①（基礎編）	47	総合問題対策④（基礎編）
	3	相続税法総まとめ②（基礎編）	48	総合問題対策④（基礎編）
	4	相続税法総まとめ②（基礎編）	49	総合問題対策⑤（基礎編）
	5	相続税法総まとめ③（基礎編）	50	総合問題対策⑤（基礎編）
	6	相続税法総まとめ③（基礎編）	51	総合問題対策⑥（基礎編）
	7	相続税法総まとめ④（基礎編）	52	総合問題対策⑥（基礎編）
	8	相続税法総まとめ④（基礎編）	53	総合問題対策⑦（基礎編）
	9	相続税法総まとめ⑤（基礎編）	54	総合問題対策⑦（基礎編）
	10	相続税法総まとめ⑤（基礎編）	55	総合問題対策⑧（基礎編）
	11	相続税法総まとめ⑥（基礎編）	56	総合問題対策⑧（基礎編）
	12	相続税法総まとめ⑥（基礎編）	57	総合問題対策⑨（基礎編）
	13	相続税法総まとめ⑦（基礎編）	58	総合問題対策⑨（基礎編）
	14	相続税法総まとめ⑦（基礎編）	59	総合問題対策⑩（基礎編）
	15	相続税法総まとめ⑧（基礎編）	60	総合問題対策⑩（基礎編）
	16	相続税法総まとめ⑧（基礎編）	61	総合問題対策⑪（基礎編）
	17	相続税法総まとめ⑨（基礎編）	62	総合問題対策⑪（基礎編）
	18	相続税法総まとめ⑨（基礎編）	63	総合問題対策⑫（基礎編）
	19	相続税法総まとめ⑩（基礎編）	64	総合問題対策⑫（基礎編）
	20	相続税法総まとめ⑩（基礎編）	65	総合問題対策⑬（基礎編）
	21	相続税法総まとめ⑪（基礎編）	66	総合問題対策⑬（基礎編）
	22	相続税法総まとめ⑪（基礎編）	67	総合問題対策⑭（基礎編）
	23	相続税法総まとめ⑫（基礎編）	68	総合問題対策⑭（基礎編）
	24	相続税法総まとめ⑫（基礎編）	69	総合問題対策⑮（基礎編）
	25	相続税法総まとめ⑬（基礎編）	70	総合問題対策⑮（基礎編）
	26	相続税法総まとめ⑬（基礎編）	71	総合問題対策⑯（基礎編）
	27	相続税法総まとめ⑭（基礎編）	72	総合問題対策⑯（基礎編）
	28	相続税法総まとめ⑭（基礎編）	73	総合問題対策⑰（基礎編）
	29	相続税法総まとめ⑮（基礎編）	74	総合問題対策⑰（基礎編）
	30	相続税法総まとめ⑮（基礎編）	75	総合問題対策⑱（基礎編）
	31	相続税法総まとめ⑯（基礎編）	76	総合問題対策⑱（基礎編）
	32	相続税法総まとめ⑯（基礎編）	77	総合問題対策⑲（基礎編）
	33	相続税法総まとめ⑰（基礎編）	78	総合問題対策⑲（基礎編）
	34	相続税法総まとめ⑰（基礎編）	79	総合問題対策⑳（基礎編）
	35	相続税法総まとめ⑱（基礎編）	80	総合問題対策⑳（基礎編）
	36	相続税法総まとめ⑱（基礎編）	81	総合問題対策㉑（基礎編）
	37	相続税法総まとめ⑲（基礎編）	82	総合問題対策㉑（基礎編）
	38	相続税法総まとめ⑲（基礎編）	83	総合問題対策㉒（基礎編）
	39	相続税法総まとめ⑳（基礎編）	84	総合問題対策㉒（基礎編）
	40	相続税法総まとめ⑳（基礎編）	85	総合問題対策㉓（基礎編）
	41	総合問題対策①（基礎編）	86	総合問題対策㉓（基礎編）
	42	総合問題対策①（基礎編）	87	総合問題対策㉔（基礎編）
	43	総合問題対策②（基礎編）	88	総合問題対策㉔（基礎編）
	44	総合問題対策②（基礎編）	89	総合問題対策㉕（基礎編）
	45	総合問題対策③（基礎編）	90	総合問題対策㉕（基礎編）
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続税法入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	相続税および贈与税の概要基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税および贈与税の概要を理解する（基礎）	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**ガイダンス**
	2	**相続税法の概要（基礎）**
	3	**相続税法と民法（基礎）**
	4	**相続人、代襲相続（基礎）**
	5	**養子の子の取扱い（基礎）**
	6	**相続の承認と放棄（基礎）**
	7	**相続分（法定相続分、代襲相続分）（基礎）**
	8	**遺言による財産の取得（基礎）**
	9	**相続税の納税義務者（基礎）**
	10	**生命保険金等（基礎）**
	11	**相続税の非課税財産（基礎）**
	12	**相続税額の計算方法（基礎）**
	13	**生命保険金等の非課税金額（基礎）**
	14	**退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（基礎）**
	15	**確認テスト(理論)**
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	相続税法基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な問題の理解			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	贈与税の概要（基礎）、贈与税の納税義務者（基礎）	31	小規模宅地等の減額①（基礎）
	2	弔慰金等（基礎）、債務控除（基礎）	32	小規模宅地等の減額②（基礎）
	3	相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（基礎）	33	小規模宅地等の減額③（基礎）
	4	相続時精算課税適用財産（基礎）等	34	小規模宅地等の減額④（基礎）
	5	算出相続税額の計算（基礎）、相続税額の加算（基礎）	35	小規模宅地等の減額⑤（基礎）
	6	贈与税額控除（暦年）（基礎）、配偶者の税額軽減（基礎）	36	小規模宅地等の減額⑥（基礎）
	7	未成年者控除（基礎）、障害者控除（基礎）	37	確認テスト③（理論）
	8	確認テスト①（理論）	38	取引相場のない株式①（基礎）
	9	特定納税義務者（基礎）	39	取引相場のない株式②（基礎）
	10	特定納税義務者の債務控除（基礎）等	40	取引相場のない株式③（基礎）
	11	贈与税額控除（精算）（基礎）	41	取引相場のない株式④（基礎）
	12	自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（基礎）	42	取引相場のない株式⑤（基礎）
	13	自用家屋（基礎）、家屋と構造上一体となっている設備（基礎）	43	取引相場のない株式⑥（基礎）
	14	特別養子制度（基礎）、生命保険契約に関する権利（基礎）	44	取引相場のない株式⑦（基礎）
	15	被保険者でない保険契約者が死亡した場合（基礎）	45	取引相場のない株式⑧（基礎）
	16	法定相続人の数（基礎）、本来の財産（基礎）	46	取引相場のない株式⑨（基礎）
	17	自用地（路線に2以上の路線価が付されている宅地）（基礎）	47	取引相場のない株式⑩（基礎）
	18	地区区分の異なる宅地（基礎）	48	取引相場のない株式⑪（基礎）
	19	側方路線等に宅地の一部が接している場合（基礎）	49	取引相場のない株式⑫（基礎）
	20	普通借地権（自用借地権）（基礎）、貸宅地（基礎）等	50	取引相場のない株式⑬（基礎）
	21	貸家建付借地権（基礎）、貸家（基礎）	51	利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等（基礎）
	22	一般動産（基礎）、たな卸商品等（基礎）	52	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地（基礎）
	23	書画骨とう品（基礎）、預貯金（基礎）	53	相当の地代を支払っている場合の借地権（基礎）
	24	上場株式（基礎）、構築物（基礎）	54	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地（基礎）
	25	貸付金債権等（基礎）、受取手形等（基礎）	55	利用区分が異なる建物（基礎）、建築中の家屋（基礎）
	26	間口が狭小な宅地等（基礎）、角切り宅地の間口距離（基礎）	56	不整形地（基礎）、地積規模の大きな宅地（基礎）
	27	確認テスト②（理論）	57	がけ地等を有する宅地（基礎）、旗竿状の宅地等（基礎）
	28	使用貸借により借り受けた宅地等（基礎）	58	容積率の異なる宅地（基礎）
	29	使用貸借により貸し付けられた宅地等（基礎）	59	都市計画道路予定地の区域内にある宅地（基礎）
	30	使用貸借により貸し付けられた家屋（基礎）	60	確認テスト④（理論）
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続税法基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	相続税、贈与税の基礎的な知識を網羅し文章問題を解答する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	私道の用に供されている宅地（基礎）等（基礎）①
	2	私道の用に供されている宅地（基礎）等（基礎）②
	3	私道の用に供されている宅地（基礎）等（基礎）③
	4	上場株式（権利落等）、株式の割り当てを受ける権利（基礎）①
	5	上場株式（権利落等）、株式の割り当てを受ける権利（基礎）②
	6	宅地等の評価単位（基礎）等（基礎）①
	7	宅地等の評価単位（基礎）等（基礎）②
	8	純農地、中間農地、純山林、中間山林（基礎）①
	9	純農地、中間農地、純山林、中間山林（基礎）②
	10	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林（基礎）①
	11	市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林（基礎）②
	12	立木、立木の評価減（基礎）、配当期待権（基礎）①
	13	立木、立木の評価減（基礎）、配当期待権（基礎）②
	14	贈与税が課税される場合（基礎）等①
	15	贈与税が課税される場合（基礎）等（基礎）②
	16	負担付遺贈・贈与（基礎）、贈与税の非課税財産（基礎）①
	17	負担付遺贈・贈与（基礎）、贈与税の非課税財産（基礎）②
	18	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）①
	19	直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）②
	20	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例（基礎）①
	21	住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例（基礎）②
	22	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）①
	23	直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎）②
	24	証券投資信託受益証券（基礎）、ゴルフ会員権（基礎）①
	25	証券投資信託受益証券（基礎）、ゴルフ会員権（基礎）②
	26	不動産投資信託証券（基礎）、措法70の非課税（基礎）①
	27	不動産投資信託証券（基礎）、措法70の非課税（基礎）②
	28	権利義務の承継（基礎）、贈与税の配偶者控除（基礎）①
	29	権利義務の承継（基礎）、贈与税の配偶者控除（基礎）②
	30	確認テスト(理論)
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法人税法応用Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）
履修年次	２年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	連結納税制度等の特殊項目の学習を進める。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	連結納税制度等の制度を学び、初級問題の解法を習得する。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	連結納税制度1（初級）	21	試験研究費の特別控除1（初級）
	2	連結納税制度2（初級）	22	試験研究費の特別控除2（初級）
	3	連結納税制度3（初級）	23	試験研究費の特別控除3（初級）
	4	連結納税制度4（初級）	24	試験研究費の特別控除4（初級）
	5	連結納税制度5（初級）	25	資産除去債務1（初級）
	6	連結納税制度6（初級）	26	資産除去債務2（初級）
	7	連結納税制度7（初級）	27	資産除去債務3（初級）
	8	連結納税制度8（初級）	28	解散税制1（初級）
	9	連結納税制度9（初級）	29	解散税制2（初級）
	10	連結納税制度10（初級）	30	確認テスト（理論）
	11	連結納税制度11（初級）		
	12	連結納税制度12（初級）		
	13	連結納税制度13（初級）		
	14	連結納税制度14（初級）		
	15	連結納税制度15（初級）		
	16	連結納税制度16（初級）		
	17	連結納税制度17（初級）		
	18	連結納税制度18（初級）		
	19	連結納税制度19（初級）		
	20	連結納税制度20（初級）		

成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法総合Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	6回			
授業回数	90回			
授業概要	法人税法の計算体系の知識習得を目的とする。			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総合問題対策1(初級)	46	総合問題対策46(初級)
	2	総合問題対策2(初級)	47	総合問題対策47(初級)
	3	総合問題対策3(初級)	48	総合問題対策48(初級)
	4	総合問題対策4(初級)	49	総合問題対策49(初級)
	5	総合問題対策5(初級)	50	総合問題対策50(初級)
	6	総合問題対策6(初級)	51	総合問題対策51(初級)
	7	総合問題対策7(初級)	52	総合問題対策52(初級)
	8	総合問題対策8(初級)	53	総合問題対策53(初級)
	9	総合問題対策9(初級)	54	総合問題対策54(初級)
	10	総合問題対策10(初級)	55	総合問題対策55(初級)
	11	総合問題対策11(初級)	56	総合問題対策56(初級)
	12	総合問題対策12(初級)	57	総合問題対策57(初級)
	13	総合問題対策13(初級)	58	総合問題対策58(初級)
	14	総合問題対策14(初級)	59	総合問題対策59(初級)
	15	総合問題対策15(初級)	60	総合問題対策60(初級)
	16	総合問題対策16(初級)	61	総合問題対策61(初級)
	17	総合問題対策17(初級)	62	総合問題対策62(初級)
	18	総合問題対策18(初級)	63	総合問題対策63(初級)
	19	総合問題対策19(初級)	64	総合問題対策64(初級)
	20	総合問題対策20(初級)	65	総合問題対策65(初級)
	21	総合問題対策21(初級)	66	総合問題対策66(初級)
	22	総合問題対策22(初級)	67	総合問題対策67(初級)
	23	総合問題対策23(初級)	68	総合問題対策68(初級)
	24	総合問題対策24(初級)	69	総合問題対策69(初級)
	25	総合問題対策25(初級)	70	総合問題対策70(初級)
	26	総合問題対策26(初級)	71	総合問題演習1(初級:計算)
	27	総合問題対策27(初級)	72	総合問題演習1(初級:理論)
	28	総合問題対策28(初級)	73	総合問題演習2(初級:計算)
	29	総合問題対策29(初級)	74	総合問題演習2(初級:理論)
	30	総合問題対策30(初級)	75	総合問題演習3(初級:計算)
	31	総合問題対策31(初級)	76	総合問題演習3(初級:理論)
	32	総合問題対策32(初級)	77	総合問題演習4(初級:計算)
	33	総合問題対策33(初級)	78	総合問題演習4(初級:理論)
	34	総合問題対策34(初級)	79	総合問題演習5(初級:計算)
	35	総合問題対策35(初級)	80	総合問題演習5(初級:理論)
	36	総合問題対策36(初級)	81	総合問題演習6(初級:計算)
	37	総合問題対策37(初級)	82	総合問題演習6(初級:理論)
	38	総合問題対策38(初級)	83	総合問題演習7(初級:計算)
	39	総合問題対策39(初級)	84	総合問題演習7(初級:理論)
	40	総合問題対策40(初級)	85	総合問題演習8(初級:計算)
	41	総合問題対策41(初級)	86	総合問題演習8(初級:理論)
	42	総合問題対策42(初級)	87	総合問題演習9(初級:計算)
	43	総合問題対策43(初級)	88	総合問題演習9(初級:理論)
	44	総合問題対策44(初級)	89	総合問題演習10(初級:計算)
	45	総合問題対策45(初級)	90	総合問題演習10(初級:理論)
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法入門Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	基本的な部分の学習を行い、中級問題の解法を習得する。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**ガイダンス（中級）**
	2	**納税義務者（中級）**
	3	**課税所得の範囲（中級）**
	4	**交際費等の損金不算入Ⅰ（中級）**
	5	**減価償却Ⅰ（中級）**
	6	**減価償却Ⅱ（中級）**
	7	**減価償却Ⅲ（中級）**
	8	**受取配当等の益金不算入Ⅰ（中級）**
	9	**寄附金の損金不算入Ⅰ（中級）**
	10	**租税公課等（中級）**
	11	**納税充当金Ⅰ（中級）**
	12	**納税充当金Ⅱ（中級）**
	13	**別表四の作成（中級）**
	14	**事業年度（中級）**
	15	**確認テスト（理論）**
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法人税法基礎Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	欠損金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ。			
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る			
達成目標	各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	貸倒損失Ⅰ（基礎）	31	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ（基礎）
	2	貸倒損失Ⅱ（基礎）	32	外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ（基礎）
	3	貸倒引当金Ⅰ（基礎）	33	みなし配当金Ⅰ（基礎）
	4	貸倒引当金Ⅱ（基礎）	34	みなし配当金Ⅱ（基礎）
	5	欠損金Ⅰ（基礎）	35	資本等取引Ⅰ（基礎）
	6	欠損金Ⅱ（基礎）	36	資本等取引Ⅱ（基礎）
	7	外貨建取引Ⅰ（基礎）	37	交換差益Ⅰ（基礎）
	8	外貨建取引Ⅱ（基礎）	38	交換差益Ⅱ（基礎）
	9	有価証券Ⅰ（基礎）	39	交換差益Ⅲ（基礎）
	10	有価証券Ⅱ（基礎）	40	別表五㈡Ⅰ（基礎）
	11	収用等Ⅰ（基礎）	41	別表五㈡Ⅱ（基礎）
	12	収用等Ⅱ（基礎）	42	別表五㈡Ⅲ（基礎）
	13	所得税額控除Ⅰ（基礎）	43	別表五㈡Ⅳ（基礎）
	14	所得税額控除Ⅱ（基礎）	44	リース取引Ⅰ（基礎）
	15	国庫補助金等Ⅰ（基礎）	45	リース取引Ⅱ（基礎）
	16	国庫補助金等Ⅱ（基礎）	46	リース取引Ⅲ（基礎）
	17	別表五㈠の作成Ⅰ（基礎）	47	リース取引Ⅳ（基礎）
	18	別表五㈠の作成Ⅱ（基礎）	48	繰延資産Ⅰ（基礎）
	19	圧縮記帳Ⅰ（基礎）	49	繰延資産Ⅱ（基礎）
	20	圧縮記帳Ⅱ（基礎）	50	繰延資産Ⅲ（基礎）
	21	役員判定Ⅰ（基礎）	51	繰延資産Ⅳ（基礎）
	22	役員判定Ⅱ（基礎）	52	確定決算型Ⅰ（基礎）
	23	役員給与Ⅰ（基礎）	53	確定決算型Ⅱ（基礎）
	24	役員給与Ⅱ（基礎）	54	確定決算型Ⅲ（基礎）
	25	使用人給与Ⅰ（基礎）	55	確定決算型Ⅳ（基礎）
	26	使用人給与Ⅱ（基礎）	56	グループ法人税制Ⅰ（基礎）
	27	特定資産の買換えⅠ（基礎）	57	グループ法人税制Ⅱ（基礎）
	28	特定資産の買換えⅡ（基礎）	58	資産の評価損益（基礎）
	29	外国税額控除Ⅰ（基礎）	59	保険料（基礎）
	30	外国税額控除Ⅱ（基礎）	60	確認テスト（理論）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法人税法基礎Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	２単位	
授業回数	３０回	
授業概要	組織再編税制を中心とした法人税法の体系を学ぶ。	
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る	
達成目標	各項目の応用的な部分を学び、各体系の解法を習得する。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	**設立事業年度(応用)①**
	2	**設立事業年度(応用)②**
	3	**設立事業年度(応用)③**
	4	**組織再編税制(応用)①**
	5	**組織再編税制(応用)②**
	6	**工事の請負(応用)①**
	7	**工事の請負(応用)②**
	8	**修正申告(応用)①**
	9	**修正申告(応用)②**
	10	**税効果会計(応用)①**
	11	**税効果会計(応用)②**
	12	**賃上げ･投資促進税制(応用)①**
	13	**賃上げ･投資促進税制(応用)②**
	14	**スピンオフ税制(応用)①**
	15	**スピンオフ税制(応用)②**
	16	**特定同族会社の特別税率(応用)①**
	17	**特定同族会社の特別税率(応用)②**
	18	**適用除外事業者(応用)①**
	19	**適用除外事業者(応用)②**
	20	**地方法人税(応用)①**
	21	**地方法人税(応用)②**
	22	**外国子会社配当(応用)①**
	23	**外国子会社配当(応用)②**
	24	**借地権等(応用)①**
	25	**借地権等(応用)②**
	26	**償還差損益(応用)①**
	27	**償還差損益(応用)②**
	28	**未収還付税金(応用)①**
	29	**未収還付税金(応用)②**
	30	**確認テスト(理論)**
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	国税徴収法総合Ⅰ			
実務家教員	○			
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	納税の猶予を中心とした国税通則法の規定を学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める			
達成目標	的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例(初級)	31	総合理論対策1(初級)
	2	交付要求及び督促時効(初級)	32	総合理論対策2(初級)
	3	参加差押え(初級)	33	総合理論対策3(初級)
	4	国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係(初級)	34	総合理論対策4(初級)
	5	換価配当(初級)	35	総合理論対策5(初級)
	6	担保のための仮登記(初級)	36	総合理論対策6(初級)
	7	物上代位権との調整(初級)	37	総合理論対策7(初級)
	8	納期限未到来の納税の猶予(初級)	38	総合理論対策8(初級)
	9	災害等による一般の納税の猶予(初級)	39	総合理論対策9(初級)
	10	換価の猶予(初級)	40	総合問題演習1(初級)
	11	確定手続が遅延した場合の納税の猶予(初級)	41	総合問題演習1(初級)
	12	納税の猶予の効果、取消、短縮(初級)	42	総合問題演習2(初級)
	13	納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税(初級)	43	総合問題演習2(初級)
	14	保証人に対する滞納処分(法定納期限等)(初級)	44	総合問題演習3(初級)
	15	国税の担保(初級)	45	総合問題演習3(初級)
	16	差押効力(果実・保険金)、滞納処分の引継(初級)		
	17	保全措置(初級)		
	18	滞納処分の停止(初級)		
	19	納付委託・弁済委託(初級)		
	20	第二次納税義務(通則)(初級)		
	21	第二次納税義務(人的限度)(初級)		
	22	第二次納税義務(物的限度)(初級)		
	23	不服申立(初級)		
	24	滞納処分費(初級)		
	25	納付義務の承継(初級)		
	26	質権及び抵当権の優先額の限度(初級)		
	27	増額登記(初級)		
	28	質権の証明と優先権行使の否認(初級)		
	29	国税徴収法第26条準用(初級)		
	30	差押禁止財産(給料等の差押禁止額の計算)(初級)		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法速習基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）
履修年次	２年次
開講区分	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	各種財産の差押え方法を中心とした税法理論を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、中級問題を読解できるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	国税徴収法の目的（中級）	21	動産又は有価証券の差押え（中級）
	2	納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分まで（中級）	22	第三者が占有する動産等の差押手続（中級）
	3	強制換価手続（中級）	23	引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（中級）
	4	担保の種類（中級）	24	国税徴収法第26条の計算（中級）
	5	滞納処分の概要（中級）	25	債権の差押え（中級）
	6	国税に優先する権利（中級）	26	不動産等の差押え（中級）
	7	国税相互間の優先関係（中級）	27	第三債務者等がない無体財産権等の差押え（中級）
	8	財産の調査（中級）	28	第三債務者等がある無体財産権等の差押え（中級）
	9	最優先される被担保債権（中級）	29	国税徴収法第24条（譲渡担保）（中級）
	10	法定納期限等（期限内申告に係る国税）（中級）	30	確認テスト（中級）
	11	法定納期限等以前の抵当権及び質権（中級）		
	12	不動産賃貸の先取特権等（中級）		
	13	法定納期限等（期限後・修正、更正・決定等）（中級）		
	14	譲受前にある担保権（中級）		
	15	担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（中級）		
	16	差押の制限等、解除（中級）		
	17	差押の共通手続（中級）		
	18	第三者からの差押換え（中級）		
	19	差押換え（換価申立ての細部）（中級）		
	20	相続人からの差押換え（中級）		

成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	国税徴収法速習総合Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	国税徴収法24条と26条の関係性を中心とした租税理論を学ぶ。			
授業の進め方	問題演習と必要に応じて復習講義を行い、幅広い知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で応用問題を解き、答えを導き出す。			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	譲渡担保設定者の国税の優先徴収の特例（応用）	31	総合理論対策1（応用）
	2	交付要求及び督促時効（応用）	32	総合理論対策2（応用）
	3	参加差押え（応用）	33	総合理論対策3（応用）
	4	国税徴収法24条と16条、24条と26条の関係（応用）	34	総合理論対策4（応用）
	5	換価配当（応用）	35	総合理論対策5（応用）
	6	担保のための仮登記（応用）	36	総合理論対策6（応用）
	7	物上代位権との調整（応用）	37	総合理論対策7（応用）
	8	納期限未到来の納税の猶予（応用）	38	総合理論対策8（応用）
	9	災害等による一般の納税の猶予（応用）	39	総合理論対策9（応用）
	10	換価の猶予（応用）	40	総合問題演習1（応用）
	11	確定手続が遅延した場合の納税の猶予（応用）	41	総合問題演習1（応用）
	12	納税の猶予の効果、取消、短縮（応用）	42	総合問題演習2（応用）
	13	納税保証に係る国税及び物上保証に係る国税（応用）	43	総合問題演習2（応用）
	14	保証人に対する滞納処分（法定納期限等）（応用）	44	総合問題演習3（応用）
	15	国税の担保（応用）	45	総合問題演習3（応用）
	16	差押効力（果実・保険金）、滞納処分の引継（応用）		
	17	保全措置（応用）		
	18	滞納処分の停止（応用）		
	19	納付委託・弁済委託（応用）		
	20	第二次納税義務（通則）（応用）		
	21	第二次納税義務（人的限度）（応用）		
	22	第二次納税義務（物的限度）（応用）		
	23	不服申立（応用）		
	24	滞納処分費（応用）		
	25	納付義務の承継（応用）		
	26	質権及び抵当権の優先額の限度（応用）		
	27	増額登記（応用）		
	28	質権の証明と優先権行使の否認（応用）		
	29	国税徴収法第26条準用（応用）		
	30	差押禁止財産（給料等の差押禁止額の計算）（応用）		
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	国税徴収法基礎Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）
履修年次	２年次
開講区分	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	滞納者の財産の調査方法を中心とした税法理論を学ぶ。
授業の進め方	テキストを中心とした講義により概要を知る
達成目標	国税徴収法の解釈を学び、基礎問題を読解できるようにする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	国税徴収法の目的（基礎）	21	動産又は有価証券の差押え（基礎）
	2	納税義務の成立及び確定・納期限から滞納処分（基礎）	22	第三者が占有する動産等の差押手続（基礎）
	3	強制換価手続（基礎）	23	引渡命令を受けた第三者等の権利の保護（基礎）
	4	担保の種類（基礎）	24	国税徴収法第26条の計算（基礎）
	5	滞納処分の概要（基礎）	25	債権の差押え（基礎）
	6	国税に優先する権利（基礎）	26	不動産等の差押え（基礎）
	7	国税相互間の優先関係（基礎）	27	第三債務者等がない無体財産権等の差押え（基礎）
	8	財産の調査（基礎）	28	第三債務者等がある無体財産権等の差押え（基礎）
	9	最優先される被担保債権（基礎）	29	国税徴収法第24条（譲渡担保）（基礎）
	10	法定納期限等（期限内申告に係る国税）（基礎）	30	確認テスト（基礎）
	11	法定納期限等以前の抵当権及び質権（基礎）		
	12	不動産賃貸の先取特権等（基礎）		
	13	法定納期限等（期限後・修正、更正・決定等）（基礎）		
	14	譲受前にある担保権（基礎）		
	15	担保権付財産が譲渡された場合の国税の徴収（基礎）		
	16	差押の制限等、解除（基礎）		
	17	差押の共通手続（基礎）		
	18	第三者からの差押換え（基礎）		
	19	差押換え（換価申立ての細部）（基礎）		
	20	相続人からの差押換え（基礎）		

成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コミュニケーション概論	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	１単位	
授業回数	１５回	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	グループワークとは
	2	企画立案の流れ
	3	企画立案①
	4	企画立案②
	5	企画立案③
	6	企画立案④
	7	企画立案⑤
	8	企画書作成①
	9	企画書作成②
	10	企画書作成③
	11	プレゼン準備①
	12	プレゼン準備②
	13	プレゼン準備③
	14	発表①
	15	発表②
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Excel基礎	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	２単位	
授業回数	３０回	
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用方法を習得する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理①
	2	ワークシートやブックの作成と管理②
	3	セルやセル範囲のデータの管理①
	4	セルやセル範囲のデータの管理②
	5	テーブルの作成①
	6	テーブルの作成②
	7	関数を使用してのデータ集計①
	8	関数を使用してのデータ集計②
	9	関数を使用しての条件付き計算①
	10	関数を使用しての条件付き計算②
	11	関数を使用した文字列の整形や変更①
	12	関数を使用した文字列の整形や変更②
	13	グラフの作成①
	14	グラフの作成②
	15	グラフの書式設定①
	16	グラフの書式設定②
	17	オブジェクトの挿入や書式設定①
	18	オブジェクトの挿入や書式設定②
	19	模擬テスト①
	20	模擬テスト②
	21	模擬テスト③
	22	模擬テスト④
	23	模擬テスト⑤
	24	模擬テスト⑥
	25	模擬テスト⑦
	26	模擬テスト⑧
	27	模擬テスト⑨
	28	模擬テスト⑩
	29	模擬テスト⑪
	30	模擬テスト⑫
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Power Point基礎	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
単位数	１単位	
授業回数	１５回	
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら操作力を身につけ、プレゼンテーションを実践する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	プレゼンテーションの企画
	2	分かりやすいストーリー構成
	3	必要な情報の収集
	4	センスアップするレイアウトデザイン
	5	視覚に訴えるチャート化
	6	訴求力を上げるカラー化
	7	数値をアピールする表・グラフ活用
	8	イメージを伝えるイラスト・写真活用
	9	発表で魅せるアニメーション
	10	自信を高める万全な準備
	11	メッセージが伝わる発表スキル
	12	信頼を得る質疑応答
	13	プレゼンテーション準備
	14	効果測定①
	15	効果測定②
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ＩＴリテラシ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（2年制昼間部）			
履修年次	１年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	４単位			
授業回数	４５回			
授業概要	ネットワーク、セキュリティの知識とコンピュータの基本操作を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	社会人として必要な情報リテラシの基礎を身につける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	コンピュータシステムの構成①	31	直前答案練習①
	2	コンピュータシステムの構成②	32	直前答案練習②
	3	コンピュータシステムの構成③	33	直前答案練習③
	4	ネットワークテクノロジ①	34	直前答案練習④
	5	ネットワークテクノロジ②	35	直前答案練習⑤
	6	ネットワークテクノロジ③	36	直前答案練習⑥
	7	ネットワークの構築と運用①	37	直前答案練習⑦
	8	ネットワークの構築と運用②	38	直前答案練習⑧
	9	ネットワークの構築と運用③	39	直前答案練習⑨
	10	ネットワークの構築と運用④	40	直前答案練習⑩
	11	情報セキュリティ①	41	直前答案練習⑪
	12	情報セキュリティ②	42	直前答案練習⑫
	13	情報セキュリティ③	43	直前答案練習⑬
	14	情報セキュリティ④	44	直前答案練習⑭
	15	情報セキュリティ⑤	45	直前答案練習⑮
	16	項目別問題演習①		
	17	項目別問題演習②		
	18	項目別問題演習③		
	19	項目別問題演習④		
	20	項目別問題演習⑤		
	21	項目別問題演習⑥		
	22	項目別問題演習⑦		
	23	項目別問題演習⑧		
	24	項目別問題演習⑨		
	25	項目別問題演習⑩		
	26	項目別問題演習⑪		
	27	項目別問題演習⑫		
	28	項目別問題演習⑬		
	29	項目別問題演習⑭		
	30	項目別問題演習⑮		
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員	○	
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	１単位	
授業回数	１５回	
授業概要	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習	
授業の進め方	テキストによる講義により、基本的な手法を学ぶ	
達成目標	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	就職活動の進め方①
	2	就職活動の進め方②
	3	自己分析①
	4	自己分析②
	5	会社選びの基礎知識
	6	企業研究①
	7	企業研究②
	8	応募書類の作成方法①
	9	応募書類の作成方法②
	10	企業へのアクセス①
	11	企業へのアクセス②
	12	企業へのアクセス③
	13	企業へのアクセス④
	14	企業へのアクセス⑤
	15	効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	１単位	
授業回数	１５回	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	グループディスカッションとは①
	2	グループディスカッションとは②
	3	グループディスカッションの役割①
	4	グループディスカッションの役割②
	5	抽象テーマ型グループディスカッション①
	6	抽象テーマ型グループディスカッション②
	7	抽象テーマ型グループディスカッション③
	8	課題解決型グループディスカッション①
	9	課題解決型グループディスカッション②
	10	課題解決型グループディスカッション③
	11	KJ法①
	12	KJ法②
	13	資料読み取り型グループディスカッション①
	14	資料読み取り型グループディスカッション②
	15	資料読み取り型グループディスカッション③
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	時事	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	１年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	１単位	
授業回数	１５回	
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習	
授業の進め方	テキスト講義により、興味を持って情報収集し自身の意見に反映させる	
達成目標	主要な時事の基本用語が理解し、時事に関する情報取集を行い、考えや意見を伝えることが	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	時事用語確認①
	2	時事用語確認②
	3	時事用語確認③
	4	時事用語確認④
	5	時事用語確認⑤
	6	時事用語確認⑥
	7	時事用語確認⑦
	8	時事用語確認⑧
	9	時事用語確認⑨
	10	時事用語確認⑩
	11	時事用語確認⑪
	12	時事用語確認⑫
	13	時事用語確認⑬
	14	時事用語確認⑭
	15	確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ライフプランニング概論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	３単位	
授業回数	４５回	
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ　問題対策・演習①	総まとめ　問題対策・演習㉛
	2	総まとめ　問題対策・演習②	総まとめ　問題対策・演習㉜
	3	総まとめ　問題対策・演習③	総まとめ　問題対策・演習㉝
	4	総まとめ　問題対策・演習④	総合問題演習①
	5	総まとめ　問題対策・演習⑤	総合問題演習②
	6	総まとめ　問題対策・演習⑥	総合問題演習③
	7	総まとめ　問題対策・演習⑦	総合問題演習④
	8	総まとめ　問題対策・演習⑧	総合問題演習⑤
	9	総まとめ　問題対策・演習⑨	総合問題演習⑥
	10	総まとめ　問題対策・演習⑩	総合問題演習⑦
	11	総まとめ　問題対策・演習⑪	総合問題演習⑧
	12	総まとめ　問題対策・演習⑫	総合問題演習⑨
	13	総まとめ　問題対策・演習⑬	総合問題演習⑩
	14	総まとめ　問題対策・演習⑭	総合問題演習⑪
	15	総まとめ　問題対策・演習⑮	模擬試験
	16	総まとめ　問題対策・演習⑯	
	17	総まとめ　問題対策・演習⑰	
	18	総まとめ　問題対策・演習⑱	
	19	総まとめ　問題対策・演習⑲	
	20	総まとめ　問題対策・演習⑳	
	21	総まとめ　問題対策・演習㉑	
	22	総まとめ　問題対策・演習㉒	
	23	総まとめ　問題対策・演習㉓	
	24	総まとめ　問題対策・演習㉔	
	25	総まとめ　問題対策・演習㉕	
	26	総まとめ　問題対策・演習㉖	
	27	総まとめ　問題対策・演習㉗	
	28	総まとめ　問題対策・演習㉘	
	29	総まとめ　問題対策・演習㉙	
	30	総まとめ　問題対策・演習㉚	
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	リスク管理概論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	３単位	
授業回数	４５回	
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ　問題対策・演習①	総まとめ　問題対策・演習㉛
	2	総まとめ　問題対策・演習②	総まとめ　問題対策・演習㉜
	3	総まとめ　問題対策・演習③	総まとめ　問題対策・演習㉝
	4	総まとめ　問題対策・演習④	総合問題演習①
	5	総まとめ　問題対策・演習⑤	総合問題演習②
	6	総まとめ　問題対策・演習⑥	総合問題演習③
	7	総まとめ　問題対策・演習⑦	総合問題演習④
	8	総まとめ　問題対策・演習⑧	総合問題演習⑤
	9	総まとめ　問題対策・演習⑨	総合問題演習⑥
	10	総まとめ　問題対策・演習⑩	総合問題演習⑦
	11	総まとめ　問題対策・演習⑪	総合問題演習⑧
	12	総まとめ　問題対策・演習⑫	総合問題演習⑨
	13	総まとめ　問題対策・演習⑬	総合問題演習⑩
	14	総まとめ　問題対策・演習⑭	総合問題演習⑪
	15	総まとめ　問題対策・演習⑮	模擬試験
	16	総まとめ　問題対策・演習⑯	
	17	総まとめ　問題対策・演習⑰	
	18	総まとめ　問題対策・演習⑱	
	19	総まとめ　問題対策・演習⑲	
	20	総まとめ　問題対策・演習⑳	
	21	総まとめ　問題対策・演習㉑	
	22	総まとめ　問題対策・演習㉒	
	23	総まとめ　問題対策・演習㉓	
	24	総まとめ　問題対策・演習㉔	
	25	総まとめ　問題対策・演習㉕	
	26	総まとめ　問題対策・演習㉖	
	27	総まとめ　問題対策・演習㉗	
	28	総まとめ　問題対策・演習㉘	
	29	総まとめ　問題対策・演習㉙	
	30	総まとめ　問題対策・演習㉚	
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	金融資産運用設計概論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	３単位	
授業回数	４５回	
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ　問題対策・演習①	総まとめ　問題対策・演習㉛
	2	総まとめ　問題対策・演習②	総まとめ　問題対策・演習㉜
	3	総まとめ　問題対策・演習③	総まとめ　問題対策・演習㉝
	4	総まとめ　問題対策・演習④	総合問題演習①
	5	総まとめ　問題対策・演習⑤	総合問題演習②
	6	総まとめ　問題対策・演習⑥	総合問題演習③
	7	総まとめ　問題対策・演習⑦	総合問題演習④
	8	総まとめ　問題対策・演習⑧	総合問題演習⑤
	9	総まとめ　問題対策・演習⑨	総合問題演習⑥
	10	総まとめ　問題対策・演習⑩	総合問題演習⑦
	11	総まとめ　問題対策・演習⑪	総合問題演習⑧
	12	総まとめ　問題対策・演習⑫	総合問題演習⑨
	13	総まとめ　問題対策・演習⑬	総合問題演習⑩
	14	総まとめ　問題対策・演習⑭	総合問題演習⑪
	15	総まとめ　問題対策・演習⑮	模擬試験
	16	総まとめ　問題対策・演習⑯	
	17	総まとめ　問題対策・演習⑰	
	18	総まとめ　問題対策・演習⑱	
	19	総まとめ　問題対策・演習⑲	
	20	総まとめ　問題対策・演習⑳	
	21	総まとめ　問題対策・演習㉑	
	22	総まとめ　問題対策・演習㉒	
	23	総まとめ　問題対策・演習㉓	
	24	総まとめ　問題対策・演習㉔	
	25	総まとめ　問題対策・演習㉕	
	26	総まとめ　問題対策・演習㉖	
	27	総まとめ　問題対策・演習㉗	
	28	総まとめ　問題対策・演習㉘	
	29	総まとめ　問題対策・演習㉙	
	30	総まとめ　問題対策・演習㉚	
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	タックスプランニング概論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	２単位	
授業回数	３０回	
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ　問題対策・演習①
	2	総まとめ　問題対策・演習②
	3	総まとめ　問題対策・演習③
	4	総まとめ　問題対策・演習④
	5	総まとめ　問題対策・演習⑤
	6	総まとめ　問題対策・演習⑥
	7	総まとめ　問題対策・演習⑦
	8	総まとめ　問題対策・演習⑧
	9	総まとめ　問題対策・演習⑨
	10	総まとめ　問題対策・演習⑩
	11	総まとめ　問題対策・演習⑪
	12	総まとめ　問題対策・演習⑫
	13	総まとめ　問題対策・演習⑬
	14	総まとめ　問題対策・演習⑭
	15	総まとめ　問題対策・演習⑮
	16	総まとめ　問題対策・演習⑯
	17	総まとめ　問題対策・演習⑰
	18	総まとめ　問題対策・演習⑱
	19	総まとめ　問題対策・演習⑲
	20	総まとめ　問題対策・演習⑳
	21	総まとめ　問題対策・演習㉑
	22	総まとめ　問題対策・演習㉒
	23	総まとめ　問題対策・演習㉓
	24	総合問題演習①
	25	総合問題演習②
	26	総合問題演習③
	27	総合問題演習④
	28	総合問題演習⑤
	29	総合問題演習⑥
	30	模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	１単位	
授業回数	１５回	
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ　問題対策・演習①
	2	総まとめ　問題対策・演習②
	3	総まとめ　問題対策・演習③
	4	総まとめ　問題対策・演習④
	5	総まとめ　問題対策・演習⑤
	6	総まとめ　問題対策・演習⑥
	7	総まとめ　問題対策・演習⑦
	8	総まとめ　問題対策・演習⑧
	9	総まとめ　問題対策・演習⑨
	10	総まとめ　問題対策・演習⑩
	11	総まとめ　問題対策・演習⑪
	12	総まとめ　問題対策・演習⑫
	13	総まとめ　問題対策・演習⑬
	14	総まとめ　問題対策・演習⑭
	15	模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経理実務	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	２単位	
授業回数	２０回	
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、知識を習得するための講義	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールと業務内容の理解ができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	実務家教員･･･経理業務の代行サービス、コンサルティングなどを行なっている企業に勤務	
授業計画	1	経理・総務の年間カリキュラム
	2	小切手・手形の実務上のポイント
	3	入出金伝票と現金出納帳
	4	当座預金出納帳と手形記入帳
	5	交際費、福利厚生費及び会議費用の区分
	6	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理①
	7	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理②
	8	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務①
	9	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務②
	10	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）①
	11	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）②
	12	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）①
	13	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）②
	14	個人住民税の徴収及び納付
	15	印紙税の基礎知識
	16	受取利息の会計処理
	17	消費税法の概要
	18	消費税の会計処理
	19	原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）
	20	確認テスト
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	給与計算実務	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	２単位	
授業回数	１５回	
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務に必要な知識を習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	所得税・住民税額を算定し、年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	実務家教員･･･経理業務の代行サービス、コンサルティングなどを行なっている企業に勤務	
授業計画	1	所得税の基礎知識①
	2	所得税の基礎知識②
	3	所得税の基礎知識③
	4	年末調整のしかた①
	5	年末調整のしかた②
	6	年末調整のしかた③
	7	法定調書の流れ①
	8	法定調書の流れ②
	9	法定調書の流れ③
	10	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出①
	11	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出②
	12	労働保険の概要及び会計処理①
	13	労働保険の概要及び会計処理②
	14	労働保険の概要及び会計処理③
	15	確認テスト
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	２単位	
授業回数	２０回	
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度を理解するための	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身につく」へステップアップを図る	
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	外貨建会計①
	2	外貨建会計②
	3	外貨建会計③
	4	リース取引①
	5	リース取引②
	6	リース取引③
	7	キャッシュ・フロー計算書①
	8	キャッシュ・フロー計算書②
	9	キャッシュ・フロー計算書③
	10	税効果会計①
	11	税効果会計②
	12	税効果会計③
	13	退職給付会計①
	14	退職給付会計②
	15	退職給付会計③
	16	消費税法①
	17	消費税法②
	18	法人税法①
	19	法人税法②
	20	確認テスト
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ITパスポート基礎
実務家教員	
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講区分	通年
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位数	６単位
授業回数	５５回
授業概要	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専門用語を講義、問題演習を通じて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	社会人として必要な情報技術の専門用語の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画				
	1	企業活動	46	ITパスポート総まとめ④
	2	法務	47	ITパスポート総まとめ⑤
	3	経営戦略マネジメント	48	ITパスポート総まとめ⑥
	4	技術戦略マネジメント	49	ITパスポート総合問題対策①
	5	ビジネスインダストリ	50	ITパスポート総合問題対策②
	6	システム戦略	51	ITパスポート総合問題対策③
	7	システム企画	52	ITパスポート総合問題対策④
	8	システム開発技術	53	ITパスポート総合問題対策⑤
	9	ソフトウェア開発管理技術	54	ITパスポート総合問題対策⑥
	10	プロジェクトマネジメント	55	ITパスポート総合問題対策⑦
	11	サービスマネジメント	56	
	12	システム監査①	57	
	13	システム監査②	58	
	14	基礎理論①	59	
	15	基礎理論②	60	
	16	アルゴリズムとプログラミング①	61	
	17	アルゴリズムとプログラミング②	62	
	18	コンピュータ構成要素①	63	
	19	コンピュータ構成要素②	64	
	20	システム構成要素①	65	
	21	システム構成要素②	66	
	22	ソフトウェア	67	
	23	ハードウェア	68	
	24	ヒューマンインターフェース	69	
	25	マルチメディア	70	
	26	データベース①	71	
	27	データベース②	72	
	28	ネットワーク①	73	
	29	ネットワーク②	74	
	30	セキュリティ①	75	
	31	セキュリティ②	76	
	32	総復習	77	
	33	確認テスト	78	
	34	ITリテラシ演習①	79	
	35	ITリテラシ演習②	80	
	36	ITリテラシ演習③	81	
	37	ITリテラシ演習④	82	
	38	ITパスポート演習①	83	
	39	ITパスポート演習②	84	
	40	ITパスポート演習③	85	
	41	ITパスポート演習④	86	
	42	ITパスポート演習⑤	87	
	43	ITパスポート総まとめ①	88	
	44	ITパスポート総まとめ②	89	
	45	ITパスポート総まとめ③	90	

成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	パソコン実習Ⅰ			
実務家教員				
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）			
履修年次	２年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	３単位			
授業回数	４５回			
授業概要	Excelの資料作成、作業スピードを向上するテクニックを習得する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る			
達成目標	Excelの実践的なテクニックを習得することで、業務の時短に繋がる仕事術を身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	時短に効くショートカットキー	31	Word文書の作成①
	2	入力の時短①	32	Word文書の作成②
	3	入力の時短②	33	Word文書の作成③
	4	入力の時短③	34	Word文書の作成④
	5	入力の時短④	35	Word文書の作成⑤
	6	二度手間を防ぐ①	36	Excel文書の作成①
	7	二度手間を防ぐ②	37	Excel文書の作成②
	8	二度手間を防ぐ③	38	Excel文書の作成③
	9	集計作業効率化①	39	Excel文書の作成④
	10	集計作業効率化②	40	Excel文書の作成⑤
	11	集計作業効率化③	41	Excel文書の作成⑥
	12	関数による計算・判定①	42	Excel文書の作成⑦
	13	関数による計算・判定②	43	Word&Excel混在文書の作成①
	14	実例演習	44	Word&Excel混在文書の作成②
	15	確認テスト	45	確認テスト
	16	データの整理・集計①		
	17	データの整理・集計②		
	18	データの整理・集計③		
	19	表の作成①		
	20	表の作成②		
	21	表の作成③		
	22	グラフの作成・修正①		
	23	グラフの作成・修正②		
	24	グラフの作成・修正③		
	25	印刷操作①		
	26	印刷操作②		
	27	印刷操作③		
	28	実例演習①		
	29	実例演習②		
	30	確認テスト		
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売知識基礎
実務家教員	
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）
履修年次	２年次
開講区分	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
単位数	６単位
授業回数	５５回
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する 小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身につける
教科書	外販テキスト
特記	

授業計画				
	1	販売員の役割①	46	マーチャンダイジング②
	2	販売員の役割②	47	マーチャンダイジング③
	3	販売員の法廷知識①	48	商品計画①
	4	販売員の法廷知識②	49	商品計画②
	5	販売員の法廷知識③	50	販売計画及び仕入れ計画①
	6	小売業の計数管理①	51	販売計画及び仕入れ計画②
	7	小売業の計数管理②	52	価格設定①
	8	小売業の計数管理③	53	在庫管理①
	9	店舗管理①	54	販売管理①
	10	店舗管理②	55	確認テスト
	11	店舗管理③	56	
	12	流通における小売業①	57	
	13	流通における小売業②	58	
	14	流通における小売業③	59	
	15	組織形態別小売業①	60	
	16	組織形態別小売業②	61	
	17	組織形態別小売業③	62	
	18	店舗形態別小売業①	63	
	19	店舗形態別小売業②	64	
	20	店舗形態別小売業③	65	
	21	商業集積①	66	
	22	商業集積②	67	
	23	商業集積③	68	
	24	小売業のマーケティング①	69	
	25	小売業のマーケティング②	70	
	26	小売業のマーケティング③	71	
	27	顧客満足経営①	72	
	28	顧客満足経営②	73	
	29	顧客満足経営③	74	
	30	確認テスト	75	
	31	証券の設定と出店①	76	
	32	証券の設定と出店②	77	
	33	リージョナルプロモーション①	78	
	34	リージョナルプロモーション②	79	
	35	顧客志向型売り場づくり①	80	
	36	顧客志向型売り場づくり②	81	
	37	ストアオペレーション①	82	
	38	ストアオペレーション②	83	
	39	梱包技術①	84	
	40	梱包技術②	85	
	41	ディスプレイ①	86	
	42	ディスプレイ②	87	
	43	商品①	88	
	44	商品②	89	
	45	マーチャンダイジング①	90	

成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Word基礎	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	１単位	
授業回数	１５回	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	文章の作成と管理①
	2	文章の作成と管理②
	3	文章の作成と管理③
	4	文章の作成と管理④
	5	文字、段落、セクションの書式設定①
	6	文字、段落、セクションの書式設定②
	7	文字、段落、セクションの書式設定③
	8	表やリストの作成①
	9	表やリストの作成②
	10	表やリストの作成③
	11	参考資料の作成と管理①
	12	参考資料の作成と管理②
	13	グラフィック要素の挿入と書式設定①
	14	グラフィック要素の挿入と書式設定②
	15	確認テスト
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コミュニケーション実践	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	１単位	
授業回数	１５回	
授業概要	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	
授業の進め方	様々な業界の方からの講演を聞く	
達成目標	講演、講座、研修を通じて、自身の将来の姿をイメージすることができる	
教科書	レジュメ	
特記		
授業計画	1	キャリア講演会①
	2	敬語講座①
	3	ビジネスマナー研修①
	4	キャリア講演会②
	5	キャリア講演会③
	6	敬語講座②
	7	ビジネスマナー研修②
	8	キャリア講演会④
	9	キャリア講演会⑤
	10	敬語講座③
	11	ビジネスマナー研修③
	12	キャリア講演会⑥
	13	キャリア講演会⑦
	14	敬語講座④
	15	振返り
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	２単位	
授業回数	３０回	
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	学校と職場の違い
	2	職場のマナー
	3	仕事の進め方
	4	報告、連絡、相談
	5	挨拶
	6	笑顔、お辞儀
	7	敬語①
	8	敬語②
	9	応対の基本①
	10	応対の基本②
	11	電話応対①
	12	電話応対②
	13	電話応対③
	14	電話応対④
	15	電話応対⑤
	16	効果測定①
	17	効果測定②
	18	接遇マナー①
	19	接遇マナー②
	20	接遇マナー③
	21	接客マナー①
	22	接客マナー②
	23	営業マナー①
	24	営業マナー②
	25	商品説明①
	26	商品説明②
	27	クレーム応対
	28	社会人マナー①
	29	社会人マナー②
	30	社会人マナー③
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	言語知識（英会話基礎）Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	１単位	
授業回数	１５回	
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	自己紹介など①
	2	自己紹介など②
	3	趣味など①
	4	趣味など②
	5	健康や習慣など①
	6	健康や習慣など②
	7	場所と道案内など①
	8	場所と道案内など②
	9	説明の仕方など①
	10	説明の仕方など②
	11	目標や夢など①
	12	目標や夢など②
	13	演習①
	14	演習②
	15	効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	言語知識（中国語）Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	１単位	
授業回数	１５回	
授業概要	中国人ネイティブ講師による講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	学習者の中国語への興味を深める上、中国や中国語についての知識を広げ、今後本格的な中国語学習のきっかけを作る。	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	中国語発音の基礎(1)　四つの声調・六つの基本母音・複合母音
	2	中国語発音の基礎(2)　21の子音・鼻音・声調変化
	3	中国語発音の基礎(3)　声調と変調・ｒ化現象・発音のおさらい
	4	簡単な日常挨拶(1)　人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について
	5	簡単な日常挨拶(2)　基本的語順（是or動詞を述語とする場合）・丁寧語について
	6	数字を覚えよう　年,月,日,曜日の言い方・所属を表す「的」・疑問視「什么」
	7	数字の活用　こんな時「是」は省略される・金額の言い方・否定を表す「不」時刻と時間の長さの言い方・副詞「也」・疑問詞「怎么样」
	8	存在・所有の表現　動詞「有」・否定「没有」・「什么」＋名詞
	9	場所の表現　場所指示代名詞「这里」「那里」「哪里」・前置詞構造「在」
	10	買い物をする／値段を聞く＆値段交渉する　人民元の数え方・能願動詞「要」「能」「会」「可以」・語気助詞「了」
	11	乗り換えと両替　「必要・なければならない」を表す「要」・完了を表す「了」・動詞重ね型「看々」
	12	電話をする→「是～的」の構文・結果補語　約束する→ある経験を表す文型「動詞＋过～」・まだ～していない「还没(有)～」
	13	確認する→もうすぐ～「要～了」・前置詞「从」「离」・選択疑問文「～、还是～」
	14	お客さんの出迎え＆歓迎会　連体修飾語としての動詞，動詞構造，主述構造・程度補語　「得」
	15	別れを告げる＆総復習　仮説を表す「～的话」，「要是～就～」・これまで習ってきた内容を総復習する
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング基礎	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	２単位	
授業回数	３０回	
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する	
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト	
特記		
授業計画	1	マーケティングと顧客満足
	2	マーケティング分析方法①
	3	マーケティング分析方法②
	4	マーケティングと財務知識①
	5	マーケティングと財務知識②
	6	マーケティングと財務知識③
	7	マーケティングと財務知識④
	8	マーケティング手法①
	9	マーケティング手法②
	10	確認テスト
	11	事例から学ぶマーケティング①
	12	事例から学ぶマーケティング②
	13	事例から学ぶマーケティング③
	14	事例から学ぶマーケティング④
	15	事例から学ぶマーケティング⑤
	16	事例から学ぶマーケティング⑥
	17	事例から学ぶマーケティング⑦
	18	事例から学ぶマーケティング⑧
	19	事例から学ぶマーケティング⑨
	20	事例から学ぶマーケティング⑩
	21	マーケティング演習①
	22	マーケティング演習②
	23	マーケティング演習③
	24	マーケティング演習④
	25	マーケティング演習⑤
	26	マーケティング演習⑥
	27	マーケティング演習⑦
	28	マーケティング演習⑧
	29	マーケティング演習⑨
	30	マーケティング演習⑩
成績評価方法（試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	税理士学科（２年制昼間部）	
履修年次	２年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	２単位	
授業回数	３０回	
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する	
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト	
特記		
授業計画	1	企画作成①
	2	企画作成②
	3	企画作成③
	4	企画作成④
	5	企画作成⑤
	6	中間発表①
	7	中間発表②
	8	企画のブラッシュアップ①
	9	企画のブラッシュアップ②
	10	企画のブラッシュアップ③
	11	企画のブラッシュアップ④
	12	企画のブラッシュアップ⑤
	13	企画のブラッシュアップ⑥
	14	企画のブラッシュアップ⑦
	15	企画のブラッシュアップ⑧
	16	オンラインプレゼン方法①
	17	オンラインプレゼン方法②
	18	オンラインプレゼン方法③
	19	企画のブラッシュアップ⑨
	20	企画のブラッシュアップ⑩
	21	企画のブラッシュアップ⑪
	22	企画のブラッシュアップ⑫
	23	企画のブラッシュアップ⑬
	24	企画のブラッシュアップ⑭
	25	企画のブラッシュアップ⑮
	26	企画のブラッシュアップ⑯
	27	企画発表（校内）①
	28	企画発表（校内）②
	29	企画発表（企業向け）①
	30	企画発表（企業向け）②
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識や技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		